

SS-MIX2
標準化ストレージ仕様書
Ver.1.2i

データ格納方法およびデータ定義

(2024.5.16 版)

令和 6 年 5 月

日本医療情報学会

改訂履歴		
日付	バージョン	改訂内容
2012/3	Ver.0.96	<p>SS-MIX2 新規リリース。</p> <p>SS-MIX について記述した仕様書が作成された後に、HL7 をベースにした JAHIS 標準の改訂や厚生労働省標準規格の制定など、本書に関連する標準の一部に変化や新たな標準の策定があったため、それらと整合性をとる目的で本書を SS-MIX2 の仕様書として改訂した。</p> <p>SS-MIX (Vol.1) からの主要な変更点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ZGW(標準化ストレージのキー情報)セグメントの廃止 2. ZIN(保険指定)セグメントの廃止 3. メッセージの変更 <ol style="list-style-type: none"> 1) 病名情報の登録／更新情報 <p>SS-MIX: ADT^A08 メッセージ(患者情報の更新)</p> <p>SS-MIX2: PPR^ZD1 メッセージ(プロブレム情報の通知)</p> 2) アレルギー情報の登録／更新 <p>SS-MIX: ADT^A08 メッセージ(患者情報の更新)</p> <p>SS-MIX2: ADT^A60 メッセージ(アレルギー情報の更新)</p> 3) 検体検査結果の通知 <p>SS-MIX: OML^O33 メッセージ(1検体に対する複数依頼の検体オーダ)</p> <p>SS-MIX2: OUL^R22 メッセージ(非要求検体ベース検査結果メッセージ)</p> 4) 処方および注射オーダ情報の登録／更新 <p>SS-MIX: OMP^O09 メッセージ(薬剤(処方／注射)オーダ)</p> <p>SS-MIX2: RDE^O11 メッセージ(薬剤(処方／注射)構造化オーダ)</p> 5) 処方および注射実施情報の通知 <p>SS-MIX: OMP^O09 メッセージ(薬剤(処方／注射)オーダ)【注射実施情報のみ】</p> <p>SS-MIX2: RAS^O17 メッセージ(薬剤(処方／注射)の実施情報)</p> 6) 放射線検査の実施情報の通知 <p>SS-MIX: OMG^O19 メッセージ(一般臨床オーダ(放射線検査オーダ))</p> <p>SS-MIX2: OMI^Z23 メッセージ(イメージングオーダメッセージ)</p> 7) 内視鏡検査オーダ情報の登録／更新 <p>SS-MIX: 該当なし</p> <p>SS-MIX2: OMG^O19 メッセージ(一般臨床オーダ(内視鏡検査オーダ))</p> 8) 内視鏡検査実施情報の通知 <p>SS-MIX: 該当なし</p> <p>SS-MIX2: OMI^Z23 メッセージ(イメージングオーダメッセージ)</p> 9) 生理検査オーダ情報の登録／更新 <p>SS-MIX: 該当なし</p> <p>SS-MIX2: OMG^O19 メッセージ(一般臨床オーダ(生理検査オーダ))</p> 10) 生理検査結果情報の通知 <p>SS-MIX: 該当なし</p> <p>SS-MIX2: ORU^R01 メッセージ(検査の非要求転送)</p>
2014/10	Ver.1.2※	<p>【全般】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CWE 型におけるコードの出現順序に関する注意事項の追加 2. TS 型(タイムスタンプ)についての注意事項の追加 3. 「SS-MIX2」値が「R」の項目に値が設定できない場合の記述の追加 4. 各メッセージで使用するメッセージ構造(MSH-9.3)の値についての記述の追加 5. ORC-9 のオーダ変更時の値の意味の明確化 6. MSH-21 の値による SS-MIX2 のバージョンの区別に関する記述の追加 7. PID-8 で使用できるコードに「U(未知)」「O(その他)」を追加 8. OBX-4 の「SS-MIX2」値の変更(「N」⇒「O」)と説明の統一

		<p>9. ORC-5 の「SS-MIX2」値の変更(「N」⇒「O」)</p> <p>10. 各種日時情報と使用するフィールドの対応表の追加</p> <p>11. 診療科コードの推奨値の「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」への変更</p> <p>【患者】</p> <p>1. OBX で JLAC10 コードにて感染症を設定できるとの記述を追加</p> <p>2. OBX-3 における血液型-ABO 式の JLAC10 コードの間違いの訂正</p> <p>3. OBX-3 における JLAC10 コードに関する注釈の追加</p> <p>【病名】</p> <p>1. 参照する JAHIS 病名情報データ交換規約を Ver.3.0C に変更</p> <p>2. ZPD セグメントによる歯式表現の追加</p> <p>3. PRB-10 で診断種別を省略可とする記述の追加</p> <p>4. 転帰日、終了日の値に関する記述の追加</p> <p>【食事】</p> <p>1. 期間指定ができるように TQ1-8 の「SS-MIX2」値の変更(「N」⇒「O」)</p> <p>2. 複数の時間帯について表現方法の統一(OBS セグメントを繰り返す)</p> <p>【処方】</p> <p>1. RXE-7、RXE-21 にセットする情報を注射と整合性のある形に変更</p> <p>2. TQ1-3 で JAMI 標準用法と HL7 表 0335 を併用できるよう変更</p> <p>3. RXR-2 にセットする外用部位に JAMI 標準用法マスタの採用</p> <p>4. 複数部位指定する場合の記述の追加(RXR セグメントを繰り返す)</p> <p>5. TQ1-3 における標準コードとローカルコードの併記方法の変更</p> <p>【注射】</p> <p>1. RXE-3 にセットする値の意味の明確化(水分量(容量)の合計とする)</p> <p>2. RXR-5 の説明の改善および使用する単位の統一</p> <p>3. RXR-2 で HL7 表 0550 を使用する場合は RXR-6 の併用に関する記述の追加</p> <p>4. 複数部位指定する場合の記述の追加(RXR セグメントを繰り返す)</p> <p>【検体検査】</p> <p>1. 参照する JAHIS 臨床検査データ交換規約を Ver.3.1 に変更</p> <p>2. TQ1-7 により検査日時を表現するよう変更</p> <p>3. 細菌検査の薬剤感受性結果などを表現できるよう OBR-26 の「SS-MIX2」値を変更(「N」⇒「O」)</p> <p>4. OBX-2 で「CWE」を使用できるよう変更</p> <p>【生理検査】</p> <p>1. 参照する JAHIS 生理検査データ交換規約を Ver.2.0 に変更</p> <p>【SS-MIX2 サンプル】</p> <p>1. CWE 型でのコードの出現順に関する注意事項の追加</p> <p>2. 仕様変更に伴うサンプルメッセージの見直し</p> <p>3. 以下の間違いの訂正</p> <p>1)患者基本情報更新(ADT^A08):血液型-ABO 式の JLAC10 コードの修正と血液型-Rh 式の OBX の追加</p> <p>2)退院実施(ADT^A03):EVN-6 の削除</p> <p>3)アレルギー情報登録・更新(ADT^A60):ENV-7 の追加</p> <p>4)構造化処方オーダ(RDE^O11):TQ1-3 の用法コード値を副成分レベルに変更</p> <p>5)生理検査結果通知(ORU^R01):OBX-1 の値を1からの連番に変更</p>
2015/3	Ver.1.2b※	<p>1. 表 3-41 : OBX-3 血液型-ABO 式のコード誤記修正、JLAC10 コード設定の説明補記</p> <p>2. 表 3-58 : TQ1-3 ローカルコードによる用法と標準用法コードによる用法の併記に関する説明補記</p> <p>付録1</p> <p>患者基本情報更新 : OBX セグメントの血液型-ABO 式のコード修正、血液型-RH 式追記</p> <p>入院実施 : EVN セグメントの記載修正</p> <p>アレルギー情報登録・更新 : ENV セグメントの記載修正</p> <p>病名(歴)情報登録・更新 : ZI1 セグメントの記載修正、診療科のコード体系コード修正</p>

		構造化処方オーダー：TQ1 セグメントの記載修正(^ → &) 生理検査結果通知：OBXセグメントの記載修正(SEQ)
2015/6	Ver.1.2c※	1. JAHIS データ交換規約間に記述の不整合がある場合の扱いについて記述を追加
2015/12		1. OBX-2 の LEN の値は「2」ではなく「3」とする。「CWE」をセットすることがあるため。 2. OBX-2 の値を必須とする条件は、検査結果状態(OBX-11)が「X(この検査では、結果は得られない)」および「O(検査依頼項目の詳細を示す)」のいずれでもない場合とする。
2016/2		1. 生理検査オーダーメッセージに関する一部仕様見直し(表 3-94:複数の検査項目をセット可能にした)と、当該サンプル電文の修正 2. 生理検査結果通知のサンプル電文の修正(LOINC コードの採用)
2016/4		1. 表 3-87 曝射情報セグメント(ZE2)定義のうち、ZE2-7 の誤字修正
2017/1	Ver.1.2d※	1. 表 3-58 タイミング/数量セグメント(TQ1)定義のうち、TQ1-14 を有効にした。
2019/1	Ver.1.2e※	1. 給食オーダーメッセージに関する一部仕様の見直しや明確化(下記参照)と、当該サンプル電文の修正 1) ODS-1 に新設の「T」をセットすることで、ODS-3 にて食種を明示的に指定できるようにする 2) ODS-1 に「T」をセットし、ODS-3 に新設の SS-MIX2 仕様策定 TF 定義表 01-食種より「NPO^食止め^SSMIXTF01」をセットすることで食止めを明示的に指定できるようにする 3) 食事開始タイミング、食事終了タイミングを指定する場合の推奨値の明確化 4) ODS-2 にブランクを指定できることの明確化 5) TQ1-3 の推奨値の明確化 2. MSH-21 でメッセージが準拠する本仕様のマイナーバージョンを指定できるようにする
2019/7	Ver.1.2f※	1. JLAC11 コードの使用も可能にした。 2. 患者 ID の仕様を「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン」の記載内容に合わせた。 3. 表 3-7 の誤記修正 4. MSH-7 の誤記修正
2019/9		1. 処方オーダーメッセージのサンプル電文の誤記修正
2019/11		1. TQ1-7、TQ1-8 の定義修正(YYYYMMDDHH→YYYYMMDD[HH[MM]])
2019/12		1. 注射オーダーメッセージの TQ1-3 のサンプル電文の誤記修正
2020/12	Ver.1.2g※	1. 被保険者証の枝番に対応(表 3-43 における、IN1-10 と IN1-11 の仕様変更) ・ Ver.1.2g 以降では、被保険者証の記号、番号、枝番を IN1-10 の繰り返しを使用して、〈記号〉〜〈番号〉〜〈枝番〉の書式でこの順に指定する。(例:123~1234567~01) また、IN1-11 では被保険者証の記号に対応する企業・団体などの名称をセットする。 2. 医薬品コード体系として YJ コードも格納できるように対応(RXE-31 の採用) ・ 3.9.6、3.11.6：RXE-2 ないし RXC-2 で記述される薬剤について、「ローカルコードと HOT コード以外の標準的代替えコード」との組み合わせを、RXE-31 において繰り返しによりいくつでも記述できるようにした。 ・ 3.10.9、3.12.9：RXA-5 で記述される薬剤について、HOT コード以外の標準的代替えコードが RXE-31 に記述できることを明記。 ・ 3.11.9：RXC-2 で記述される薬剤について、HOT コード以外の標準的代替えコードが RXE-31 に記述できることを明記。
2022/3	Ver.1.2h※	1. リフィル処方箋に対応(RXE-12 の採用) ・ リフィル処方箋の場合、RXE-12 でそのリフィル回数を示す。値が null、もしくは空白か 0 の場合はリフィル処方箋ではない。
2024/5	Ver.1.2i※	1. MSH-7 の定義のうち、明らかな誤記を修正

※ 「SS-MIX2 標準化ストレージ 構成の説明と構築ガイドライン」とバージョンを揃えるため、「Ver.1.0」「Ver.1.1」は存在しない。バージョン番号の小数第 1 桁までがバージョンを示し、そのあとの英字は誤記の修正、説明の追加、レイアウト変更などによるリリースを b 以降で示す。

はじめに

平成 16～17 年度に静岡県における静岡県版電子カルテシステム事業で作成された仕様書「静岡県版電子カルテ 情報ゲートウェイデータ交換仕様書」をもとに、厚生労働省電子的診療情報交換推進事業(SS-MIX: Standardized Structured Medical Information Exchange)において、電子的診療情報交換推進を目的として修正を加えられた「SS-MIX 標準化ストレージ仕様書」が作成された。

平成 23～24 年度に日本学術振興会の最先端研究開発支援プログラム「未解決のがんと心臓病を撲滅する最適医療開発(中心研究者:永井良三)」において、同文書の内容を厚生労働省標準および JAHIS 標準に準拠させ、カバーするデータ種別を拡大する作業が行われた。日本医療情報学会はこの作業結果を SS-MIX 普及推進コンソーシアムの協力を得て文書化し、平成 24 年 3 月 1 日に「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.0.96」として公表した。

「SS-MIX 標準化ストレージ仕様書」とは別物であることを明確にするために「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書」と題されている。

SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.0.96 は日本国内で実装が進められ、その過程で仕様記載の曖昧な点を解消するとともに、JAHIS 標準のその後の改訂内容と整合性をとる必要性もでてきたことから、平成 26 年度からこれらの点を改訂する作業が、日本医療情報学会、保健医療福祉情報システム工業会、日本 HL7 協会、SS-MIX コンソーシアム等により共同で行われ、「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2」として作成された。SS-MIX2 において、標準化された医療情報データを格納するストレージである「SS-MIX2 標準化ストレージ」(以下、「標準化ストレージ」)のデータ格納方法や、データ定義を解説している。本書(Ver.1.2x)は、その後の誤記修正や説明補記等を行ったものである。(xはリリース順を示す)

この文書とは別に「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2x_コード表」、「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2x」、「SS-MIX2 拡張ストレージ構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2x」、「SS-MIX2 拡張ストレージ 構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2x_標準文書コード表」、「SS-MIX2 標準化ストレージ 構成の説明と構築ガイドライン Ver.1.2x_複数ボリューム管理」が存在するので、併せてお読みいただきたい。

なお、本書の内容について疑義等がある場合は下記まで連絡いただきたい。可能な範囲で対応することとしている。

日本医療情報学会(標準策定・維持管理部会)

jami-std@jami.jp

目 次

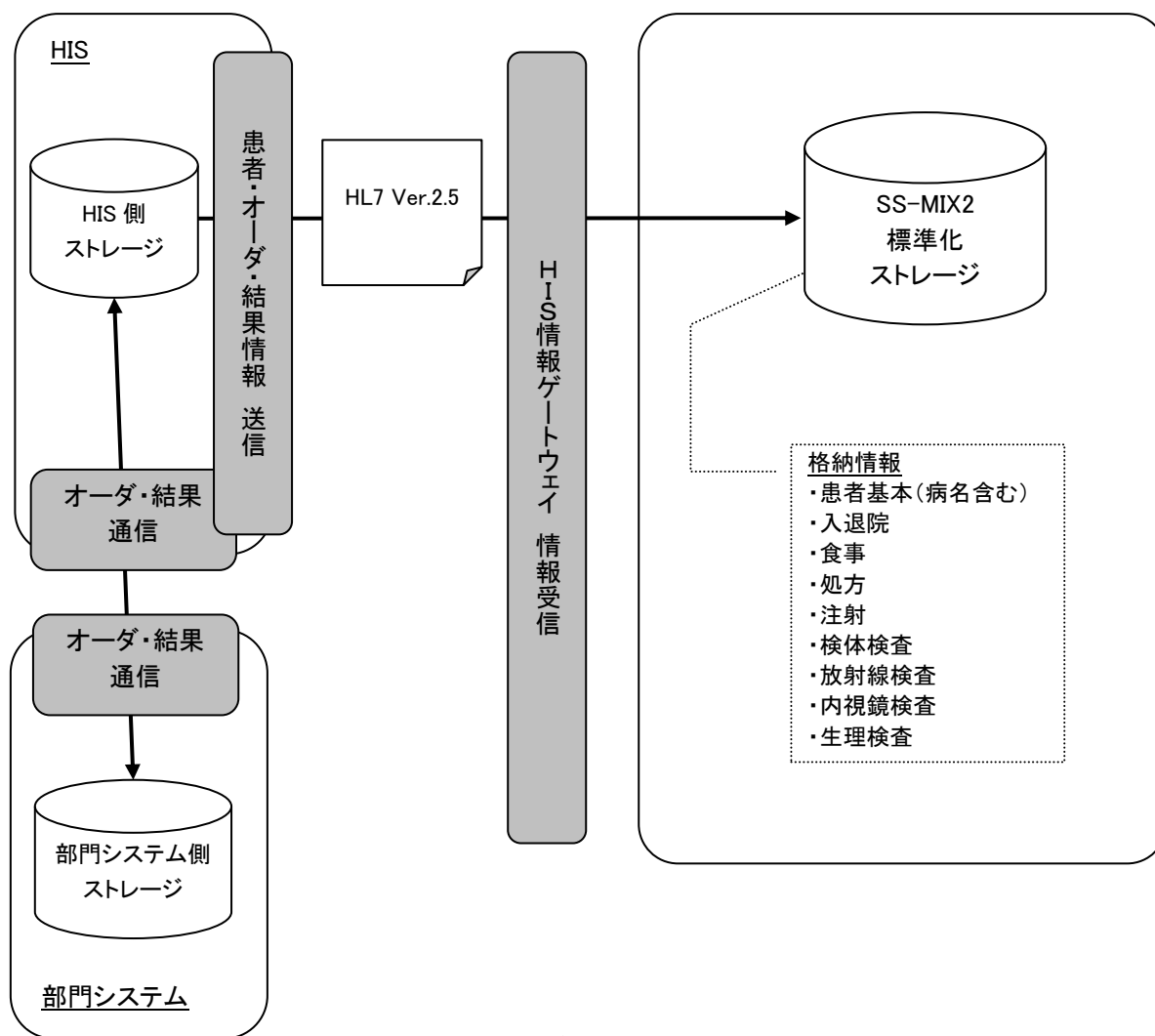
1. HIS 情報ゲートウェイの概要.....	- 1 -
2. HIS 情報ゲートウェイの仕様.....	- 2 -
2.1. 受信データの形式.....	- 2 -
3. HL7 Ver.2.5 メッセージ一覧.....	- 3 -
3.1. 参照する規約.....	- 3 -
3.2. メッセージ定義表の読み方	- 3 -
3.3. セグメント定義表の読み方	- 3 -
3.4. 患者管理(ADT)系メッセージの定義.....	- 13 -
3.5. 患者管理(ADT)系セグメントの定義.....	- 30 -
3.6. アレルギー情報登録・更新メッセージ(ADT^A60)の定義.....	- 48 -
3.7. 病名(歴)情報登録・更新メッセージ(PPR)の定義.....	- 50 -
3.8. 給食オーダーメッセージ(OMD)の定義	- 58 -
3.9. 構造化処方オーダーメッセージ(RDE)の定義.....	- 65 -
3.10. 構造化処方実施情報メッセージ(RAS)の定義	- 77 -
3.11. 構造化注射オーダーメッセージ(RDE)の定義	- 81 -
3.12. 構造化注射実施情報メッセージ(RAS)の定義	- 94 -
3.13. 検体検査オーダーメッセージ(OML)の定義.....	- 98 -
3.14. 検体検査結果通知メッセージ(OUL)の定義.....	- 111 -
3.15. 放射線検査オーダーメッセージ(OMG)の定義	- 113 -
3.16. 放射線検査実施通知メッセージ(OMI)の定義	- 124 -
3.17. 内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG)の定義	- 130 -
3.18. 内視鏡検査実施通知メッセージ(OMI)の定義	- 138 -
3.19. 生理検査オーダーメッセージ(OMG)の定義	- 141 -
3.20. 生理検査結果通知メッセージ(ORU)の定義.....	- 151 -
付録1 SS-MIX2 サンプル	- 153 -
付録2 JJ1017 Ver 3.1 の使用方法	- 162 -

1. HIS情報ゲートウェイの概要

各社 HIS(Hospital Information System ;病院情報システム＝オーダーリングシステム等)で管理している情報を HL7 Ver.2.5 と JAHIS 各種規約に準拠した標準化フォーマットを用いて、HIS 情報ゲートウェイへ情報を送信し、標準化ストレージへ HL7 Ver.2.5 ファイル形式で格納する。

標準化ストレージは、各社 HIS 等で管理されている各種情報を格納し、外部アプリケーションから参照するためのデータベースである。

情報連携のイメージ



*画像情報、データマイニングの構成は省略

2. HIS情報ゲートウェイの仕様

2.1. 受信データの形式

2.1.1. 電文はHL7 Ver.2.5形式とする。

2.1.2. メッセージ(オーダ)の単位

1件のメッセージ(オーダ)には必ずひとつの MSH セグメントを付設する。

1回のセッションにおける電文には複数のメッセージ(MSH セグメント)を含んで良いものとする。

2.1.3. メッセージ区切り

メッセージ(オーダ)の終了時には<FS><CR>(0x1C 0x0D)を付設する。

2.1.4. セグメント区切り

セグメントの終了時には<CR>(0x0D)を付設する。

2.1.5. 修正メッセージ(オーダ)

HIS より伝送されるメッセージ(オーダ)は、当該オーダに対する HIS における修正や進捗に応じ、新たな内容で複数回伝送される。このような修正メッセージ(オーダ)に関しては、下記の2つのケースが想定される。

- ①修正前内容の削除メッセージと新たな内容が設定された新規メッセージがセットで伝送されるケース
- ②新たな内容のみがチェンジステータスにより伝送されるケース

3. HL7 Ver.2.5メッセージ一覧

HIS 情報ゲートウェイへ送信する HL7 Ver.2.5 メッセージを定める。

3.1. 参照する規約

＜Health Level Seven Inc、日本 HL7 協会＞

・HL7 Ver.2.5

＜保健医療福祉情報システム工業会＞

・JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

・JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

・JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

・JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

・JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

・JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

・JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

・JAHIS データ交換規約(共通編)Ver.1.3 ※暫定版

データ型等、JAHIS データ交換規約で、Ver.の語尾に C が付加されていない文書の記載と JAHIS データ交換規約(共通編)の記述で不整合がある場合は、共通編の記載を優先する。

3.2. メッセージ定義表の読み方

3.2.1. 「JAHIS」項目

参照する JAHIS 交換規約において当該セグメントが使用されているかどうかを示す。塗潰し行は、SS-MIX2 では当該セグメントを原則使用しないことを意味する。

表 3-1 「JAHIS」項目使用状況

JAHIS	内容
◎	当該セグメントが、JAHIS 交換規約で定義されるメッセージで使用されており、かつ、該当規約にセグメント表定義の説明がある。
○	当該セグメントが、JAHIS 交換規約で定義されるメッセージで使用されているが、該当規約にセグメント表定義の説明はない。
-	当該セグメントが、JAHIS 交換規約では使用されていない。

3.2.2. 「HL7 V2.5」項目

HL7 Ver.2.5 仕様書における当該セグメントの掲載章番号を示す。

3.3. セグメント定義表の読み方

3.3.1. 「参照元」項目

各セグメント表の上部に、当該セグメント定義の参照元にした JAHIS 交換規約、または、HL7 Ver.2.5 仕様書を示す。

3.3.2. 「DT」項目

HL7 Ver.2.5 で定義されたフィールドのデータタイプを示す。

詳細な構成については、「3.1 参照する規約」項に挙げた規約を参照。

CWE 型(コード化値)における注意事項:

第一成分・第二成分、及び第四成分・第五成分におけるコード・名称の属性情報は、出現順序ではなく第三成分・第六成分のコーディングシステム名(CS 名)で判断すること。なお、ローカルコード、標準コードとその名称の出現順序には以下のようなパターンがありうるので、受信側アプリケーションはそのいずれにも対応できること。

1) <ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>

- 2) <標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>
- 3) ^^<ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>
- 4) ^^<標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>
- 5) <ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>^<標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>
- 6) <標準コード>^<標準名称>^<標準 CS 名>^<ローカルコード>^<ローカル名称>^<ローカル CS 名>

TS 型(タイムスタンプ)における注意事項:

本文内にて特記のない限り、時刻不明の場合は日付のみセットし、時刻については省略可能とする。
すなわち、以下の形式が指定されたものとする。

「YYYYMMDD[HH[MM[SS]]]」形式

3.3.3. 「OPT」項目

HL7 Ver.2.5 で定義されたオプション指定。

表 3-2 HL7 Ver.2.5 オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。
O	オプション。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
X	対象のトリガイベントでは使用されない。
B	旧バージョンとの互換用。
-	HL7 Ver.2.5 では未使用。JAHIS で定義された Z セグメントなど。

3.3.4. 「JAHIS」項目

「JAHIS 交換規約」でのオプション指定。

表 3-3 「JAHIS」項目オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。
RE	存在すれば必須(送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。)
O	オプション。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
X	対象のトリガイベントでは使用されない。
B	旧バージョンとの互換用。
N	通常、使用しない。施設内でのみ使用する。
-	該当する交換規約が JAHIS に存在しない。HL7 Ver.2.5 を直接参照しているセグメント。給食オーダーメッセージで使用する ODT など。

3.3.5. 「SS-MIX2」項目
本規約のオプション指定。

表 3-4 「SS-MIX2」項目オプション指定

OPT	オプションの内容
R	必須。ただし、値がセットできない場合は「””」をセットする。
RE	存在すれば必須。送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する。
O	オプション。ただし、原則として、送信側アプリケーションに該当データがあれば、必ず送信をしなければならない。
C	トリガイベントおよびその他のフィールド条件により設定要否が決まる。
N	通常、使用しない。

3.3.6. メッセージ一覧
《SS-MIX2 対応 HL7 メッセージ一覧表》

表 3-5 SS-MIX2 対応 HL7 メッセージ一覧

	メッセージ型	HL7 名称	説明	応答
患者情報系	ADT^A08	患者管理 - 患者情報の更新	患者の最新の情報送信するメッセージ。 患者プロフィール(氏名・性別・生年月日・住所等の基本情報、感染症や血液型情報)・保険情報で登録・修正・取消が発生したときに送信するメッセージ。	ACK^A08
	ADT^A23	患者管理 - 患者記録の削除	患者そのものが、医療情報システム(HIS)より論理・物理削除された時に送信するメッセージ。	ACK^A23
	ADT^A54	患者管理 - 担当医の変更	担当医の登録・修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A54
	ADT^A55	患者管理 - 担当医の変更の取消	担当医の取消情報を送信するメッセージ。	ACK^A55
受付	ADT^A04	患者管理 - 患者登録	外来診察予定の患者を受付けた情報を送信するメッセージ。	ACK^A04
入院系	ADT^A14	患者管理 - 入院保留	入院予定やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A14
	ADT^A27	患者管理 - 入院保留の取消	入院予定の取消情報を送信するメッセージ。	ACK^A27
	ADT^A01	患者管理 - 入院/来院通知	入院実施やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A01
	ADT^A11	患者管理 - 入院/来院通知の取消	入院実施の取消情報送信するメッセージ。	ACK^A11
外出泊系	ADT^A21	患者管理 - 許可外出による外出	外出泊実施やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A21
	ADT^A52	患者管理 - 許可外出の取消	外出泊実施の取消情報を送信するメッセージ。	ACK^A52
	ADT^A22	患者管理 - 許可外出からの帰院	外出泊帰院実施やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A22
	ADT^A53	患者管理 - 許可外出からの帰院の取消	外出泊帰院実施の取消情報送信するメッセージ。	ACK^A53
転科・転棟系	ADT^A15	患者管理 - 転送保留	転棟・転科(転室・転床) 予定やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A15
	ADT^A26	患者管理 - 転送保留の取消	転棟・転科(転室・転床) 予定の取消情報を送信するメッセージ。	ACK^A26
	ADT^A02	患者管理 - 患者転送	転棟・転科(転室・転床)実施やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A02
	ADT^A12	患者管理 - 転送の取消	転棟・転科(転室・転床)実施の取消情報送信するメッセージ。	ACK^A12
退院系	ADT^A16	患者管理 - 退院保留	退院予定やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A16
	ADT^A25	患者管理 - 退院保留の取消	退院予定の取消情報を送信するメッセージ。	ACK^A25
	ADT^A03	患者管理 - 退院/来院終了	退院実施やその修正情報を送信するメッセージ。	ACK^A03
	ADT^A13	患者管理 - 退院/来院終了の取消	退院実施の取消情報送信するメッセージ。	ACK^A13

アレルギー	ADT^A60	患者管理 - アレルギー情報の更新	アレルギー・副作用の登録・修正情報を送信するメッセージ。IAM セグメントでアレルギー情報を表現する。	ACK^A60
病名	PPR^ZD1	患者ケア - プロブレム情報の通知	患者の病名(歴)の登録・修正・取消を送信するメッセージ。	ACK^ZD1
食事	OMD^O03	食事オーダー	食事オーダーの依頼・修正・取消情報を送信するメッセージ。	ORD^O04
薬剤オーダー系	RDE^O11	薬剤(処方／注射)構造化オーダー	処方または注射オーダーの依頼・修正・取消情報を送信するメッセージ。	RRE^O12
	RAS^O17	薬剤(処方／注射)の実施情報	処方または注射の実施を報告するメッセージ。	RRA^O18
検査オーダー系	OML^O33	1 検体に対する複数依頼の検体オーダー	検体検査オーダーの依頼・修正・取消・受付・実施情報を送信するメッセージ。	ORL^O34
	OUL^R22	非要求検体ベース検査結果メッセージ(検体検査結果の報告)	検体検査結果情報の報告を送信するメッセージ。	ACK^R22
	OMG^O19	一般臨床オーダー(放射線検査オーダー、内視鏡検査オーダー、生理検査オーダー)	放射線検査オーダー、内視鏡検査オーダー、生理検査オーダーの依頼・修正・取消情報を送信するメッセージ。放射線検査オーダー、内視鏡検査オーダーの実施情報は、OMI^Z23 メッセージ、生理検査オーダーの結果情報は ORU^R01 メッセージを使用する。	ORG^O20
	ORU^R01	検査の非要求転送	検査の受付・実施・結果情報を送信するメッセージ。生理検査オーダーの結果情報の報告に本メッセージを使用する。	ACK^R01
	OMI^Z23	イメージングオーダーメッセージ(放射線検査または内視鏡検査の実施通知)	放射線検査または内視鏡検査の実施情報を送信するメッセージ。	ORI^O24

- 上記メッセージを SS-MIX2 の基本メッセージとし、新たな情報(メッセージ)を送信する場合は、各ベンダ・病院で独自メッセージを定義するものとする。

3.3.7. 各種日時情報とその設定方法

本規約で扱う各種診療データについてそれぞれ一般的なシナリオを考え、そこに登場する各種日時(Tn)とHL7メッセージでの使用フィールドの対応をまとめたので参考にされたい。

1) 検体検査

日時 T1 に次の内容の検査をオーダーした。「日時 T2 に採血検査Xを実施せよ。」

これに対して、日時 T3 に採血を行い、T4 に検査室で検体を受領し、日時 T5 に検査を実施し、日時 T6 に結果報告した。

表 3-6 検体検査の各種日時とHL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。
		オーダー	ORC-15		オーダーが有効になる日時。ただし T2 に等しい場合は T2
T2	検査予定日時	オーダー	TQ1-7	開始日時	依頼時に指定した検査の開始予定日時。
		オーダー	OBR-7	X	使用しない。値が設定されている場合には受信側は利用しない。
		オーダー	OBX-14	X	使用しない。値が設定されている場合には受信側は利用しない。
		結果	[ORC-9]		
		結果	[ORC-15]		
T3	採取日時(検査日時)	結果	SPM-17	検体採取日時	検体を採取部位から採取した日時を記載する。
		結果	OBX-14	検査日時	実際に検査された日時を示す。 検体に対して行われる検査の場合、検体採取日時であり、患者に対して行われる測定の場合には、測定が行われた日時を設定する。
T4	検体受領日時	結果	SPM-18	検体受領日時	検体を検査部門が受け取った日時を示す。
T5	検査実施日時	結果	OBX-19	分析日時	このフィールドは装置 ID で特定される機器によって、分析結果の生成に関連したタイムスタンプを転送するために用いられる。
T6	検査結果報告日時	結果	OBR-22	結果報告/状態変更-日時	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。

2) 放射線検査

日時 T1 に次の内容の検査をオーダーした。「日時 T2-1 から T2-2 にかけて放射線検査 X を実施せよ。」

これに対して、日時 T3 に撮影を実施し、日時 T4 に結果報告した。

表 3-7 放射線検査の各種日時とHL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。
		オーダー	ORC-15	オーダー有効日時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
T2-1	検査開始予定日時	オーダー	TQ1-7	開始日時	サービスが開始される日時
T2-2	検査終了予定日時	オーダー	TQ1-8	終了日時	サービスが終了される日時

T3	検査実施日時	結果	OBR-7	検査/採取日時	結果メッセージの場合、撮影した日時。 結果メッセージの場合に使用する(依頼者が検体を採取する場合にも使用するが放射線検査ではそのようなケースは発生しない。) ※「検体検査」と同様に、OBR-7 は使用しないのか？
		結果	OBR-8	検査/採取終了日時	撮影が終了した日付。瞬時に終わる場合は、「検査/採取日時 (OBR-7)と同じ。 ※SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 0.96 ではグレーアウト項目 ※放射線検査は瞬時に終わると思われるので、グレーとした。
		結果	OBX-14	検査日時	患者プロフィール情報として使用するので、本フィールドは使用しない。 ※SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 0.96 ではグレーアウト項目
T4	検査結果報告日時	結果	OBR-22	結果報告/状態変更-日時	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。OBR-25 に値が設定された場合に使用する。

3)内視鏡検査

日時 T1 に次の内容の検査をオーダーした。「日時 T2-1から T2-2にかけて内視鏡検査 X を実施せよ。」
これに対して、日時 T3に撮影を実施し、日時 T4に結果報告した。

表 3-8 内視鏡検査の各種日時とHL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。
		オーダー	ORC-15		変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
T2-1	検査開始予定日時	オーダー	TQ1-7	開始日時	サービスが開始される日時。
T2-2	検査終了予定日時	オーダー	TQ1-8	終了日時	サービスが終了される日時。
T3	検査実施日時	実施	OBR-7	検査/採取日時	結果メッセージの場合、検査開始日時。 結果メッセージの場合に使用する。
		実施	OBR-8	検査/採取終了日時	結果メッセージの場合、撮影が終了した日付
		実施	OBX-14	検査日時	撮影検査が行われた日時。依頼メッセージにおいて患者プロフィール情報として使用する場合は、本フィールドを使用しない。
T4	検査結果報告日時	実施	OBR-22	結果報告/状態変更-日時	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。

4)生理検査

日時 T1 に次の内容の検査をオーダーした。「日時 T2-1から T2-2にかけて生理検査 X を実施せよ。」
これに対して、日時 T3に検査を実施し、日時 T4に結果報告した。

表 3-9 生理検査の各種日時とHL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。
		オーダー	ORC-15	オーダー有効日時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時

T2-1	検査開始予定日時	オーダー	TQ1-7	開始日時	サービスが開始される日時。
T2-2	検査終了予定日時	オーダー	TQ1-8	終了日時	サービスが終了される日時
T3	検査実施日時	結果	OBR-7	検査/採取日時	検査が実際に行われた日時。 結果メッセージにおいて使用する。
		結果	OBR-8	検査/採取終了日時	検査が終了した日時。
		結果	OBX-14	検査日時	実際に検査された日時を示す。
		結果	OBX-19	分析日時	実装置 ID で指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。
T4	検査結果報告日時	結果	OBR-22	結果報告/状態変更-日時	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。

5) 処方

日時 T1 に次の医薬品をオーダーした。「日時 T3-1 から日時 T3-2 にかけて服用せよ。」

この医薬品は T2 に調剤され、実際には日時 T4-1 から日時 T4-2 にかけて投薬された。

表 3-10 処方の各種日時と HL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時(処方日)	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)処方日時を示す。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
	オーダーが補充であった場合の当初のオーダー日時	オーダー	RXE-32	当初のオーダー日/時間	補充(refill)認可が要請された時の、オリジナルオーダー(ORC-9)の日時。
	オーダー有効日	オーダー	ORC-15	オーダー有効日時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
T2	調剤日(外来のみ)	オーダー	RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	補充または調剤した、最近の日時。外来の場合のみ使用する。
T3-1	投薬開始予定日	オーダー	TQ1-7	開始日時	サービスが開始される日時。 服用開始日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T3-2	投薬終了予定日	オーダー	TQ1-8	終了日時	サービスが終了される日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
	補充オーダー	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)処方日時を示す。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。

T1	オーダー日時(処方日)	実施	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)処方日時を示す。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
	オーダーが補充であった場合の当初のオーダー日時	実施	RXE-32	当初のオーダー日/時間	補充(refill)認可が要請された時の、オリジナルオーダー(ORC-9)の日時。
	オーダー有効日	実施	ORC-15	オーダー有効日時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
T2	調剤日(外来のみ)	実施	RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	補充または調剤した、最近の日時。外来の場合のみ使用する。
T3-1	投薬開始予定日	実施	TQ1-7	開始日時	サービスが開始される日時。 服用開始日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T3-2	投薬終了予定日	実施	TQ1-8	終了日時	サービスが終了される日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T4-1	薬剤単位の一回ごとの実施開始日時	実施	RXA -3	投薬開始日時	薬剤単位の1回ごとの実施開始日時。
T4-2	薬剤単位の一回ごとの実施終了日時	実施	RXA -4	投薬終了日時	薬剤単位の1回ごとの実施終了日時。
	補充オーダー	実施	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)処方日時を示す。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。

6)注射

日時 T1 に次の医薬品をオーダーした。「日時 T3-1 から日時 T3-2 にかけて注射を実施せよ。」
この医薬品は T2 に調剤され、実際には日時 T4-1 から日時 T4-2 にかけて投薬された。

表 3-11 注射の各種日時とHL7 メッセージでの使用フィールドの対応

日時	日時名	メッセージ	使用フィールド	フィールド名	説明
T1	オーダー日時(処方日)	オーダー	ORC-9	トランザクション日時	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)指示情報では、オーダー更新日時を記述する。実施情報では、実施更新日時を記述する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
	オーダー有効日	オーダー	ORC-15	オーダー有効日時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。

T2	調剤日(外来のみ)	オーダー	RXE-18	調剤済薬品数 または投与数の 最新日時	補充または調剤した、最近の日時。外来の場合のみ使用する。
T3-1	投薬開始予定 日	オーダー	TQ1-7	開始日時	施用単位の実施予定開始日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T3-2	投薬終了予定 日	オーダー	TQ1-8	終了日時	施用単位の実施予定終了日時。ワンショットのときには、NULL をセットする。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
	補充オーダー	オーダー	ORC-9	トランザクショ ン日時	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダーが発生した日 時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変 更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)指示 情報では、オーダー更新日時を記述する。実施情報では、実施更 新日時を記述する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
T1	オーダー日時(処 方日時)	実施	ORC-9	トランザクショ ン日時	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダーが発生した日 時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変 更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)指示 情報では、オーダー更新日時を記述する。実施情報では、実施更 新日時を記述する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
	オーダー有効日	実施	ORC-15	オーダー有効日 時	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
T2	調剤日(外来のみ)	実施	RXE-18	調剤済薬品数 または投与数の 最新日時	補充または調剤した、最近の日時。外来の場合のみ使用する。
T3-1	投薬開始予定 日	実施	TQ1-7	開始日時	施用単位の実施予定開始日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T3-2	投薬終了予定 日	実施	TQ1-8	終了日時	施用単位の実施予定終了日時。ワンショットのときには、NULL をセットする。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
T4-1	薬剤単位の一 回ごとの実施開 始日時	実施	RXA-3	投薬開始日時	薬剤単位の1回ごとの実施開始日時。
T4-2	薬剤単位の一 回ごとの実施終 了日時	実施	RXA-4	投薬終了日時	薬剤単位の1回ごとの実施終了日時。
	補充オーダー	実施	ORC-9	トランザクショ ン日時	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダーが発生した日 時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変 更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)指示 情報では、オーダー更新日時を記述する。実施情報では、実施更 新日時を記述する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。

3.4. 患者管理(ADT)系メッセージの定義

患者情報・外来受付・入院・退院・転科・転棟・外出泊などの患者基本系(メッセージタイプが ADT)メッセージにおける使用セグメントの一覧を表に示す。

表 3-12 各患者管理(ADT)メッセージにおける使用セグメント

セグメント (セグメントID)	患者情報系				受付	入院系				外出系				転科転棟系				退院系			
	患者情報の更新 (ADT^A08)	患者記録の削除 (ADT^A23)	担当医の変更 (ADT^A54)	担当医の変更の取消 (ADT^A55)	患者登録 (ADT^A04)	入院保留 (ADT^A14)	入院保留の取消 (ADT^A27)	入院・来院通知 (ADT^A01)	入院・来院通知の取消 (ADT^A11)	許可外出による外出 (ADT^A21)	許可外出の取消 (ADT^A52)	許可外出からの帰院 (ADT^A22)	許可外出からの帰院の取消 (ADT^A53)	転送保留 (ADT^A15)	転送保留の取消 (ADT^A26)	患者転送 (ADT^A02)	転送の取消 (ADT^A12)	退院保留 (ADT^A16)	退院保留の取消 (ADT^A25)	退院・来院終了 (ADT^A03)	退院・来院終了の取消 (ADT^A13)
メッセージヘッダ (MSH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事象型 (EVN)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近親者情報 (NK1)	○																				
患者識別 (PID)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
来院情報 (PV1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
来院補足情報 (PV2)						○	○			○	○	○	○	○	○			○	○		
身体障害 (DB1)	○																				
検査結果 (OBX)	○																				
アレルギー情報 (AL1)	○																				
保険 (IN1)	○																				

※上記「○」以外のセグメントの使用を制限するものではない。

3.4.1. 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)の定義

患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A01」を使用する。

表 3-13 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2

表 3-13 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ NK1 }]	近親者情報	患者の近親者その他の関係者に関する情報を示す。	○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	○	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。 [SS-MIX2] 患者基本情報更新(ADT^A08)において、患者の身長、体重、血液型を提供する。	◎	7
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
[{ DG1 }]	診断		○	6
[DRG]	診断群分類		○	6
[{				
PR1	処置		◎	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}]				
[{ GT1 }]	保証人		○	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		○	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		○	6
[{ ROL }]	役割		○	15
}]				
[ACC]	事故		○	6
[UB1]	普遍的請求書情報		○	6
[UB2]	普遍的請求書 92 の情報		○	6
[PDA]	患者の死亡・剖検		○	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.2. 患者基本情報の削除メッセージ(ADT^A23)の定義

患者基本情報の削除メッセージ(ADT^A23)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-14 患者基本情報の削除メッセージ(ADT^A23)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.3. 担当医の変更メッセージ(ADT^A54)の定義

担当医の変更メッセージ(ADT^A54)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A54」を使用する。

表 3-15 担当医の変更メッセージ(ADT^A54)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3

表 3-15 担当医の変更メッセージ(ADT^A54)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[PV2]	来院補足情報	PV1 (来院情報) の補足情報を提供する。	-	3
[{ ROL }]	役割		-	15

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.4. 担当医の取消メッセージ(ADT^A55)の定義

担当医の取消メッセージ(ADT^A55)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A52」を使用する。

表 3-16 担当医の取消メッセージ(ADT^A55)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1 (来院情報) の補足情報を提供する。	-	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.5. 外来診察の受付メッセージ(ADT^A04)の定義

外来診察の受付メッセージ(ADT^A04)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A01」を使用する。

表 3-17 外来診察の受付メッセージ(ADT^A04)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3

表 3-17 外来診療の受付メッセージ(ADT^A04)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ NK1 }]	近親者情報		○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報		◎	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ DB1 }]	身体障害		○	3
[{ OBX }]	検査結果		◎	7
[{ AL1 }]	アレルギー情報		○	3
[{ DG1 }]	診断		○	6
[DRG]	診断群分類		○	6
[{				
PR1	処置		◎	6
[{ ROL }]	役割		○	15
}}				
[{ GT1 }]	保証人		○	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		○	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		○	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}}				
[ACC]	事故		○	6
[UB1]	普遍的請求書情報		○	6
[UB2]	普遍的請求書 92 の情報		○	6
[PDA]	患者の死亡・剖検		○	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.6. 入院予定メッセージ(ADT^A14)の定義

入院予定メッセージ(ADT^A14)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A05」を使用する。

表 3-18 入院予定メッセージ(ADT^A14)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供す	-	3

表 3-18 入院予定メッセージ(ADT^A14)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
		る。		
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
[{ DG1 }]	診断		-	6
[DRG]	診断群分類		-	6
[{				
PR1	処置		-	6
[{ ROL }]	役割		-	15
}}				
[{ GT1 }]	保証人		-	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		-	6
[{ ROL }]	役割		-	15
}}				
[ACC]	事故		-	6
[UB1]	普遍的請求書情報		-	6
[UB2]	普遍的請求書 92 の情報		-	6

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.7. 入院予定の取消メッセージ(ADT^A27)の定義

入院予定の取消メッセージ(ADT^A27)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-19 入院予定の取消メッセージ(ADT^A27)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品に	-	2

表 3-19 入院予定の取消メッセージ(ADT^A27)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
		についての情報を提供する。		
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.4.8. 入院実施メッセージ(ADT^A01)の定義

入院実施メッセージ(ADT^A01)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A01」を使用する。

表 3-20 入院実施メッセージ(ADT^A01)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ NK1 }]	近親者情報		○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	○	3

表 3-20 入院実施メッセージ(ADT^A01)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{OBX}]	検査結果	検査結果を提供する。	◎	7
[{AL1}]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
[{DG1}]	診断		○	6
[DRG]	診断群分類		○	6
[{				
PR1	処置		◎	6
[{ROL}]	役割		◎	15
}]				
[{GT1}]	保証人		○	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		○	6
[{IN3}]	保険追加情報証明書		○	6
[{ROL}]	役割		◎	15
}]				
[ACC]	事故		○	6
[UB1]	普遍的請求書情報		○	6
[UB2]	普遍的請求書 92 の情報		○	6
[PDA]	患者の死亡・剖検		○	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.9. 入院実施の取消メッセージ(ADT^A11)の定義

入院実施の取消メッセージ(ADT^A11)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A09」を使用する。

表 3-21 入院実施の取消メッセージ(ADT^A11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{SFT}]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
[{DB1}]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	○	3
[{OBX}]	検査結果	検査結果を提供する。	◎	7

表 3-21 入院実施の取消メッセージ(ADT^A11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{ DG1 }]	診断		○	

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.10. 外出泊実施メッセージ(ADT^A21)の定義

外出泊実施メッセージ(ADT^A21)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-22 外出泊実施メッセージ(ADT^A21)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.11. 外出泊実施の取消メッセージ(ADT^A52)の定義

外出泊実施の取消メッセージ(ADT^A52)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A52」を使用する。

表 3-23 外出泊実施の取消メッセージ(ADT^A52)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知	-	3

表 3-23 外出泊実施の取消メッセージ(ADT^A52)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
		する。		
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.12. 外出泊帰院実施メッセージ(ADT^A22)の定義

外出泊帰院実施メッセージ(ADT^A22)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-24 外出泊帰院実施メッセージ(ADT^A22)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.13. 外出泊帰院実施の取消メッセージ(ADT^A53)の定義

外出泊帰院実施の取消メッセージ(ADT^A53)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A52」を使用する。

表 3-25 外出泊帰院実施の取消メッセージ(ADT^A53)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.4.14. 転科・転棟(転室・転床)予定メッセージ(ADT^A15)の定義

転科・転棟(転室・転床)予定メッセージ(ADT^A15)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A15」を使用する。

表 3-26 転科・転棟(転室・転床)予定メッセージ(ADT^A15)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医な	-	3

表 3-26 転科・転棟(転室・転床)予定メッセージ(ADT^A15)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
		ど)を提供する。		
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
[[ROL]]	役割		-	15
[[DB1]]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[[OBX]]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7
[[DG1]]	診断		-	6

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.15. 転科・転棟(転室・転床)予定の取消メッセージ(ADT^A26)の定義

転科・転棟(転室・転床)予定の取消メッセージ(ADT^A26)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-27 転科・転棟(転室・転床)予定の取消メッセージ(ADT^A26)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[[DB1]]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[[OBX]]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.16. 転科・転棟(転室・転床)実施メッセージ(ADT^A02)の定義

転科・転棟(転室・転床)実施メッセージ(ADT^A02)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A02」を使用する。

表 3-28 転科・転棟(転室・転床)実施メッセージ(ADT^A02)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7
[PDA]	患者の死亡・剖検		-	3

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.4.17. 転科・転棟(転室・転床)実施の取消メッセージ(ADT^A12)の定義

転科・転棟(転室・転床)実施の取消メッセージ(ADT^A12)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A09」を使用する。

表 3-29 転科・転棟(転室・転床)実施の取消メッセージ(ADT^A12)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメント	-	3

表 3-29 転科・転棟(転室・転床)実施の取消メッセージ(ADT^A12)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
		は、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。		
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7
[{ DG1 }]	診断		-	6

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.18. 退院予定メッセージ(ADT^A16)の定義

退院予定メッセージ(ADT^A16)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A16」を使用する。

表 3-30 退院予定メッセージ(ADT^A16)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ ROL }]	役割		-	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
[{ DG1 }]	診断		-	6
[DRG]	診断群分類		-	6
[{				
PR1	処置		-	6
[{ ROL }]	役割		-	15
}}				

表 3-30 退院予定メッセージ(ADT^A16)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{ GT1 }]	保証人		-	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		-	6
[{ ROL }]	役割		-	15
}]				
[ACC]	事故		-	6

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.4.19. 退院予定の取消メッセージ(ADT^A25)の定義

退院予定の取消メッセージ(ADT^A25)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A21」を使用する。

表 3-31 退院予定の取消メッセージ(ADT^A25)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	-	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。 [SS-MIX2] 患者の移動情報(入院・退院・転科・転棟など)の予定や外出泊においての情報を補足するのが目的である。	-	3
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	-	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	-	7

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.4.20. 退院実施メッセージ(ADT^A03)の定義

退院実施メッセージ(ADT^A03)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A03」を使用する。

表 3-32 退院実施メッセージ(ADT^A03)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ NK1 }]	近親者情報		○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	○	3
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
[{ DG1 }]	診断		○	6
[DRG]	診断群分類		○	6
[{				
PR1	処置		◎	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}]				
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	◎	7
[{ GT1 }]	保証人		○	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		○	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		○	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}]				
[ACC]	事故		○	6
[PDA]	患者の死亡・剖検		○	3

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.4.21. 退院実施の取消メッセージ(ADT^A13)の定義

退院実施の取消メッセージ(ADT^A13)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A01」を使用する。

表 3-33 退院実施の取消メッセージ(ADT^A13)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	◎	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ NK1 }]	近親者情報		○	3
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
[{ ROL }]	役割		◎	15
[{ DB1 }]	身体障害	患者の障害情報を提供する。	○	3
[{ OBX }]	検査結果	検査結果を提供する。	◎	7
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
[{ DG1 }]	診断		○	6
[DRG]	診断群分類		○	6
[{				
PR1	処置		◎	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}}				
[{ GT1 }]	保証人		○	6
[{				
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		○	6
[{ IN3 }]	保険追加情報証明書		○	6
[{ ROL }]	役割		◎	15
}}				
[ACC]	事故		○	6
[UB1]	普遍的請求書情報		○	6
[UB2]	普遍的請求書 92 の情報		○	6
[PDA]	患者の死亡・剖検		○	3

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.5. 患者管理(ADT)系セグメントの定義

3.5.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

表 3-34 メッセージヘッダセグメント(MSH)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
MSH-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「MSH」を設定する。
MSH-1	フィールド区切文字	1	ST	R			R	R	セグメント ID と最初の実フィールド (MSH-2 コード化文字) 間の区切文字。残りのメッセージで区切文字として使う文字を定義。
MSH-2	コード化文字	4	ST	R			R	R	成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータの 4 文字。 [SS-MIX2] 標準のセパレータである「^¥&」を設定する。
MSH-3	送信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	送信アプリケーションを識別する為に用いる。HIS (病院情報システム) 名、オーダリングシステムの名称等。
MSH-4	送信施設	227	HD	O		0362	O	O	送信元施設を区別する為の送信側の施設コードや略称。
MSH-5	受信アプリケーション	227	HD	O		0361	O	O	受信アプリケーションを識別する為に用いる。 [SS-MIX2] HIS 情報ゲートウェイ受診アプリケーションを示す「GW」を設定する。
MSH-6	受信施設	227	HD	O		0362	O	O	受信先施設を区別する為の受信側の施設コードや略称。
MSH-7	メッセージ日時	26	TS	R			R	R	送信システムがメッセージを作成した日時。 [SS-MIX2] 秒までの精度は必須で指定する。最大 10000 分の 1 秒まで指定可能とする。タイムゾーンは指定しない。 「YYYYMMDDHHMMSS[S[S[S]]]]」形式。
MSH-8	セキュリティ	40	ST	O			O	N	安全性を実装するのに使われる。その使用法はまだ規定されていない。
MSH-9	メッセージ型	15	MSG	R			R	R	メッセージを識別する為に用いるコード。受信側システムは、このフィールドにより認識すべきデータ・セグメントを識別することができる。 第 1 成分: HL7 表「0076-メッセージ型」(ADT: 患者管理、OML: 検査オーダメッセージ... 等) 第 2 成分: HL7 表「0003-イベント型」(A08: 患者情報の更新、O33: ある検体に関連した複数オーダのための検査オーダ... 等) 第 3 成分: HL7 表「0354-メッセージ構造」(ADT_A01、OML_O33 等) ex) ADT^A08^ADT_A01 (患者基本情報の更新) OML^O33^OML_O33 (検体検査オーダ)
MSH-10	メッセージ制御 ID	20	ST	R			R	R	送信側システムで管理するメッセージを一意に識別する番号。
MSH-11	処理 ID	3	PT	R			R	R	HL7 処理ルールに従ってメッセージを処理するかどうかを判断する為に用いる。 [SS-MIX2] 「P」(プロダクション・本系)を設定する。
MSH-12	バージョン ID	60	VID	R			R	R	受信側システムでバージョン ID を識別しメッセージが確実に解釈されるようにする。

表 3-34 メッセージヘッダセグメント(MSH)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									[SS-MIX2] 「2.5」(HL7 Version 2.5)を設定する。
MSH-13	シーケンス番号	15	NM	O			O	N	送信側が持つ受信アプリケーション・施設毎に管理されたシーケンス。
MSH-14	継続ポインタ	180	ST	O			O	N	アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用。
MSH-15	受諾肯定応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-16	アプリケーション肯定応答型	2	ID	O		0155	O	N	このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。
MSH-17	国コード	3	ID	O		0399	O	N	メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO-3166 からのコードを指定する。
MSH-18	文字セット	16	ID	O	Y	0211	R	R	メッセージ全体に使用する文字コードセットを定義する。 [SS-MIX2] 「ISO IR87」を設定する。
MSH-19	主要言語	250	CWE	O			O	N	メッセージの主要言語を定義する。
MSH-20	代替文字セット操作法	20	ID	O		0356	C	O	文字セットを切替える為のエスケープシーケンス方式を定義する。 [SS-MIX2] 「ISO 2022-1994」を設定する。
MSH-21	メッセージプロファイル識別子	427	EI	O	Y		O	O	準拠するメッセージプロファイル。文法、構文、および、特定のメッセージやメッセージセットの詳細な説明を含む。 [SS-MIX2] 準拠している SS-MIX2 のバージョンに応じて、 「SS-MIX2_0.96^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.96^ISO」ないし 「SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO」を設定する。省略された場合は、「SS-MIX2_0.96」とみなす。 また、Ver.1.2 で特定のマイナーバージョンを指定したい場合は、「SS-MIX2_1.20_<v>^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO」の形式でマイナーバージョンを指定することができる。ここで、<v>は a, b, c などのマイナーバージョンを表す。 例: Ver.1.2e の場合 「SS-MIX2_1.20_e^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO」

3.5.2. 事象型セグメント(EVN)

表 3-35 事象型セグメント(EVN)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
EVN-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「EVN」を設定する。
EVN-1	事象型コード	3	ID	B		0003	B	N	旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

表 3-35 事象型セグメント(EVN)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
EVN -2	事象記録日時	26	TS	R			R	R	トランザクションが入力されたシステム日時をデフォルトとしているが、上書きすることも許可されている。
EVN -3	事象計画日時	26	TS	O			C	C	この事象が計画された日時。 PV2-8 予定入院日時、PV2-9 予定退院日時、PV2-47 予定帰院日時が使用される場合、できる限り使用するよう推奨。 [SS-MIX2] [条件] PV2-8 予定入院日時、PV2-9 予定退院日時、PV2-47 予定帰院日時が使用される下記メッセージで使用する。それ以外のメッセージでは使用しない。 <ul style="list-style-type: none">・ 入院予定 (ADT^A14)・ 入院予定の取消 (ADT^A27)・ 退院予定 (ADT^A16)・ 退院予定の取消 (ADT^A25)・ 外出泊実施 (ADT^A21)・ 外出泊帰院実施 (ADT^A22)・ 外出泊実施の取消 (ADT^A52)・ 外出泊帰院実施の取消 (ADT^A53)
EVN -4	事象理由コード	3	IS	O		0062	O	O	事象についての理由。 取りうる値は、使用者定義表「0062-事象理由」を参照。
EVN -5	操作者 ID	250	XCN	O	Y	0188	O	O	事象の発生に対して責任のある個人を識別する ID。
EVN -6	事象発生日時	26	TS	O			C	C	事象が実際に発生した日時。例えば、患者転送メッセージ (ADT^A02) では実際に患者が転科転棟した日時を設定する。ただし、転送の取消 (ADT^A12) などのキャンセルイベントでは、実際に取消が発生した日時ではなく、取消対象となるイベントを予定していた日時を設定する。 [SS-MIX2] [条件] 転送保留 (ADT^A15)、転送保留の取消 (ADT^A26)、患者転送 (ADT^A02)、転送の取消 (ADT^A12)、外出泊実施 (ADT^A21)、外出泊帰院実施 (ADT^A22)、外出泊実施の取消 (ADT^A52)、外出泊帰院実施の取消 (ADT^A53) メッセージでのみ使用する。それ以外のメッセージでは使用しない。
EVN -7	事象施設	241	HD	O			RE	RE	事象が発生した実際の施設。メッセージを送信した施設 (MSH-4) と区別される。

3.5.3. 患者識別セグメント(PID)

表 3-36 患者識別セグメント(PID)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「PID」を設定する。

表 3-36 患者識別セグメント(PID)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-1	セット ID-PID	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。 [SS-MIX2] 設定する場合、「0001」を設定する。 1 メッセージで複数患者の情報を送信しない。
PID-2	患者 ID	20	CX	B			B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-3	患者 ID リスト	250	CX	R	Y		R	R	病院内で患者を一意に識別できる ID。患者 ID やカルテ番号、請求書番号など。識別子型コード(CX.5)は任意であるが、使用する場合は、HL7 表「0203-ID 型」を参照。例えば、カルテ番号の場合は「PI(患者内部識別子)」を使用する。 [SS-MIX2] 英数字 6 文字以上で設定する。なお、患者 ID が 6 桁未満で表現される可能性がある場合は、6 桁以上になるように設定する。詳細については「SS-MIX2 標準化ストレージ構成の説明と構築ガイドライン」を参照のこと。
PID-4	代替患者 ID	20	CX	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-5	患者氏名	250	XPN	R	Y		R	R	患者の氏名。 [SS-MIX2] 名前タイプコード(XPN.7)は、HL7 表「0200-名前タイプ」に記載されている「L:法的な名前」を使用、名前表記コード(XPN.8)は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 2 件の繰返しをもつ(1. 漢字名称、2. カナ名称) ex) 駿河 [^] 葵 ^{^^^^} L [^] スルガ [^] アオイ ^{^^^^} L [^] P
PID-6	母親の旧姓	250	XPN	O	Y		N	N	患者の母親の旧姓。通常は使用しないフィールド。
PID-7	生年月日年齢	26	TS	O			O	R	患者の誕生日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD」形式。
PID-8	性別	1	IS	O		0001	O	R	患者の性別を識別するコード。 取りうる値は、使用者定義表「0001-性別」より「F(女性)」「M(男性)」「U(未知)」「O(その他)」を使用する。
PID-9	患者別名	250	XPN	B	Y		N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-10	人種	250	CWE	O	Y	0005	N	N	患者の人種。通常は使用しないフィールド。
PID-11	患者住所	250	XAD	O	Y		O	O	患者の住所。 [SS-MIX2] 住所タイプコード(XAD.7)は、HL7 表「0190-住所タイプ」に記載されている「H:自宅」を使用する。 住所の都道府県以下が構造化されていない場合、「ZIP あるいは郵便番号(XAD.5)」に郵便番号、「他の地理的な表示(XAD.8)」に従来記法で表現する。 ex) ^^^420-8601^JPN^H^静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号
PID-12	郡コード	4	IS	B		0289	N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。

表 3-36 患者識別セグメント(PID)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-13	電話番号－自宅	250	XTN	O	Y		O	O	患者の自宅電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7 表「0201-遠距離通信用途コード」より「PRN:主たる住居の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7 表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH:電話」を使用する。 「054-211-9999」のような非定型文字列の場合、非定型の電話番号(XTN.12)を使用する。 ex) ^PRN^PH^^^^^^^^054-211-9999
PID-14	電話番号－勤務先	250	XTN	O	Y		O	O	患者の勤務先の電話番号。 [SS-MIX2] 遠距離通信用途コード(XTN.2)は、HL7 表「0201-遠距離通信用途コード」より「WPN:勤務先の番号」を使用する。 遠距離通信装置タイプ(XTN.3)は、HL7 表「0202-遠距離通信機器タイプ」より「PH:電話」を使用する。 ex) ^WPN^PH^^^^^^^^054-999-2455
PID-15	使用言語	250	CWE	O		0296	N	N	患者の主要な言語。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-16	婚姻状況	250	CWE	O		0002	O	N	患者の婚姻状況。
PID-17	宗教	250	CWE	O		0006	N	N	患者の宗教。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-18	患者会計番号	250	CX	O			O	N	患者の会計情報を識別するための番号。
PID-19	社会保険番号	16	ST	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-20	運転免許証番号	25	DLN	B			N	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-21	母親の識別情報	250	CX	O	Y		O	N	新生児に対する母親を識別するための情報。
PID-22	民族	250	CWE	O	Y	0189	N	N	患者の民族的起源を定義する。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-23	出生地	250	ST	O			N	N	患者の出生地を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-24	多胎児識別情報	1	ID	O		0136	N	N	患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-25	誕生順序	2	NM	O			N	N	患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-26	市民権	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者個人の市民権のある国を示す。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-27	退役軍人状況	250	CWE	O		0172	N	N	退役軍人に割り当てられた軍人情報。通常は、本フィールドは使用しない。
PID-28	国籍	250	CWE	B		0212	B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
PID-29	患者死亡日時	26	TS	O			O	N	患者の死亡日時。「YYYYMMDDHHMMSS」
PID-30	患者死亡識別情報	1	ID	O		0136	O	N	患者が死亡したか否かを Y(死亡)/N で表現。
PID-31	身元不明識別	1	ID	O		0136	O	N	患者の身元確認が行われているかどうか Y(身元不明)/N で示す。
PID-32	識別情報の信頼性	20	IS	O	Y	0445	O	N	患者を識別する上での識別情報の信頼性を示す。

表 3-36 患者識別セグメント(PID)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PID-33	最終更新日時	26	TS	O			O	C	患者情報の更新日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。 [条件] 患者基本情報の更新(ADT^A08)メッセージのとき必須。
PID-34	最終更新施設	241	HD	O			O	N	患者情報を最後に更新された病院施設の識別情報。
PID-35	種コード	250	CWE	C		0446	C	N	生物学的な種を識別するコード。人間以外の場合に使用。
PID-36	品種コード	250	CWE	C		0447	C	N	動物の特定の品種を識別するコード。
PID-37	血統情報	80	ST	O			O	N	動物の血統を識別するコード。
PID-38	生産分類コード	250	CWE	O	2	0429	O	N	生物の主な用途を示すコード。
PID-39	所属種族	250	CWE	O	Y	0171	N	N	患者の所属種族に関する情報。インディアン事務局等。

3.5.4. 近親者情報セグメント(NK1)

表 3-37 近親者情報セグメント(NK1)定義

[参照元] JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
NK1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「NK1」を設定する。
NK1-1	セット ID-NK1	4	SI	R			R	R	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する 為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
NK1-2	氏名	250	XPN	O	Y		O	O	近親者または関係者の氏名。 同じ個人に対して複数の名前が許容されているが、必ず法的な名前が最初に送られなければならない。法的な名前を送らない時は、最初に反復区切り文字を送らなければならない。
NK1-3	続柄	250	CWE	O		0063	O	O	患者と近親者／関係者の関係。 取りうる値は、HL7 表「0063-続柄」を参照。
NK1-4	住所	250	XAD	O	Y		O	O	近親者／関係者の住所。
NK1-5	電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	近親者／関係者の電話番号。
NK1-6	勤務先電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	近親者／関係者の職場の電話番号。
NK1-7	役割	250	CWE	O		0131	O	N	近親者／関係者の患者に関する特定の役割。
NK1-8	役割の開始日	8	DT	O			O	N	その役割が始まった日。
NK1-9	役割の終了日	8	DT	O			O	N	その役割が終わった日。
NK1-10	肩書	60	ST	O			N	N	近親者／関係者の職場での肩書き。
NK1-11	職種・職位	20	JCC	O		0327/ 0328	N	N	近親者／関係者の職場における雇用者の職業コードと従業員の職位。
NK1-12	従業員番号	250	CX	O			N	N	雇用者が、近親者／関係者である従業員に割り当てた番号。
NK1-13	所属組織名	250	XON	O	Y		O	O	近親者／関係者が勤務する組織の名称。

表 3-37 近親者情報セグメント(NK1)定義

[参照元] JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SOPIX2	説明
NK1-14	結婚状態	250	CWE	O		0002	N	N	近親者／関係者の結婚状態。
NK1-15	性別	1	IS	O		0001	O	N	近親者／関係者の性別
NK1-16	生年月日	26	TS	O			O	N	近親者／関係者の生年月日。
NK1-17	生活依存	2	IS	O	Y	0223	N	N	患者の医療ニーズに関係する、特別な生活の状態(例えば配偶者が患者に扶養されている、エレベータがない建物)を示す。
NK1-18	介護区分	2	IS	O	Y	0009	N	N	近親者／関係者の移動能力。
NK1-19	市民権情報	250	CWE	O	Y	0171	N	N	近親者／関係者の市民権情報。
NK1-20	使用言語	250	CWE	O		0296	N	N	近親者／関係者が主に話す言語。
NK1-21	生活様式	2	IS	O		0220	N	N	関係者の住居における生活様式。
NK1-22	周知標識	250	CWE	O		0215	N	N	近親者／関係者がどの程度(例:秘密、家族のみ)の周知を許容するかを示す。
NK1-23	保護標識	1	ID	O		0136	N	N	十分な権限を持たない使用者から情報照会を受けた時に近親者／関係者がどの程度データを保護したいかを示す。
NK1-24	学生標識	2	IS	O		0231	N	N	近親者／関係者が現在学生であるか否か、近親者／関係者が全日制の学生か、定時制の学生かを示す。
NK1-25	宗教	250	CWE	O		0006	N	N	近親者／関係者の信仰する宗教。
NK1-26	母親の旧姓	250	XPX	O	Y		N	N	近親者／関係者の母親の旧姓。
NK1-27	国籍	250	CWE	O		0212	N	N	近親者／関係者が属する国、または国際グループを識別するコード。
NK1-28	民族	250	CWE	O	Y	0189	N	N	近親者／関係者が属する民族。
NK1-29	連絡理由	250	CWE	O	Y	0222	N	N	連絡先をどのようなときに利用すべきかを示す。
NK1-30	連絡先の名前	250	XPX	O	Y		O	N	NK1-3 続柄で示される関係の値により連絡する人の名前。このフィールドは主に NK1 が組織である時に必要となる。
NK1-31	連絡先の電話番号	250	XTN	O	Y		O	N	NK1-3 続柄で定義された関係の値によって連絡する人の電話番号を示す。このフィールドは主に NK1 が組織である時に必要となる。
NK1-32	連絡先の住所	250	XAD	O	Y		O	N	NK1-3 続柄で定義された関係の値によって連絡する人の住所を示す。このフィールドは主に NK1 が組織である時に必要となる。
NK1-33	近親者識別情報	250	CX	O	Y		O	N	近親者／関係者の識別情報、例えば社会保険番号、運転免許番号等。
NK1-34	職業状態	2	IS	O		0311	N	N	近親者／関係者の職業状態。
NK1-35	人種	250	CWE	O	Y	0005	N	N	近親者／関係者の人種。
NK1-36	障害情報	2	IS	O		0295	N	N	関係者の身体障害。
NK1-37	連絡先の社会保険番号	16	ST	O			N	N	アメリカでは、このフィールドでは連絡者の社会保険番号を示す。
NK1-38	近親者生誕地	250	ST	O			N	N	近親者の生誕地。
NK1-39	VIP 標識	2	IS	O		0099	N	N	近親者の VIP 標識。

3.5.5. 来院情報セグメント(PV1)

表 3-38 来院情報セグメント(PV1)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PV1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「PV1」を設定する。
PV1-1	セット ID-PV1	4	SI	O			O	O	トランザクションを一意的に識別する番号。 [SS-MIX2] 設定する場合、「0001」を指定する。
PV1-2	患者区分	1	IS	R		0004	R	R	患者の分類を示す。入院、外来などの区別を表現する。 使用者定義表「0004-患者クラス」より「I(入院患者)」と「O(外来患者)」を用いて、入院患者・外来患者を表現する。
PV1-3	患者所在場所	80	PL	O			C	O	患者の所在場所を示す。 入力した物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL.6)は必須とする。 <診療科コード>には、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 <病棟コード>、<病室コード>、<ベッド番号>には各施設で決められたローカルコードを使用する。 所在場所型(PL.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
PV1-4	入院区分	2	IS	O		0007	O	N	患者が入院した経緯を示す。
PV1-5	事前入院番号	250	CX	O			O	N	患者の仮入院番号を一意的に識別する番号。
PV1-6	患者の以前の所在	80	PL	O			O	O	患者の以前の所在場所を示す。 [SS-MIX2] 入院患者の移動(転科・転棟・転室・転床)前の所在場所を示す。 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^<患者位置タイプ> <病棟コード>、<病室コード>、<ベッド番号>には各施設内で決められたローカルコードを使用する。<患者位置タイプ>は、使用者定義表「0305-患者位置タイプ」より「N(病棟)」を使用する。 ex) 031^304^01^^N
PV1-7	主治医	250	XCN	O	Y	0010	O	O	患者を診療する主治医の情報を示す。 [SS-MIX2] <医師の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法定的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
PV1-8	紹介医	250	XCN	O	Y	0010	O	N	紹介医師の情報を示す。
PV1-9	コンサルタント医師	250	XCN	B	Y	0010	N	N	コンサルタント医師の情報を示す。

表 3-38 来院情報セグメント(PV1)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PV1-10	診療部門	3	IS	O		0069	C	C	患者を担当する診療科を示す。A01(入院/来院)、A02(転科転棟)、A14(入院待ち)、A15(転科転棟待ち)で使用される。 [条件] トリガイベント A01、A02、A14、A15 の場合のみ使用する。 使用者定義表「0069-診療部門」を使用する。
PV1-11	一時的な所在場所	80	PL	O			N	N	患者の所在場所以外の場所で、手術等の一時的な所在を示す。
PV1-12	入院前検査標識	2	IS	O		0087	N	N	患者は入院するために仮入院検査を受けねばならないことを示す。
PV1-13	再入院標識	2	IS	O		0092	N	N	患者が施設および環境に再入院することを示す。再入院は R、そうでなければ Null である。再発患者の来院も示すことができる。
PV1-14	紹介元	6	IS	O		0023	O	N	患者がどこに入院していたかを示す。
PV1-15	外来状況	2	IS	O	Y	0009	O	N	外来時の患者の身体機能(障害状況)を示す。補助機器を使用して来院、意識不明/担架を使用して来院、妊婦...等。
PV1-16	VIP 標識	2	IS	O		0099	O	N	VIP のタイプを識別する。
PV1-17	入院時医師	250	XCN	O	Y	0010	O	O	入院を指示した医師の情報を示す。 [SS-MIX2] <医師の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>~~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L~~~~~I
PV1-18	患者種別	2	IS	O		0018	N	N	病院内で独自に使用している患者の種別。
PV1-19	来院番号	250	CX	O			O	N	患者の来院に割り当てられた一意的な番号。次回診察予定番号。
PV1-20	保険種別	50	FC	O	Y	0064	O	N	診療報酬の源を識別する目的で患者に割り当てられた、主要な財務のクラス。
PV1-21	費用識別標識	2	IS	O		0032	N	N	部屋およびベッドの料金にどの価格表を使用するか決めるために使用されるコード。
PV1-22	優待コード	2	IS	O		0045	N	N	患者が特定の優待を受けるかどうかを示すコード。
PV1-23	信用等級	2	IS	O		0046	N	N	過去の信用経験を決定する。
PV1-24	契約コード	2	IS	O	Y	0044	N	N	会計残高を決済するための施設および保証人による契約のタイプを識別する。
PV1-25	契約発効日	8	DT	O	Y		N	N	契約が始まる日付。
PV1-26	契約金額	12	NM	O	Y		N	N	保証人によって各期に契約ごとに支払われる金額。
PV1-27	契約期間	3	NM	O	Y		N	N	使用者が定義する期間で、契約の持続期間を指定する。
PV1-28	利息コード	2	IS	O		0073	N	N	任意の未決済の金額に対し保証人に請求される利息額を示す。
PV1-29	不良負債転換コード	4	IS	O		0110	N	N	会計が不良負債に転換されたこと及び理由を示す。
PV1-30	不良負債転換日	8	DT	O			N	N	会計が不良負債状況に転換された日付。

表 3-38 来院情報セグメント(PV1)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
PV1-31	不良負債代理店コード	10	IS	O		0021	N	N	会計が転換された先の不良負債代理を一意的に識別する。
PV1-32	不良負債転換額	12	NM	O			N	N	不良負債に転換された金額。
PV1-33	不良負債回収額	12	NM	O			N	N	会計上の保証人から回収された金額。
PV1-34	会計情報削除標識	1	IS	O		0111	N	N	会計がファイルから削除されたこと及びその理由を示す。
PV1-35	会計情報削除日	8	DT	O			N	N	会計がファイルから削除された日付。
PV1-36	退院区分	3	IS	O		0112	O	O	退院時の患者の状態・処置を示す。 使用者定義表「0112-退院区分」より「01(退院)」「05(紹介)」「20(死亡)」等を用いる。
PV1-37	退院先	47	DLD	O		0113	O	N	患者の退院先の施設を示す。
PV1-38	食事種別	250	CWE	O		0114	O	N	患者用の特別の給食タイプを示す。
PV1-39	担当施設	2	IS	O		0115	N	N	今回の来院がどの医療機関と関係しているか示す。
PV1-40	ベッド状態	1	IS	B		0116	N	N	病院におけるベッドの使用状況を示す。清掃、空き、汚染...等。
PV1-41	会計状態	2	IS	O		0117	N	N	患者の会計の状況を示す。
PV1-42	保留所在場所	80	PL	O			N	N	患者が移動する先の看護ステーション、部屋、ベッド、施設 ID およびベッド状況を示す。第 5 の成分(ベッド状況)中に値がある場合、それは、PV1-40 の値に取って代わる。
PV1-43	事前の一時的所在	80	PL	O			N	N	患者の一時的な場所を示す時に使用される。割り当てられた場所へ移動する前の一時的な場所などを示す。
PV1-44	入院日時	26	TS	O			O	O	患者の入院日時を示す。 ※ADT^A04(来院受付)のときは、来院日時となる ADT^A05(事前登録(予約登録))のときは、予約日時となる
PV1-45	退院日時	26	TS	O	Y		O	O	患者の退院日時を示す。
PV1-46	未納額	12	NM	O			N	N	来院患者の現在の未納額を示す。
PV1-47	総費用	12	NM	O			N	N	来院有償金額の合計。
PV1-48	総調整額	12	NM	O			N	N	来院調整金額の合計。
PV1-49	合計支払額	12	NM	O			N	N	来院の支払い金額の合計。
PV1-50	代替来院 ID	250	CX	O		0203	O	N	来院 ID 番号。この ID は入院時に患者を一意的に識別するために使用される。
PV1-51	来院標識	1	IS	O		0326	N	N	データ送信が患者の来院によるのか会計によるのかの識別に使用。
PV1-52	他のヘルスケア供給者	250	XCN	B	Y	0010	N	N	患者の診療行為に関わる全ての医療従事者を示す事ができる。 看護婦、付き添い、補助医師...等。

3.5.6. 来院補足情報セグメント(PV2)

表 3-39 来院補足情報セグメント(PV2)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PV2-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「PV2」を設定。
PV2-1	事前保留所在場所	80	PL	C			C	C	<p>予定の取消によってキャンセルとなった場所を示す。</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p><病棟コード>^<病室コード>^<ベッドコード>^^<患者位置タイプ></p> <p><患者位置タイプ>は、使用者定義表「0305-患者位置タイプ」より「N(病棟)」を使用する。</p> <p>ex) 031^304^01^^N</p> <p>[条件] 入院予定の取消(ADT^A27)・転棟・転科(転室・転床)予定の取消(ADT^A26)のとき使用する。</p>
PV2-2	宿泊設備コード	250	CWE	O		0129	N	N	患者来院の際に必要な設備を示す。
PV2-3	入院の理由	250	CWE	O			O	N	患者の入院理由の概要説明を示す。
PV2-4	転科転棟の理由	250	CWE	O			O	N	患者の転院理由の概要説明を示す。
PV2-5	患者貴重品情報	25	ST	O	Y		N	N	入院中に確認された患者の貴重品に関する記述情報を示す。
PV2-6	患者貴重品の保管場所	25	ST	O			N	N	患者の貴重品の保管場所を示す。
PV2-7	来院種別コード	2	IS	O	Y	0130	O	N	患者の来院種別の分類。往診、診療車...など。
PV2-8	予定入院日時	26	TS	O			O	C	<p>患者の入院が予定される日時を示す。</p> <p>転棟・転科(転室・転床)予定(ADT^A15)・転棟・転科(転室・転床)予定の取消(ADT^A26)のとき転棟・転科予定日となる。</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>[条件] 入院予定(ADT^A14)・入院予定の取消(ADT^A27)のとき使用する。</p>
PV2-9	予定退院日時	26	TS	O			O	C	<p>患者の退院が予定される日時を示す。</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>[条件] 退院予定(ADT^A16)・退院予定の取消(ADT^A25)のとき使用する。</p>
PV2-10	予定入院期間	3	NM	O			O	N	入院患者の予想入院期間を示す。
PV2-11	入院期間	3	NM	O			O	N	入院患者が実際に入院していた日数を示す。患者が外泊した場合など病院離れた期間は含まない。
PV2-12	来院時記述情報	50	ST	O			N	N	来院の簡潔なユーザ定義記述を含んでいる。
PV2-13	紹介元情報	250	XCN	O	Y		O	N	患者の紹介を行った個人または組織の名前と識別番号を示す。この個人／組織は紹介医とは異なる。
PV2-14	前回来院日	8	DT	O			O	N	通院患者における前回来院日を示す。この情報は第三者に対して特定の疾患(例:事故に関連した)請求をする際に求められる。
PV2-15	職業由来疾病情報	1	ID	O		0136	N	N	患者が職業に由来した疾患にかかっているか否かを示す。
PV2-16	削除状態標識	1	IS	O		0213	N	N	会計情報に関する削除状態を示す。アプリケーションプログラムにより削除プロセスを実行するかどうかの判断に使用される。
PV2-17	削除予定日	8	DT	O			N	N	データがシステムから削除される予定日を示す。
PV2-18	特別プログラムコード	2	IS	O		0214	N	N	医療払い戻しのために必要になった来院のための特定の健康保険プログラムを指定する。

表 3-39 来院補足情報セグメント(PV2)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
PV2-19	保持標識	1	ID	O		0136	N	N	来院時の財務、患者基本情報の削除をコントロールするために使用する。特別な、優先度の高い来院に関する患者基本情報、財務データを維持するために使用される。
PV2-20	適応可能保険の数	1	NM	O			N	N	来院時の支払いに適用可能な保険の数を示す。
PV2-21	来院情報周知範囲	1	IS	O		0215	N	N	特定の来院についてどの程度の公開が許されるかを示す(例えば非公開、家族のみ)。患者レベルの周知標識は PD1-11 周知標識を参照のこと。
PV2-22	来院情報保護標識	1	ID	O		0136	N	N	患者の個人情報へのアクセスを適切な権限を持たないユーザに対して情報を保護するべきかどうかを判断する患者の保護標識を示す。
PV2-23	診療部門名	250	XON	O	Y		O	N	医療機関の名称、またはその部門や患者の(来院に関する)治療上の出来事に関係した識別情報を示す。
PV2-24	患者状態	2	IS	O		0216	N	N	治療上の患者の状態。例えば現役の入院患者、退院した入院患者といった状態を示す。
PV2-25	受診優先指標	1	IS	O		0217	N	N	来院の優先度を示す。患者に対して診療行為を行う際の優先度を示す。
PV2-26	最終治療日	8	DT	O			N	N	今回の来院以前に、患者が前回の治療を受けた日を示す。前回の病院来院日は前回の退院日であることが多い。
PV2-27	希望退院種別	2	IS	O		0112	N	N	退院時に患者が望む退院区分を示す。
PV2-28	署名日	8	DT	O			N	N	保険の支払い目的で、サインを得た日付を示す。
PV2-29	発症日	8	DT	O			N	N	患者が潜伏期間があったかどうかを判断することに利用する。
PV2-30	患者費用補正コード	250	CWE	O		0218	N	N	この患者の支払いに対してどの調整をすべきかを示す。
PV2-31	通院治療標識	2	IS	O		0219	N	N	治療が継続しているか否かを示す。
PV2-32	請求媒体コード	1	ID	O		0136	N	N	テープ媒体による請求が拒否されるかどうかを示す。
PV2-33	予定手術日時	26	TS	O			N	N	手術を予定している日時を示す。
PV2-34	軍隊との契約の有無	1	ID	O		0136	N	N	軍隊の医療機関が非軍事医療施設のサービスを受ける契約をしているか否かを示す。
PV2-35	非軍隊施設の利用許可の有無	1	ID	O		0136	N	N	患者が非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っているか否かを示す。
PV2-36	新生児標識	1	ID	O		0136	N	N	患者が新生児か否かを示す。
PV2-37	新生児残留標識	1	ID	O		0136	N	N	母親が退院した後も新生児が病院に留まることを示す。
PV2-38	患者到着手段	250	CWE	O		0430	O	N	患者がどのようにして医療機関に運ばれたかを示す。救急車、徒歩、ヘリコプター... など。
PV2-39	嗜好情報	250	CWE	O	Y	0431	O	N	患者がどのような嗜好薬を用いているかを示す。これは部屋割りのために用いられる。患者の依存・中毒の種類を示す。
PV2-40	入院時患者重症度	250	CWE	O		0432	O	N	入院時の患者重症度を示す。急性、昏睡状態、危篤... など。
PV2-41	要注意コード	250	CWE	O	Y	0433	O	N	患者を扱う上で医療以外の注意事項を示す。盲目、聾啞、麻痺... など。
PV2-42	患者容態標識	250	CWE	O		0434	O	N	医療関係者以外の、例えば家族、雇用主、牧師、取材に対して患者の現在の容態説明を示す。

表 3-39 来院補足情報セグメント(PV2)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
PV2-43	延命希望標識	2	IS	O		0315	O	N	患者が延命を希望しているか否か、もしそうであれば延命希望を示す書類を医療機関が持っているかを示す。もし尊厳死を希望している場合は、この値は尊厳死希望の書類の保管場所を示す。PD1-7 延命希望標識もあわせて参照のこと。
PV2-44	臓器提供希望標識	2	IS	O		0316	O	N	患者が臓器提供を望むか否か、その医療機関においてドナーカードまたは類似の書類を保管しているか否かを示す。
PV2-45	その他の患者要望	250	CWE	O	Y	0435	N	N	医療関連施設に対する申し送りを記述する。また PD1-15 その他の患者要望もあわせて参照のこと。
PV2-46	患者状態(PV2-24)の発症日	8	DT	O			O	N	PV2-24 患者状態が有効となった日付を示す。退院日付または入院日付。
PV2-47	予定帰院日時	26	TS	C			O	O	このフィールドは患者が帰院する予定の日時を示す。許可外出による外出(ADT^A21)において必要となる。許可外出からの帰院(ADT^A22)、許可外出の取消(ADT^A52)、許可外出からの帰院の取消(ADT^A53)でも使用してもよい。
PV2-48	入院前検査予定日時	26	TS	O			O	N	患者の入院前検査を予定している日時を示す。
PV2-49	聖職者通知標識	20	IS	O	Y	0534	N	N	聖職者に通知されるべきかを通知するために使用される。葬儀業者など。

3.5.7. 身体障害セグメント(DB1)

表 3-40 身体障害セグメント(DB1)定義

[参照元]HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
DB1-0	セグメント ID	3	ST	R			-	R	セグメント ID「DB1」を設定する。
DB1-1	セット ID- DB1	4	SI	R			-	R	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
DB1-2	身体障害情報	2	IS	O		0334	-	R	このメッセージがどの人に関連した身体障害情報かを示す。使用者定義表「0334-障害者」(PT: 患者、GT: 保証人、IN: 被保険者、AP: 関係者)を参照。 ex) PT
DB1-3	身体障害者 ID	250	CX	O	Y		-	N	このセグメントでどの人の身体障害情報を送ったかの識別情報を送る。 [SS-MIX2] 個人の特定は、身体障害情報(DB1-2)で判断し、詳細な社会的な情報は送信しない。
DB1-4	身体障害の有無	1	ID	O		0136	-	R	個人(DB1-2 身体障害情報)の来院が困難を伴うか否かを示す。 HL7 表「0136-Yes/No 標識」を参照。 [SS-MIX2] 個人(DB1-2 身体障害情報)の障害の有無を示す。(Y: 障害有り、N: 障害無し)
DB1-5	身体障害発生日	8	DT	O			-	N	個人(DB1-2 身体障害情報)の障害を持った日を示す。
DB1-6	身体障害回復日	8	DT	O			-	N	個人(DB1-2 身体障害情報)の障害から回復した日を示す。

表 3-40 身体障害セグメント(DB1)定義

[参照元]HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
DB1-7	職場復帰日	8	DT	O			-	N	個人(DB1-2 身体障害情報)の職場に復帰できた日を示す。
DB1-8	職場離脱期間	8	DT	O			-	N	個人(DB1-2 身体障害情報)の障害により働けなかった期間を示す。

3.5.8. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-41 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID - OBX	4	SI	O			C	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	C	C	[条件] 検査結果状態(OBX-11)が「X(この検査では、結果は得られない)」および「O(検査依頼項目の詳細を示す)」のいずれでもない場合に必須。 [SS-MIX2] HL7 表「0125-値型」より血液型の場合は「CWE」、身長・体重は「NM」を設定。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	[SS-MIX2] 身長、体重、血液型(ABO 式)、血液型(Rh 式)に、「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC10)」 ¹⁾ よりコードを設定する。 9N001000000000001^身長^JC10 9N006000000000001^体重^JC10 5H010000001999911^血液型-ABO 式^JC10 5H020000001999911^血液型-Rh 式^JC10 (値としては半角記号+または-を設定) ABO 式血液型がある場合には必須 また、感染症についても同様に JLAC10 コード ²⁾ にて設定することができる。上記 JLAC10 コード ²⁾ の材料コード、測定法コードの部分は各医療機関が適切なコードを設定するものとするが、不明な場合にはゼロで埋めて出力してもよい。
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	検査値	65536	*	C	Y		C	C	[SS-MIX2] 身長・体重・血液型。 血液型は CWE 型を使用し、取りうる値は「JSHR002-検査値」を参照。コーディングシステム名には「JSHR002」を格納する。 [条件] 患者プロファイルとして使用する場合は必須。
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	[SS-MIX2] [条件] 身長、体重の場合、単位コードを指定する。取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。

表 3-41 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

								身長:cm^cm^ISO+ 体重:kg^kg^ISO+	
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			O	N	検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y	0078	O	N	結果の正常状態を示すテーブルルックアップ。所見(正常、異常)フラグに用いる。
OBX-9	確率	5	NM	O			O	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	O	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 取りうる値は、HL7 表「0085-検査結果状態」を参照。 [SS-MIX2] 「F」(最終結果)を使用する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			O	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			O	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			O	N	実際に検査された日時示す。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O	Y		O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		O	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	検査に用いられる装置の識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			O	N	実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。
 なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.5.9. アレルギー情報セグメント(AL1)

表 3-42 アレルギー情報セグメント(AL1)定義

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
AL1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「AL1」を設定する。
AL1-1	セット ID - AL1	4	SI	R			R	R	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
AL1-2	アレルギー分類	250	CWE	O		0127	O	O	アレルギーの分類を示す。 取りうる値は、使用者定義表「0127-アレルギー分類」を参照。 ex) DA^薬剤アレルギー^HL70127
AL1-3	アレルギー情報	250	CWE	R			R	R	特定のアレルギーを識別する情報。 [SS-MIX2] 薬剤アレルギーの場合は MEDIS-DC の「標準医薬品マスター-9 析コード(HOT9)」、それ以外の場合は「日本臨床検査医学会臨

表 3-42 アレルギー情報セグメント(AL1)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
									床検査項目分類コード(JLAC10)』 ¹ を使用することを推奨する。 ex) 5A1002411023006^ソバ^JC10 106824501^アリナミン^HOT9 1^ペニシリン^99XYZ 11^卵^99XYZ
AL1-4	アレルギー重症度	250	CWE	O		0128	O	N	アレルギーの重症度を示す。使用者定義表「0128-アレルギー重症度」(SV: 重度、MO: 中程度、MI: 軽度)を参照。 ex) SV^重度^HL70128
AL1-5	アレルギー反応情報	15	ST	O	Y		O	N	特定のアレルギー反応(震え、くしゃみ、発疹など)を短く文章で記述したもの。
AL1-6	判定日	8	DT	B			B	N	アレルギーが確認された日を示す。

*1: 「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.5.10. 保険セグメント(IN1)

表 3-43 保険セグメント(IN1)定義

[参照元] JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3

	IN1 フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	編集内容
IN1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「IN1」を設定する。
IN1-1	セット ID - IN1	4	SI	R			R	R	セグメント内で通し番号
IN1-2	保険プラン ID	250	CWE	R		0072	R	R	保険種別として利用する。 取りうる値は「JHSD 表 0001-保険種別」を参照し、コーディングシステム名には「JHSD0001」を格納する。
IN1-3	保険会社 ID	250	CX	R	Y		R	O	保険者の番号及び保険者の識別として利用する。第 1 成分に、検証番号を含んだ形で保険者番号を設定し、第 2 成分以降は使用しない。 格納方法等の詳細は、JAHIS データ交換規約(共通編) [7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント]を参照。
IN1-4	保険会社名	250	XON	O	Y		N	C	保険者の名称として利用する。 「表 IN1-4 保険者名称の詳細」に従って指定する。 [条件] 保険分類が MI(医保保険または国民健康保険)、PE(公費保険または地方公費)、TI(自賠)、PS(公務員災害)、PI(公害医療)、OE(自費)、OT(その他)の場合に使用する。
IN1-5	保険会社住所	250	XAD	O	Y		N	N	
IN1-6	保険会社連絡者	250	XPN	O	Y		N	N	
IN1-7	保険会社電話番号	250	XTN	O	Y		N	N	
IN1-8	グループ番号	12	ST	O			N	N	
IN1-9	グループ名	250	XON	O	Y		N	N	

表 3-43 保険セグメント(IN1)定義

[参照元] JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3

	IN1 フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	編集内容
IN1-10	被保険者グループ雇用者 ID	250	CX	O	Y		O	C	Ver.1.2g 以降では、被保険者証の記号、番号、枝番を、繰り返しを使用して、<記号>~<番号>~<枝番>の書式でこの順に指定する。なお、<枝番>は 1 バイト系英数字 2 桁とし、省略可能とする。 例: 123~1234567~01 [条件] JAHIS データ交換規約(共通編)「7.4 IN1-Insurance Segment 保険セグメント」の保険分類が「MI」(主保険)、「PI」(公害医療)の場合に設定する。
IN1-11	被保険者グループ雇用者名	250	XON	O	Y		O	C	Ver.1.2g 以降では、被保険者証の記号に対応する企業・団体などの名称をセットする。健康保険組合、共済組合では、組合に参加する企業や団体の名称に該当する。国民健康保険では市町村、協会健保では全国健康保険協会に参加している企業等、医療費公費負担制度では都道府県、がそれぞれ該当する。 例: ○○株式会社
IN1-12	プラン有効日付	8	DT	O			O	O	「保険交付年月日」をセットする。
IN1-13	プラン失効日付	8	DT	O			O	O	「保険終了年月日」をセットする。
IN1-14	認定情報	239	AUI	O			N	N	SS-MIX2 では使用しない。
IN1-15	プランタイプ	3	IS	O		0086	O	C	様々な保険のプランタイプ特定するコードとして利用する。 「JHSD 表 0002-保険のプランタイプ」より保険種別に従ったコードを設定する。 [条件] JAHIS データ交換規約(共通編)「7.4 IN1-Insurance Segment 保険セグメント」の保険分類が「PE」(公費)の場合には必須とする。 ※但し、「PE」(公費)以外の使用を制限するものではない。
IN1-16	被保険者名	250	XPN	O	Y		N	N	
IN1-17	被保険者と患者の関係	250	CWE	O		0063	O	O	患者と被保険者(保険の適用を受ける人)の関係。 [SS-MIX2] 取りうる値は、HL7 表「0063-続柄」より「SEL」(本人)と「OTH」(その他)を使用する。 <続柄コード>~<名称>~HL70063
IN1-18	被保険者生年月日	26	TS	O			O	N	
IN1-19	被保険者住所	250	XAD	O	Y		O	N	
IN1-20	給付金の配分	2	IS	O		0135	N	N	
IN1-21	給付金の調整	2	IS	O		0173	O	N	
IN1-22	給付金優先順位の調整	2	ST	O			N	N	
IN1-23	入院通知フラグ	1	ID	O		0136	N	N	
IN1-24	入院通知日付	8	DT	O			N	N	
IN1-25	有資格報告フラグ	1	ID	O		0136	N	N	

表 3-43 保険セグメント(IN1)定義

[参照元] JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3

	IN1 フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	編集内容
IN1-26	有資格報告日付	8	DT	O			N	N	
IN1-27	情報公開コード	2	IS	O		0093	N	N	
IN1-28	入院前認定書(PAC)	15	ST	O			N	N	
IN1-29	確認日付/時刻	26	TS	O			O	N	
IN1-30	確認者	250	XCN	O	Y		N	N	
IN1-31	同意種別コード	2	IS	O		0098	N	N	
IN1-32	請求状況	2	IS	O		0022	N	N	
IN1-33	生涯予備日数	4	NM	O			N	N	
IN1-34	生涯予備日数までの遅延	4	NM	O			N	N	
IN1-35	会社プランコード	8	IS	O		0042	N	N	
IN1-36	ポリシー番号	15	ST	O			N	N	
IN1-37	免責ポリシー	12	CP	O			N	N	
IN1-38	ポリシー総額	12	CP	B			N	N	
IN1-39	ポリシー限度日数	4	NM	O			N	N	
IN1-40	室料準個室	12	CP	B			N	N	
IN1-41	室料個室	12	CP	B			N	N	
IN1-42	被保険者雇用状態	250	CWE	O		0066	N	N	
IN1-43	被保険者性別	1	IS	O		0001	N	N	
IN1-44	被保険者雇用者住所	250	XAD	O	Y		N	N	
IN1-45	確認状態	2	ST	O			N	N	
IN1-46	以前の保険プラン ID	8	IS	O		0072	N	N	
IN1-47	保険範囲タイプ	3	IS	O		0309	N	N	
IN1-48	ハンディキャップ	2	IS	O		0295	N	N	
IN1-49	被保険者 ID 番号	250	CX	O	Y		N	N	
IN1-50	署名コード	1	IS	O		0535	N	N	
IN1-51	署名日	8	DT	O			N	N	
IN1-52	被保険者出生地	250	ST	O			N	N	
IN1-53	VIP 識別	2	IS	O		0099	N	N	

3.6. アレルギー情報登録・更新メッセージ(ADT^A60)の定義

アレルギー情報登録・更新メッセージ(ADT^A60)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ADT_A60」を使用する。

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

表 3-44 アレルギー情報登録・更新メッセージ(ADT^A60)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
EVN	事象型	受信アプリケーションに必要なトリガイベント情報を通知する。	○	3
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PV1]	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	○	3
[{ IAM }]	副作用情報	患者のアレルギー情報。アレルギー情報の数だけ繰り返す。	◎	3

[]は省略可能、{}は繰り返し可能を示す。

3.6.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.6.2. 事象型セグメント(EVN)

「3.5.2 事象型セグメント(EVN)」の項を参照。

3.6.3. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.6.4. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.6.5. 副作用情報セグメント(IAM)

表 3-45 副作用情報セグメント(IAM)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
IAM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「IAM」を設定する。
IAM-1	セット ID- IAM	4	SI	R			R	R	セグメントの反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
IAM-2	アレルギー分類	250	CWE	O		0127	O	O	アレルギーを分類(薬剤、食物、花粉他)する。 推奨値として使用者定義表「0127-アレルギー分類」を参照。

表 3-45 副作用情報セグメント(IAM)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SOPIX2	説明
IAM-3	アレルゲン情報	250	CWE	R			R	R	特定のアレルゲンを一意に識別する。 アレルゲンの識別に使用するコードとして薬剤アレルギーの場合は MEDIS-DC の「標準医薬品マスター9 桁コード(HOT9)」、それ以外の場合は「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード(JLAC10)」 ¹⁾ を使用することを推奨する。
IAM-4	アレルギー重症度	250	CWE	O		0128	O	O	アレルギーの重症度を示す。推奨値として使用者定義表「0128-アレルギー重症度」を参照。
IAM-5	アレルギー反応情報	15	ST	O	Y		O	O	報告されている特定のアレルギー反応情報を示す。
IAM-6	アレルギーアクションコード	250	CNE	R		0323	R	R	記録の状態を定義したコードを示す。 推奨値として HL7 表「0323-アクションコード」を参照。
IAM-7	アレルギー識別情報	427	EI	C			C	C	このフィールドは個人に対するひとつのアレルギーを一意的に識別する値を示す。それは特定の個人に対するすべてのセグメントやメッセージに対して一意的である。 [条件] もし、受信側システムで一意的にアレルギーを識別できる場合は、この代わりのフィールドとして IAM-3 アレルゲン情報を使用し、このフィールドは使ってはならない。
IAM-8	アレルギー情報追加・変更理由	60	ST	O			O	O	IAM-7 アレルギーアクションコードで示される行動の理由を示す。
IAM-9	アレルギー物質に対する感受性	250	CWE	O		0436	O	O	何故その患者が、その物質に触れてはいけないう理由を示す。推奨値として使用者定義表「0436-アレルギー物質に対する感受性」を参照。
IAM-10	アレルゲン群情報	250	CWE	O			O	O	アレルゲン情報(IAM-3)とアレルゲン群情報(IAM-10)両方を通じて通信する必要がある時に、アレルゲン群を一意的に識別するために用いられるコード、略語、記述を示す。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
IAM-11	アレルギー発症日	8	DT	O			O	O	最初の反応があった実際の日付を示す。
IAM-12	アレルギー発症時期	60	ST	O			O	O	正確な日付がわからない時に、最初の反応があった時期を文章で記述したもの。(例えば、青春期、少年期、1990 年春)
IAM-13	情報提供日時	8	TS	O			O	O	アレルギーが医療提供者に情報提供された日時を示す。
IAM-14	情報提供者	250	XPN	O			O	O	医療提供者へ、IAM-13 情報提供日時にアレルギー情報を提供した人の名前を示す。
IAM-15	情報提供者と患者の続柄	250	CWE	O		0063	O	O	患者にアレルギー情報を提供した人と患者の続柄を示す。NK1-3 で使用する表と同じものを使用する。推奨値として使用者定義表「0063-続柄」を参照。
IAM-16	要注意物質コード	250	CWE	O		0437	N	N	患者が携帯する、もしくは身につける可能性のあるアレルギー上要注意物品を示す。通常、本フィールドは使用しない。
IAM-17	アレルギー臨床確認状況	250	CWE	O		0438	O	O	アレルギーの確認状態を示す。推奨値として使用者定義表「0438-アレルギー臨床状態」を参照。
IAM-18	確認者	250	XCN	O			O	O	アレルギー臨床状態を指定した医療提供者を示す。
IAM-19	確認機関	250	XON	O			O	O	アレルギー情報を更新した医療提供組織の名称を示す。
IAM-20	確認日時	8	TS	O			O	O	IAM-19 確認機関に所属する IAM-18 確認者がアレルギー情報を更新した日時を示す。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。
 なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.7. 病名(歴)情報登録・更新メッセージ(PPR)の定義

病名(歴)情報登録・更新メッセージ(PPR^ZD1)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「PPR_ZD1」を使用する。

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

表 3-46 病名(歴)情報登録・更新メッセージ(PPR^ZD1)セグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
{				
PRB	プロブレム詳細	与えられた各個人のプロブレムを追加、更新、修正、かつ、削除するのに必要なデータを含む。	◎	12
[ZPR]	プロブレム拡張情報	表示病名における病名と修飾語及び表示病名に対するコメントを表現する。	◎	-
[{ ZPD }]	歯式拡張情報	歯科病名における部位情報を表現する。	◎	-
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
[{ VAR }]	バリエーション		-	12
[{				
ROL	役割		-	15
[{ VAR }]	バリエーション		-	12
}}				
[{				
PTH	パスウェイ詳細		-	12
[{ VAR }]	バリエーション		-	12
}}				
[{ ZI1 }]	保険	病名情報に付随する保険情報を表現する。内容は IN1 セグメントと同様。	◎	-
[{				
OBX	検査結果	プログラム情報を表現する。	-	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
}}				
[{				
GOL	目標詳細		-	12
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
[{ VAR }]	バリエーション		-	12
[{				
ROL	役割		-	15

表 3-46 病名(歴)情報登録・更新メッセージ(PPR^ZD1)セグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[[VAR]]	注釈コメント		-	12
}}				
[{				
OBX	検査結果	プロブレムに対するゴールを表現する。	-	7
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
}}				
}}				
[{				
ORC	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[
<				
OBR	検査要求	オーダ内容の詳細を表現するセグメント。	-	4
	etc.			
>				2
[[NTE]]	注釈・コメント		-	12
[[VAR]]	バリエーション		-	
[{				
OBX	検査結果	オーダに含まれる検査の詳細を表現するセグメント。	-	7
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[[VAR]]	バリエーション		-	12
}}				
]				
}}				
}				

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.7.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.7.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.7.3. プロブレム詳細セグメント(PRB)

表 3-47 プロブレム詳細セグメント(PRB)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
PRB-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「PRB」を設定する。
PRB-1	アクションコード	2	ID	R		0287	R	R	メッセージの意図を示す。 取りうる値は、HL7 表「0287-プロブレム/ゴール・アクションコード」を参照。
PRB-2	アクション日付/時刻	26	TS	R			R	R	アクション符号によって表わされたオペレーションを実行した日付/時刻を含む。 更新時間として利用する。

表 3-47 プロブレム詳細セグメント(PRB)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
PRB-3	プロブレム ID	250	CWE	R			R	R	病名表記を一意に表すコード。 推奨値として「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名管理番号」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
PRB-4	プロブレムインスタンス ID	60	EI	R			R	R	管理番号として利用する。管理番号とは病名情報を一意にする番号のことを指す。
PRB-5	診療 ID エピソード	60	EI	O			O	O	プロブレムが当てはまる診療のエピソードを一意的に識別する。
PRB-6	プロブレムリストの優先権	60	NM	O			O	O	個人のために管理されるリスト上のプロブレムに対する優先度を示す。
PRB-7	プロブレム設定日付／時刻	26	TS	O			O	O	対応するプロブレムが医療提供者によって当初確認された日付／時刻を含む。 診断日として利用する。
PRB-8	予想されるプロブレム解決日付／時刻	26	TS	O			O	O	プロブレム解決の予定日付／時刻を含む。
PRB-9	実際のプロブレム解決日付／時刻	26	TS	O			O	O	プロブレムを実際に解決した日付／時刻を含む。 終了日として利用する。
PRB-10	プロブレムの分類	250	CWE	O			O	O	プロブレムの種類を示す。 診断種別名と ICD-10 として利用する。診断種別名とは、診断が下された状況を種別する値と定義する。設定は第一成分から第三成分に「ICD-10」の値を設定し、第四成分から第六成分に「診断種別名」を設定し、設定する成分の位置は固定とする。ただし、第二成分は省略と定義する。また、診断種別名は「JHSD 表 0004-診断種別」を使用し、コーディングシステム名は、「JHSD0004」を用いる。診断種別が特定できない場合は、第四成分から第六成分は省略可とする。 〈ICD-10 の値〉 ¹ 10 ² 〈診断種別〉 ³ 〈テキスト〉 ⁴ JHSD0004
PRB-11	プロブレムマネジメント職種	250	CWE	O	Y		O	O	特定のプロブレムを管理するための責任を持つ医療提供者の属性を示す(例えば診療チーム、看護、内科、呼吸治療、作業療法、給食など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-12	プロブレムの長期化	250	CWE	O			O	O	プロブレムの持続性を示す(例えば、急性、慢性、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-13	プロブレムの確認状態	250	CWE	O			O	O	プロブレムの検証状態を含む。(例えば、確認された、差異、臨時、除外、など)。 疑い病名フラグとして、「JHSD 表 0005-疑い病名フラグ」を利用し、コーディングシステム名は、「JHSD0005」を用いる。
PRB-14	プロブレムのライフサイクル状態	250	CWE	O			O	O	特定の日付／時刻現在のプロブレムの状態を含む。(例えば、アクティブ、アクティブで改善中、アクティブで安定している、アクティブで悪化、アクティブでない、解決された、など)。 転帰区分として利用する。使用する値は、HL7 表「0241-患者の結果」または「JHSD 表 0006-転帰区分」を参照し、コーディングシステム名はそれぞれ「HL70241」、「JHSD0006」を用いる。

表 3-47 プロブレム詳細セグメント(PRB)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
PRB-15	プロブレムのライフサイクル状態の日付／時刻	26	TS	O			O	O	現在のプロブレムについてライフサイクル状態の発効日付／時刻を示す。 転帰日として利用する。転帰が死亡、回復、完全回復の場合には、終了日 (PRB-9) と転帰日は同じ値でなければならない。それ以外の転帰の場合は、プロブレムの終了日が空白で、転帰日のみをセットする。
PRB-16	プロブレムの発生日付	26	TS	O			O	O	プロブレムが始まった日付／時刻を含む。 開始日として利用する。 例) 7月1日 (PRB-16) に受傷した肋骨骨折を7月10日 (PRB-7) に受診して医師が診断した。
PRB-17	プロブレムの発生テキスト	80	ST	O			O	O	プロブレムが発生した時点のテキスト表現を考慮に入れる。 患者の病態をあらわすために実際に入力される文字列として利用する。
PRB-18	プロブレムのランキング	250	CWE	O			O	O	ユーザに定義されたプロブレム優先順位を含む。(例えば数値のランキング、あるいは「第1」、「第2」、などの単語の使用)。 病名区分として利用する。使用する値は「JHSD 表 0007-病名区分」を使用し、コーディングシステム名は「JHSD0007」を用いる。
PRB-19	プロブレムの確実性	250	CWE	O			O	O	プロブレムの確実性の定性的表現を含む(例えば、HI-高い、LO-低い、ME-中程度)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-20	プロブレムの確率(0-1)	5	NM	O			O	O	プロブレムがこの患者のために存在するという確実性の定量的あるいは数値的な表現を含む。 0~1 の有効な範囲を持つ。
PRB-21	プロブレムの個々の認識	250	CWE	O			O	O	プロブレムに関する患者自身の理解度を含む(例えば、十分な、最低限の、部分的な、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-22	プロブレムの予後	250	CWE	O			O	O	各個人のプロブレムの予後を含む(例えば、よい、悪い、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-23	予後についての患者個人の認識	250	CWE	O			O	O	プロブレムの予後について各個人の理解の度合いを含む(例えば、十分な、最低限の、部分的な、など)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
PRB-24	プロブレム／予後についての家族 その他重要な関係者の認識	250	ST	O			O	O	実際のプロブレム／予後の各個人の家族あるいは他の重要な関係者の理解を示す。
PRB-25	セキュリティ／感受性	250	CWE	O			O	O	プロブレムに関するセキュリティや感受性のレベルに関する情報を含む。(例えば、高度に敏感な、敏感でない、敏感な、など)。 機密保護サインとして利用する。取りうる値は、使用者定義表「0177-守秘コード」を参照。

3.7.4. プロブレム拡張情報セグメント(ZPR)

表 3-48 プロブレム拡張情報セグメント(ZPR)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
ZPR-0	セグメント ID	3	ST	-			R	R	セグメント ID「ZPR」を設定する。
ZPR-1	修飾語管理番号(接頭語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接頭語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-2	病名管理番号	250	CWE	-			R	R	病名管理番号。 推奨値として「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名管理番号」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
ZPR-3	修飾語管理番号(接尾語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-4	修飾語交換用コード(接頭語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接頭語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-5	病名交換用コード	250	CWE	-			O	O	MEDIS 標準病名集で規定された病名交換用コード。 取りうる値は、「ICD10 対応標準病名マスター」の「病名交換用コード」を参照し、コーディングシステム名には「MDCDX2」を格納する。
ZPR-6	修飾語交換用コード(接尾語)	250	CWE	-	Y		O	O	「ICD10 対応標準病名マスター」を利用する場合は、接尾語の修飾語管理番号。修飾語が複数存在する場合は、繰り返しを利用するが、「ICD10 対応標準病名マスター」で定義されている修飾語テーブルの「接続位置区分」の規程に従った並び順にする。
ZPR-7	コメント	199	ST	-			O	O	病名に付随するコメント。

3.7.5. 歯式拡張情報セグメント(ZPD)

表 3-49 歯式拡張情報セグメント(ZPD)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
ZPD-0	セグメント ID	3	ST	-			R	R	セグメント ID「ZPD」を設定する。
ZPD-1	セット ID-ZPD	4	SI	-			O	O	ひとつの傷病名に対する歯式情報の繰り返しを1から順に最大64まで設定する。
ZPD-2	歯式情報	250	CWE	-			O	O	歯式情報をセットする。「JHSD 表 0010-歯式」を使用し、コーディングシステム名は「JHSD0010」を使用する。 ex) 101801^右側上顎第3大臼歯現存歯遠心頬側根^JHSD0010

3.7.6. 保険セグメント(ZI1)

「3.5.10 保険セグメント(IN1)」の項を参照。JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C に準拠し、病名情報登録／更新時には ZI1 セグメントとして使用する。

3.7.7. 共通オーダセグメント(ORC)

表 3-50 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	オーダセグメントの機能を決定する。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダ制御」を参照。新規・修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	管理番号。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			O	O	実施アプリケーションに関連したオーダ番号。 第 1 成分は、オーダ詳述セグメントを識別する 15 文字の文字列である(例 OBR)。 第 2 成分は、実施アプリケーション ID を含んでいる。実施アプリケーション ID は、6 文字までの文字列である。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	O	オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダと一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。 第 1 成分は、15 文字までの文字列である。 第 2 成分は、依頼アプリケーション ID である。(ORC-2-依頼者オーダ番号の第 2 成分と同一)
ORC-5	オーダ状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダの状態。取りうる値については HL7 表「0038 -オーダ状態」を参照。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返されるべき情報の量を決定。取りうる値については HL7 表「0121 -応答フラグ」を参照。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	下位互換を保つ目的のためだけに残されているフィールド。
ORC-8	親	200	EIP	O			N	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダが発生した日時。オーダが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^^L^^^^^]
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。

表 3-50 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	作成した要求に対して責任のある医師などの所属氏名。診断医。 [SS-MIX2] <診断医の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 [SS-MIX2] 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダーに関する他の情報を確認するための電話番号
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダー制御コードで指定したオーダーイベントの理由 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			O	O	診断を下した医師が所属する診療科を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダーを入力するため使用された物理的装置(端末や PC)の識別子。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダー制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	対応するオーダー制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダーを発行した施設。 [SS-MIX2] <病院名>

表 3-50 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver.3.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダーを発行した施設の住所。 [SS-MIX2] ~~~~<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ~~~~420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダーを発行した施設の電話番号。 [SS-MIX2] ~~~~~<電話番号>
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダーの医療提供者住所。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が受益者注意コードにサインしない理由。コードかフリーテキスト形式で入力
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex)厳重注意、注意不要、注意など 可能な値に関しては、HL7 表「0177-守秘コード」を参照。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	R	O	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 <オーダータイプ>^<オーダータイプ名称>^HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」 「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示す。 推奨値に関しては、HL7 表「0483-承認モード」を参照のこと。

3.8. 給食オーダーメッセージ(OMD)の定義

給食オーダーメッセージ(OMD^O03)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMD_O03」を使用する。

[参照元]HL7 Ver. 2.5

表 3-51 給食オーダーメッセージ(OMD^O03)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[[PV2]]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
[[
IN1	保険	患者の社会保険情報を提供する。	-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
]]				
[GT1]	保証人		-	6
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	-	4
[[
TQ1	タイミング／数量	給食の期間・回数を示す。 開始日時・終了日時・繰り返しパターンなど。	-	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]]				
[
{ ODS }	給食オーダー	給食の情報(食事のタイプ・サービス時間帯など)を提供する。ODS-1 の各タイプにつき、ODS-2 のサービス時間帯毎に「ODS」を繰り返すか、ODS-2 がブランクの「ODS」を1つ指定する。	-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[[
OBX	検査結果		-	7

表 3-51 給食オーダーメッセージ(OMD^O03)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{NTE}]	注釈・コメント		-	2
}}				
]				
}				
[{				
ORC	共通オーダ		-	3
[{				3
TQ1	タイミング／数量		-	4
[{TQ2}]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}}				
{ODT}	配膳指示		-	4
[{NTE}]	注釈・コメント		-	3
}}				

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.8.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.8.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.8.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.8.4. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.8.5. 共通オーダセグメント(ORC)

表 3-52 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			-	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	-	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダ制御」を参照。 [SS-MIX2] 新規・修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			-	R	依頼者アプリケーションのオーダ番号。 <オーダ番号> [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			-	N	実施者アプリケーションのオーダ番号。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			-	N	依頼者アプリケーションが、複数のオーダをグループ化し後でそれらを識別できるようにするための識別番号。
ORC-5	オーダ状態	2	ID	O		0038	-	O	オーダの状態を報告。オーダ自体を処理することはできない。 実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	-	N	実施者から返される情報のレベルを指定。

表 3-52 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	S S M I X 2	説明
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		-	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			-	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			-	O	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダが発生した日時。オーダが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		-	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~^L^~~~~^I
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		-	N	入力された要求の制度を検証した人の所属氏名等の情報。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		-	O	[SS-MIX2] <給食依頼者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~^L^~~~~^I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			-	N	ロケーションを指定する、例えばナースステーション、関連サービス部、クリニック、フロアであって、要求を入力した人が要求が入力されたとき物理的に居る場所
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		-	N	要求事項やオーダに関する他の情報を確認するための電話番号
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	O			-	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	O			-	O	オーダ制御コードで指定したオーダイベントの理由 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			-	O	入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨する。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			-	O	オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダ制御)実施者	250	XCN	O	Y		-	N	オーダ制御コードで指定したイベントを発動していた人
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	-	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。

表 3-52 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	S S M I X 2	説明
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	O	Y		-	N	オーダー依頼をしている病院名を示す。
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	O	Y		-	N	オーダー依頼している病院の住所
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		-	N	オーダー依頼している病院の電話番号
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		-	N	オーダー発行者住所
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			-	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	-	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードかフリーテキスト形式で入力。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			-	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	-	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex) 厳重注意、注意不要、注意など。
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	-	N	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	-	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.8.6. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-53 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	S S M I X 2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			-	R	セグメント ID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			-	O	初回伝送時、シーケンス番号は「1」、2 回目の伝送時、シーケンス番号は「2」、以下同様。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			-	N	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。投薬日数。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	0335	-	O	繰返しパターンコードをセットする。 第1成分の取りうる値は使用者定義表「0335-繰返しパターン」を参照する。 [SS-MIX2] 1日3食の通常の食事パターン場合、以下の値を使用することを推奨する。 TID&1日3回&HL70335
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		-	N	繰返しパターン(TQ1)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的にリストする。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		-	N	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス期間	20	CQ	O			-	N	サービスを実施する期間を示す。 <日数>^<単位> ex) 4^d
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			-	O	サービスが開始される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。開始タイミングを指定する場合、HH には以下の値を使用することを推奨する。

表 3-53 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									08:朝食 12:昼食 18:夕食 この値は当事者間の取り決めにより変更することができる。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			-	O	サービスが終了される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。終了タイミングを指定する場合、HH には以下の値を使用することを推奨する。 08:朝食 12:昼食 18:夕食 この値は当事者間の取り決めにより変更することができる。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	0485	-	O	要求の優先度を記述する。 [SS-MIX2] 使用者定義表「0485-拡張優先度コード」より「R」(ルーチン)を設定する。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			-	N	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			-	N	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	-	C	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。取りうる値は、HL7 表「0472-TQ 連結 ID」を参照。 [条件] メッセージ中で複数の TQ1 セグメントを繰り返す場合に使用する。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			-	N	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			-	N	サービスの発生の総数。

3.8.7. 給食オーダセグメント(ODS)

表 3-54 給食オーダセグメント(ODS)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ODS-0	セグメント ID	3	ST	R			-	R	セグメント ID「ODS」を設定する。 [SS-MIX2] ※ODS-1 の各タイプにつき、ODS-2 のサービス時間帯毎に「ODS」を繰り返すか、ODS-2 がブランクの「ODS」を1つ指定する。
ODS-1	タイプ	1	ID	R		0159	-	R	食事のタイプを指定する。 [SS-MIX2] 取りうる値は、HL7 表「0159-食事コード定義タイプ」を拡張した以下の値のいずれかとする。 T: 食種(食止めを含む) D: 主食 P: 嗜好品 S: 補助食(おやつ) 後方互換性を保つ必要がある場合、食種や食止めを「D」として記述してもよい。

表 3-54 給食オーダーセグメント(ODS)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ODS-2	サービス時間帯	250	CWE	O	Y/10		-	O	<p>サービスの時間帯を指定する。複数の時間帯について適用する場合は ODS セグメントごと繰り返し、ODS-2 や TQ1-3 の繰り返しは使用しない。</p> <p>ブランクの場合、ODS-3、ODS-4 で指定した内容はすべてのサービス時間帯に適用される。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合は、ローカルコードを使用する。1つ以上のサービス時間帯を必要に応じて組み合わせ使用使用する。</p> <p>ex)</p> <p>1:朝食</p> <p>2:午前のおやつ</p> <p>3:昼食</p> <p>4:午後のおやつ</p> <p>5:夕食</p> <p>6:軽い夜食</p> <p>朝食時の場合:</p> <p>1^朝食^99XYZ</p>
ODS-3	食事、補食、嗜好コード	250	CWE	R	Y/20		-	R	<p>ある患者用にオーダーされた項目の識別子。機能的には OBR-4 汎用サービス ID と等価。</p> <p>このセグメントで補食(つまり ODS-1-タイプ=S)を要求した場合、この属性は特定の項目あるいはその項目のクラスを指定する。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。コードが明文化されていなければ、患者の嗜好を表す情報は、ODS セグメントの第 4 成分内のテキスト文字列として渡される。</p> <p><食事・補食・嗜好コード>^<名称>^99zzz</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>ODS-1 に指定した値により、食種、主食、嗜好品、補助食(おやつ)を指定することができる。</p> <p>ODS-1 が「T」の場合は食種を指定する。食止めの場合は、食種として SS-MIX2 仕様策定 TF 定義表 01-食種より「NPO」食止め「SSMIXTF01」をセットすることを推奨するが、後方互換性を保つ必要がある場合、従来通り主食として記述してもよい。</p> <p>ODS-1 が「D」の場合は主食を指定する。後方互換性を保つ必要がある場合、食種や食止めを記述してもよい。</p> <p>ODS-1 が「P」の場合は嗜好品を、「S」の場合は補助食(おやつ)をそれぞれ指定する。</p> <p>例1: 食種が一般食 2000kcal、主食が米飯 180g の場合</p> <p>ODS T A00105^一般食 2000kcal^99SKS</p> <p>ODS D 1^朝食^99STM 105AG^米飯 180g^99SSK</p> <p>例2: 食止めの場合(推奨例)</p> <p>ODS T NPO^食止め^SSMIXTF01</p>

表 3-54 給食オーダーセグメント(ODS)定義

[参照元] HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	J A H I S	S S I M I X 2	説明
ODS-4	テキスト指示	80	ST	O	Y/2		-	O	食事に対する特定の指示を示している。 隔離など、患者について考慮すべき特殊な要件を指定することができる。

3.9. 構造化処方オーダーメッセージ(RDE)の定義

構造化処方オーダーメッセージ(RDE^O11)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「RDE_O11」を使用する。

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

表 3-55 構造化処方オーダーメッセージ(RDE^O11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
[[IN1]]	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
]]				
[GT1]	保証人		-	6
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
]				
{	--- ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[[
TQ1	タイミング／数量		-	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]]				
[--- ORDER_DETAIL begin			
RXO	薬剤／処置 オーダー		-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
{ RXR }	投薬経路		-	4
[[
RXC	薬剤／処置 成分オーダー		-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
]]				
]	--- ORDER_DETAIL end			

表 3-55 構造化処方オーダーメッセージ(RDE`O11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
RXE	薬剤／処置 コード化されたオーダ	処方の情報(薬品名・数量など)を提供する。	◎	4
[[NTE]]	注釈・コメント			2
{				
TQ1	タイミング／数量	投薬の期間、回数を示す。 日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [SS-MIX2] ORC、RXE に対して常に1件しか使用しない。	◎	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}				
{RXR}	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	4
[[RXC]]	薬剤／処置 成分オーダ		-	4
[[
OBX	検査結果		-	7
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
]]				
[[FT1]]	会計処理		-	6
[BLG]	請求		-	4
[[CTI]]	治験識別		-	7
}	--- ORDER end			

[[は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.9.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.9.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.9.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

ただし、本メッセージでは、「PV1-1 セット ID-PV1」、「PV1-6 患者の以前の所在」、「PV1-17 入院時医師」、「PV1-36 退院区分」は使用しない。

3.9.4. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.9.5. 共通オーダセグメント(ORC)

表 3-56 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダ制御」を参照。 [SS-MIX2] 新規・修正は「NW」、取消「CA」。

表 3-56 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	すべてのオーダー(処方箋単位)を一意に識別する依頼者アプリケーションのオーダー番号。 <オーダー番号> [SS-MIX2] 15桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	処方オーダーの実施アプリケーションのオーダー番号。 [SS-MIX2] 15桁・前ゼロ形式。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			R	R	全てのRpを一意に識別できる番号。 <剤番号(RP番号)>
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダーの状態を報告。オーダー自体を処理することはできない。 実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返される情報のレベルを指定。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			O	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。)処方日時を示す。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~~]
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	作成した要求に対して責任のある医師。処方医。 [SS-MIX2] <処方医の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~~]

表 3-56 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダーに関する他の情報を確認するための電話番号。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダー制御コードで指定したオーダイントの理由。 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			O	O	入力者がオーダーを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダー制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダー制御コードで指定したイベントを発動した人。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名>
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の住所。 [SS-MIX2] ^^^^<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ^^^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町9番6号
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の電話番号。 [SS-MIX2] ^^^^^^^^^^<電話番号>
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダー依頼者住所。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードがフリーテキスト形式で入力。

表 3-56 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex)厳重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	O	O	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 〈オーダータイプ〉^〈オーダータイプ名称〉^HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.9.6. 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)

表 3-57 薬剤／処置 コード化されたオーダー(RXE)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
RXE-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXE」を設定する。
RXE-1	数量/タイミング	200	TQ	B			B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
RXE-2	与薬コード	250	CWE	R		292/ 479	R	R	患者に与えることを依頼され、薬剤または処置提供者によってコード化された薬剤または処置を示す。 MEDIS-DC の「標準医薬品マスター(HOT コード)」の使用を推奨し、その場合コーディングシステム名には「HOTnn」を格納する。 (nn はコード体系を表す。) ex) 101230901^ペルマックス錠50 μg^HOT9 HOT コード以外の標準的代替コード(例えば、個別医薬品コード(通称YJコード)や薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード))は、RXE-31 に記述できる。RXE-2 に HOT コードが出力されないメッセージにおいては、その薬剤の YJ コードまたは厚労省コードを RXE-31 に記述することを強く推奨する。
RXE-3	与薬量－最小	20	NM	R			R	R	一回分の投薬量を示す。不均等投薬時は、一回分投薬量の最小値を示す。
RXE-4	与薬量－最大	20	NM	O			O	O	不均等投薬時、一回分投薬量の最大値を示す。
RXE-5	与薬単位	250	CWE	R			R	R	薬剤または処置(例えば呼吸治療)アプリケーションによってコード化される与薬量のための単位。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。 ex) TAB^錠^MR9P
RXE-6	与薬剤形	250	CWE	O			O	O	投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 3 剤形略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。

表 3-57 薬剤／処置 コード化されたオーダ(RXE)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXE-7	依頼者の投薬指示	250	CWE	O	Y		O	O	患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダ発行者の指示。 [SS-MIX2] 取りうる値は、「JHSP 表 0001 依頼者の処方指示」、「JHSP 表 0002 調剤特別指示」、「MERIT-9 処方オーダ 依頼者の投薬指示」を参照し、コーディングシステム名は、それぞれ「JHSP0001」、「JHSP0002」、「MR9P」をセットする。
RXE-8	配布先	200	LA1	B			O	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
RXE-9	代替品状態	1	ID	O		167	X	N	有効な値は HL7 表「0167-代替品状態」を参照。 代替品が作られており、オリジナルの要求と薬コード(RXO-1 要求と薬コード)の記録が必要な場合、オプションの RXO セグメントを RDE メッセージに含むことができる。
RXE-10	調剤量	20	NM	C			R	R	薬剤または処置供給者によってコード化された調剤量。 投薬量の総量を示す。
RXE-11	調剤単位	250	CWE	C			R	R	薬剤または処置供給者によってコード化された、調剤量のための単位。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXE-12	同一薬発行数	3	NM	O			O	O	オリジナルの同一薬発行回数の合計。外来患者のみ。 ・リフィル処方箋の場合、そのリフィル回数を示す。値が null、もしくは空白か 0 の場合はリフィル処方箋ではない。
RXE-13	オーダ発行者の DEA 番号	250	XCN	C	Y		O	O	麻薬施用者の免許番号。 [条件] 管理対象薬物投与時に使用する。
RXE-14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	250	XCN	O	Y		O	O	処方監査を実施した担当者の情報。
RXE-15	処方箋番号	20	ST	C			O	O	処方指示にて発行された処方箋管理番号。 処方/処置メッセージで必須。 [SS-MIX2] 処方/処置メッセージでは必須となる条件のため、本メッセージでは必須。
RXE-16	薬剤残数	20	NM	C			O	O	同一薬発行数の残数。 外来の場合のみ使用する。
RXE-17	調剤済薬品数または投与数	20	NM	C			O	O	同一薬発行数の調剤数。 外来の場合のみ使用する。
RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	26	TS	C			O	O	補充または調剤した、最近の日時。 外来の場合のみ使用する。
RXE-19	1 日あたりの総投与量	10	CQ	C			C	C	実際の調剤単位で表現されるような、個々の調合薬のための一日当たりの投与量合計を含む。
RXE-20	人によるレビューの必要性	1	ID	O		136	X	N	HL7 表「0136-Yes/No 指標」を参照。 「Y」(Yes) - 警告が存在することを示す。 「N」(No) - 警告が存在しないことを示す。
RXE-21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	250	CWE	O	Y		O	O	薬剤または処置提供者によって生成された、調剤/投薬オーダの供給者への特別指示を含む。 [SS-MIX2] 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 7 処方区分」を参照し、コーディングシステム名は、「MR9P」をセットする。

表 3-57 薬剤／処置 コード化されたオーダ(RXE)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
RXE-22	時間あたりの与薬	20	ST	C			O	O	<p>製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する、時間単位を含む。</p> <p>フォーマット:</p> <p>S<整数> = <整数> 秒</p> <p>M<整数> = <整数> 分</p> <p>H<整数> = <整数> 時間</p> <p>D<整数> = <整数> 日</p> <p>W<整数> = <整数> 週</p> <p>L<整数> = <整数> 月</p> <p>T<整数> = 決められた時間間隔と量での「投薬量」<整数>の総合計。単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。</p> <p>INDEF = 無期限に行うさらにデフォルト</p> <p>例えば、“与薬量／単位”が 300ml、そして与薬あたりの時間単位が H1(1 時間と等価)だった場合、速度は 300ml/時間である。</p> <p>規定された速度で連続的に投与される場合に使用する。</p>
RXE-23	与薬速度	6	ST	O			O	N	薬剤が投与されるべき速度を含んでいる。
RXE-24	与薬速度単位	250	CWE	O			O	N	<p>RXE-23 与薬速度のための単位。</p> <p>与薬速度単位は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を設定する。</p>
RXE-25	与薬力価	20	NM	O			O	O	RXE-2 与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは RXE-26 与薬力価単位と結合して使用される力価の数値部分である。
RXE-26	与薬力価単位	250	CWE	O			O	O	<p>RXE-2 与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは力価の単位で、RXE-25 与薬力価と結合して使用される。</p> <p>単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。</p>
RXE-27	与薬指示	250	CWE	O	Y		O	O	<p>薬/治療が処方の対象となった状態や問題を示す。複数の適応症が関連する場合、繰り返してもよい。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。</p>
RXE-28	調剤パッケージサイズ	20	NM	O			O	O	調剤されるパッケージのサイズを含む。単位は RXE-29-調剤パッケージサイズ単位で送信される。
RXE-29	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	O			O	O	<p>RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位を含む。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。</p>
RXE-30	調剤パッケージ方法	2	ID	O		321	O	O	<p>薬剤／処置を払い出す方法を含む。</p> <p>取りうる値は、HL7 表「0321-調剤方法」を参照。</p>

表 3-57 薬剤／処置 コード化されたオーダ(RXE)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
RXE-31	補足コード	250	CWE	O	Y		O	O	<p>RXE-2 ないし RXC-2 で記述される薬剤について、「ローカルコードと HOT コード以外の標準的代替えコード」との組み合わせを、繰り返しによりいくつでも記述できる。なお、コードに対応する名称は省略可能。個別医薬品コード(通称 YJ コード)のコード体系コードは YJ、薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード)のコード体系コードは MYAK とする。</p> <p>RXE-2 に HOT コードが出力されないメッセージにおいては、その薬剤の YJ コードまたは厚労省コードを RXE-31 に記述することを強く推奨する。その際、どの医薬品の標準的代替えコードを記述しているのかを明示するため、第 1 要素のローカルコードの記述は必須であり、ここで記述されるローカルコードと、RXE-2 ないし RXC-2 に記述したローカルコードとは一致していなければならない。</p> <p>例)ローカルコード^^99znnn^YJ コード^^YJ 例)ローカルコード^^99znnn^厚労省コード^^MYAK</p>
RXE-32	当初のオーダ日/時間	26	TS	O			O	O	補充(refill)認可が要請された時の、オリジナルオーダ(ORC-9)の日時が含まれる。
RXE-33	与薬力価量	5	NM	O			O	O	数量フィールドは量の測定を定義するもので、その中には薬力価濃度が含まれる。
RXE-34	与薬力価量単位	250	CWE	O			O	O	<p>RXE-33 与薬力価量に関連した量単位を提示する。</p> <p>単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。</p>
RXE-35	薬物コントロールスケジュール	60	CWE	O		477	O	O	法律で使用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類を特定する。取りうる値は、使用者定義表「0477-薬物コントロールの日程」を参照。
RXE-36	処方集ステータス	1	ID	O		478	O	O	薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定する。取りうる値は、HL7 表「0478-規定のステータス」を参照。
RXE-37	薬物代替え	60	CWE	O	Y		O	O	<p>処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品。</p> <p>MEDIS-DC の「標準医薬品マスター(HOT コード)」の使用を推奨し、その場合コーディングシステム名には「HOTnn」を格納する。(nn はコード体系を表す。)</p>
RXE-38	最新の与薬の薬剤部	250	CWE	O			O	O	<p>最も新しく薬剤を処方した薬剤部。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。</p>
RXE-39	最初の調剤量	250	NM	O			O	O	最初の処方による調剤の量が補充薬(Refill)に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量。
RXE-40	調剤薬剤部	250	CWE	O			O	O	<p>処方箋を調剤する薬剤部。</p> <p>推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。</p>
RXE-41	調剤薬剤部の住所	250	XAD	O			O	O	調剤薬剤部の住所。

表 3-57 薬剤／処置 コード化されたオーダ(RXE)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXE-42	患者への配達場所	80	PL	O			O	O	<p>薬剤が患者に引き渡される場所。払い出し場所。</p> <p>入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N</p> <p>外来の場合、 <診療科コード>^^^^C</p> <p>と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。</p> <p><診療科コード>には、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。</p> <p><病棟コード>、<病室コード>、<ベッド番号>には各施設で決められたローカルコードを使用する。</p> <p>所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。</p> <p>ex) 010^^^^C</p>
RXE-43	配達先住所	250	XAD	O			O	O	処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所。
RXE-44	薬剤オーダタイプ	1	ID	O		480	O	O	<p>オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリーを定義する。</p> <p>取りうる値は、HL7 表「0480-薬剤オーダタイプ」を参照。</p>

3.9.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-58 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			O	O	最初伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同様。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	O	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	335	O	O	繰返し行う治療のスケジュール。用法を示す。 第1成分の取りうる値は日本医療情報学会が定める「処方オーダーリングシステム用標準用法『服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ』(内服および外用編)」を参照し、コーディングシステム名は「JAMISDP01」を指定する。 隔日投与や曜日指定投与など、このマスタで表現できない用法については、TQ1-3 の繰返しにより HL7 表 0335 を併用する。 ex) 1日2回 朝夕食後(隔日): 1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後 &JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335 注) 第1成分は CWE データ型であり3つの副成分からなる上記の例の場合、区切り文字は&となっていることに注意。 [SS-MIX] ローカルコードによる用法と標準用法コードによる用法を併記できるのは、ローカルコードと標準用法コードが完全に同じ意味を持つ場合のみとし、かつ第1成分(CWE 型)の第1～3副成分と第4～6副成分を使用して、 L0001&1日2回朝夕食後&99Znn&1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01 などとする。 L0001&1日2回朝夕食後&99Znn~1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01 などと TQ1-3 全体の繰返しによる併記は、異なる用法の組み合わせとも解釈できるため行ってはならない。また、 L0002&1日2回朝夕食後(隔日)&99Znnn&1012040400000000&内服・経口・1日2回朝夕食後&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335 などと異なる意味を持つコードの併記も、CWE 型に関する HL7 規約の仕様に反するため行ってはならない。
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	N	繰返しパターン(TQ1-3)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的に示す。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	N	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス時間	20	CQ	O			O	O	サービスを実施する期間を示す。投薬日数。 <日数>^<単位> 単位コードは ISO の使用を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。ISO の場合、コーディングシステム名は省略可能である。 ex) 4^d

表 3-58 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			O	O	サービスが開始される日時。 服用開始日。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	サービスが終了される日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	485	O	N	優先度を記述する。s 秒以内・d 日以内など。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	N	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			O	O	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		427	O	C	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	N	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	O	サービスの発生の総数。

3.9.8. 投薬経路セグメント(RXR)

表 3-59 投薬経路セグメント(RXR)定義

[参照元]JAHIS 処方データ交換規約 Ver.2.0

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXR」を設定する。
RXR-1	経路	250	CWE	R		0162	R	R	投薬の経路を示す。 <投薬の経路>^<名称>^HL70162 取りうる値は、使用者定義表「0162-投薬経路」より「PO(口)」「AP(外用)」「SC(皮下)」などを使用する。 ex) PO^口^HL70162
RXR-2	部位	250	CWE	O		0163	O	O	投薬の部位。 取りうる値は、日本医療情報学会が定める「処方オーダーリングシステム用標準用法『服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ』(内服および外用編)」の表13を参照し、コーディングシステム名は「JAMISDP01」を指定する。HL7 表「0550-身体部位」やその他の適切な外用のコードセットも利用できる。複数部位を指定する場合は、RXR-2 は繰り返しが行えないため、RXR セグメントごと繰り返すこととする。 ex)左眼: 26L^左眼^JAMISDP01
RXR-3	投薬装置	250	CWE	O		0164	O	O	投薬あるいは他の処置を補助するために使用する機械装置。処方メッセージでは、主に自己注射の場合に使用する。 <投薬装置>^<名称>^HL70164 取りうる値は、使用者定義表「0164-投薬装置」より「IVP(点滴ポンプ)」「PCA(PCA ポンプ)」などを使用する。 ex) IVP^点滴ポンプ^HL70164

RXR-4	投薬方法	250	CWE	O		0165	O	O	投薬・処置の患者への適用方法を示す。 取りうる値は、使用者定義表「0165-投薬方法」を参照。
RXR-5	経路指示	250	CWE	O			O	N	複数の投薬経路が可能な場合に、投薬経路についての指示を提供。
RXR-6	投薬現場モディファイア	250	CWE	O		0495	O	N	投薬部位の意味を修正するための修飾子を指定。

3.10. 構造化処方実施情報メッセージ(RAS)の定義

構造化処方実施情報メッセージ(RAS^O17)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「RAS_O17」を使用する。

[参照元]HL7 Ver.2.5

表 3-60 構造化処方実施情報メッセージ(RAS^O17)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	-	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	-	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
]				
{	--- ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	-	4
[{				
TQ1	タイミング／数量		-	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]]				
[--- ORDER_DETAIL begin			
RXO	薬剤／処置オーダー		-	4
[
{ NTE }	注釈・コメント		-	2
{ RXR }	投薬経路		-	4
[{				
RXC	薬剤／処置 投薬		-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
]]				
]				
]	--- ORDER_DETAIL end			
[--- ENCODING begin			
RXE	薬剤／処置 コード化されたオーダー	処方の情報(薬品名・数量など)を提供する。	-	4
{				

表 3-60 構造化処方実施情報メッセージ(RAS^O17)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
TQ1	タイミング／数量	投薬の期間、回数を示す。 日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [SS-MIX2] ORC、RXE に対して常に1件しか使用しない。	-	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}				
{ RXR }	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	-	4
[{ RXC }]	薬剤／処置 成分オーダ		-	4
]	--- ENCODING end			
{	--- ADMINISTRATION begin			
{ RXA }	薬剤／処置 投薬	処方された薬剤の投薬情報を提供する。	-	4
RXR	投薬経路	処方された経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	-	4
[{				
OBX	検査結果	身長・体重・感染症・血型等の患者身体情報を部門システムに伝達する目的で主に使用する。	-	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
}}				
}	--- ADMINISTRATION end			
[{ CTI }]	治験識別		-	7
}	--- ORDER end			

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.10.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.10.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.10.3. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.10.4. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

ただし、本メッセージでは、「PV1-1 セット ID-PV1」、「PV1-6 患者の以前の所在」、「PV1-17 入院時医師」、「PV1-36 退院区分」は使用しない。

3.10.5. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.9.5 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.10.6. 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント(RXE)

「3.9.6 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント(RXE)」の項を参照。

3.10.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.9.7 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.10.8. 投薬経路セグメント(RXR)

「3.9.8 投薬経路セグメント(RXR)」の項を参照。

3.10.9. 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)

表 3-61 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)定義

[参照元]HL7 Ver.2.5

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXA-0	セグメント ID	3	ST	R			-	R	セグメント ID「RXA」を設定する。
RXA -1	与薬サブ ID カウンター	4	NM	R			-	R	その対応する RXG セグメントにこの RXA セグメントを対応づける場合このフィールドを使用する。2 つのアプリケーションが RXG と RXA セグメントを対応づけしていない場合、このフィールドの値はゼロ(0)である。 [SS-MIX2] RXG セグメントに対応づけしないため、「0」を設定する。
RXA -2	投薬サブ ID カウンター	4	NM	R			-	R	その薬物治療／処置がはじめてこのオーダのために実施される時に、このフィールドは 1 で始まる。個々の薬物治療／処置の追加の実施により1ずつ増加する。
RXA -3	投薬開始日時	26	TS	R			-	R	薬剤単位の1回ごとの実施開始日時。
RXA -4	投薬終了日時	26	TS	R			-	R	薬剤単位の1回ごとの実施終了日時。
RXA -5	投薬コード	250	CWE	R		0292	-	R	実施された薬剤／処置の識別子。 標準マスタとしては、MEDIS-DC の「標準医薬品マスタ」を使用することが望ましい。この場合、HOT コードを使用し、コーディングシステム名には「HOTnn」を設定する。 HOT コード以外の標準的代替えコード(例えば、個別医薬品コード(通称YJコード)や薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード))は、RXE-31 に記述できる。
RXA -6	投薬量	20	NM	R			-	R	投薬された量。
RXA -7	投薬単位	250	CWE	C			-	C	投薬された投与量コードが単位を含意しない場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。 [条件] 投与量が単位を含む場合に使用する。
RXA -8	投薬剤形	250	CWE	O			-	O	剤形は、薬物治療／処置が調剤のために集められる形態を示す。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 3 剤形略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXA -9	投薬注記	250	CWE	O	Y		-	O	投薬実施における用法全体に関するコメント。 投薬実施における投与経路コメント、投与部位コメント、手技コメント、ラインコメント、用法コメントをセットする。コーディングシステム名は、それぞれ「99IC2」、「99IC3」、「99IC4」、「99IC5」、「99IC7」をセットする。各コメントの内容は自由に設定が可能であり、本規約では定義しない。
RXA -10	投薬者	250	XCN	O	Y		-	O	処方実施の担当者。 [SS-MIX2] <担当者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
RXA -11	投薬場所	200	LA2	C			-	C	処方実施の場所。 入院の場合、

表 3-61 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)定義

[参照元]HL7 Ver.2.5

									<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(LA2.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(LA2.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
RXA -12	時間あたりの投薬	20	ST	C			-	C	単位あたりの投与量及び実施投与速度に使用する単位。 [条件] 規定された速度で連続的に投与される場合に使用する。
RXA -13	投薬力価	20	NM	O			-	O	RXA-5 投薬されたコードが力価を指定しない場合に使用する。これは RXA-14 投薬力価単位と結合して使用される力価の数値の部分である。
RXA -14	投薬力価単位	250	CWE	O			-	O	RXA-5 投薬コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の RXA-13 投薬力価と結合して使用される単位である。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXA -15	薬剤ロット番号	20	ST	O	Y		-	O	投薬された薬剤のロット番号。
RXA -16	薬剤有効期限	26	TS	O	Y		-	O	投薬された薬剤の有効期限。
RXA -17	薬剤製造者名	250	CWE	O	Y	0227	-	O	投薬された薬剤のメーカー。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXA -18	薬剤/治療拒否理由	250	CWE	O	Y		-	O	患者が投薬/処置を拒絶した理由。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXA -19	指示	250	CWE	O	Y		-	O	薬/処置の処方の対象となった状態または問題の識別子。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合は、ローカルコードを使用する。
RXA -20	完了状態	2	ID	O		0322	-	O	投与の進捗。 取りうる値は、HL7 表「0322-完了状態」を参照。
RXA -21	アクションコード__RXA	2	ID	O		0323	-	O	記録状態。例えば、正しくない患者情報とともに送信された予防接種情報を修正する場合に、ワクチンメッセージ中で本セグメントを使用することができる。 取りうる値は、HL7 表「0323-アクションコード」を参照。
RXA -22	システム入力日時	26	TS	O			-	O	実施情報がシステムに登録された日時。
RXA -23	投薬力価量	5	NM	O			-	O	薬剤力価濃度の容積の測定を定義する。
RXA -24	投薬力価量単位	250	CWE	O			-	O	RXA-23 投薬力価量に関連した分量単位を示す。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXA -25	投薬バーコード識別機能	60	CWE	O			-	O	与薬発生に対して薬剤システムが指定したバーコード番号。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXA -26	薬剤オーダタイプ	1	ID	O		0480	-	O	オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリーを定義する。 取りうる値は、HL7 表「0480-薬剤オーダタイプ」を参照。

3.11. 構造化注射オーダーメッセージ(RDE)の定義

構造化注射オーダーメッセージ(RDE^O11)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「RDE_O11」を使用する。

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

表 3-62 構造化注射オーダーメッセージ(RDE^O11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[[NTE]]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[[NTE]]	注釈・コメント	患者識別情報に対するコメント。	◎	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
[[IN1]	保険	患者の社会保険情報を提供する。	◎	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
]]				
[GT1]	保証人		-	6
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
]				
{	--- ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[[
TQ1	タイミング/数量		-	4
[[TQ2]]	タイミング/数量オーダー順序		-	4
]]				
[--- ORDER_DETAIL begin			
RXO	薬剤/処置 オーダー		-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
{ RXR }	投薬経路		-	4
[[
RXC	薬剤/処置 成分オーダー		-	4
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
]]				

表 3-62 構造化注射オーダーメッセージ(RDE`O11)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
]	--- ORDER_DETAIL end			
RXE	薬剤／処置 コード化されたオーダー	薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダーのコード化について詳述する。	◎	4
[[NTE]]	注釈・コメント	コード化した薬剤／処置オーダーに対するコメント。	◎	2
{				
TQ1	タイミング／数量	投薬の期間、回数を示す。 日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [SS-MIX2] ORC、RXE に対して常に 1 件しか使用しない。	◎	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
}				
{RXR}	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	4
[[RXC]]	薬剤／処置 成分オーダー	処方される薬剤が複合薬剤か点滴溶剤である場合に、その成分(基本薬剤及び全ての添加物)を示すために使用する。	◎	4
[[
OBX	検査結果	身長・体重・感染症・血型等の患者身体情報を部門システムに伝達する目的で使用する。	◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント	検査結果に対するコメント。	◎	2
]]				
[[FT1]]	会計処理		-	6
[BLG]	請求		-	4
[[CTI]]	治験識別	オーダーまたは結果が関係している治験、相および時間ポイントを識別する情報を提供する。	◎	7
}	--- ORDER end			

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.11.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.11.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.11.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。ただし、本メッセージでは、「PV1-1 セット ID-PV1」、「PV1-6 患者の以前の所在」、「PV1-10 診療部門」、「PV1-17 入院時医師」、「PV1-36 退院区分」は使用しない。

3.11.4. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.11.5. 共通オーダセグメント(ORC)

表 3-63 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダ制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダ制御」を参照。 [SS-MIX2] 新規・修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダ番号。 〈オーダ番号〉 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			O	O	注射オーダの実施アプリケーションのオーダ番号。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			R	R	オーダ番号、すべての RP をオーダ内で一意に識別できる番号 (RP 番号)、すべての施用法をオーダ内で一意に識別できる番号 (施用法番号) を、アンダースコアを区切り文字として連結したテキストをセットする。オーダ番号は ORC-2 と同じ値とする。RP 番号は 2 桁、施用法番号は 3 桁とすることを推奨する。 ex) オーダ番号が 123456789012345、RP 番号が 02、施用法番号が 003 の場合 123456789012345_02_003
ORC-5	オーダ状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダの状態を報告。オーダ自体を処理することはできない。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返される情報のレベルを指定。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			N	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	「ORC-1 オーダ制御」で示された現在のオーダが発生した日時。オーダが変更・中止された場合、変更・中止された日時 (変更・中止前のオーダの発生日時ではないことに注意する。) 指示情報では、オーダ更新日時を記述する。実施情報では、実施更新日時を記述する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] 〈入力者の ID〉^〈姓〉^〈名〉^~~~~~^〈名前タイプ〉^~~~~~^〈名前表記コード〉 〈名前タイプ〉は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L (法的な名前)」を使用、〈名前表記コード〉は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~^L^~~~~~^1
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。

表 3-63 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	作成した要求に対して責任のある医師。処方医。 [SS-MIX2] <処方医の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 [SS-MIX2] 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダに関する他の情報を確認するための電話番号。
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダ制御コードで指定したオーダイベントの理由。 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			R	R	入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダ制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダ制御コードで指定したイベントを発動した人。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダ施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名>
ORC-22	オーダ施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダ依頼している病院の住所。 [SS-MIX2] ^^^^<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号

表 3-63 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダー依頼している病院の電話番号。 [SS-MIX2] ~~~~~<電話番号>
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダー発行者住所
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードかフリーテキスト形式で入力。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex)厳重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	R	R	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 <オーダータイプ>^<オーダータイプ名称>^HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex)「I」入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.11.6. 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)

表 3-64 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXE-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXE」を設定する。
RXE-1	数量/タイミング	200	TQ	B			B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
RXE-2	与薬コード	250	CWE	R		292/479	R	R	使用薬剤の種類の区分情報としての注射種別をセットする。 取りうる値は、「JHSI 表 0002-注射種別」を参照し、コーディングシステム名には「99102」を格納する。
RXE-3	与薬量－最小	20	NM	R			R	R	指示された1回に投与される薬剤の水分量(容量)の合計値をセットする。水分量(容量)を管理していない場合は、「”」をセットする。 ex) 120mL の場合: RXE 120 ml^ミリリットル^ISO+ ...]
RXE-4	与薬量－最大	20	NM	O			O	N	可変投与量オーダー時、依頼量の最大を示す。固定投与量では、このフィールドは使用されない。

表 3-64 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXE-5	与薬単位	250	CWE	R			R	R	RXE-3 で指定した水分量(容量)の単位を指定する。取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 4 単位略号」ないし ISO 拡張単位を参照し、コーディングシステム名にはそれぞれ「MR9P」ないし「ISO+」を格納する。使用する単位はミリリットル固定とする。 MERIT-9 の場合は「ML」、ISO 拡張単位の場合は「ML」「ml」「mL」などのコードが使用できる。 ex) ML^ML^MR9P ml^ml^ISO+
RXE-6	与薬剤形	250	CWE	O			O	O	剤形は、投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 3 剤形略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXE-7	依頼者の投薬指示	250	CWE	O	Y		O	O	投与方法などの用法に関する各種コメント情報を本フィールドにセットする。取りうる値は、投与経路コメント、投与部位コメント、手技コメント、ラインコメント、投薬速度コメント、用法コメントを参照し、コーディングシステム名は、それぞれ「99IC2」、「99IC3」、「99IC4」、「99IC5」、「99IC6」、「99IC7」をセットする。 本フィールドには、複数のコメントがセットされることとなるが、コーディングシステム名により識別することを推奨する。各コメントの内容は自由に設定が可能であり、本規約では定義しない。
RXE-8	配布先	200	LA1	B			O	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
RXE-9	代替品状態	1	ID	O		167	O	N	有効な値は HL7 表「0167-代替品状態」を参照。 代替品が作られており、オリジナルの要求与薬コード(RXO-1 要求与薬コード)の記録が必要な場合、オプションの RXO セグメントを RDE メッセージに含むことができる。
RXE-10	調剤量	20	NM	C			O	O	薬剤または処置供給者によってコード化された調剤量。 投薬量の総量を示す。
RXE-11	調剤単位	250	CWE	C			O	O	薬剤または処置供給者によってコード化された、調剤量のための単位。単位が実際の調剤コードに含意されない場合、このフィールドが要求される。 単位が調剤コードに含意されない場合に必須。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXE-12	同一薬発行数	3	NM	O			O	O	オリジナルの同一薬発行回数の合計。外来患者のみ。
RXE-13	オーダー発行者の DEA 番号	250	XCN	C	Y		O	O	麻薬施用者の免許番号。
RXE-14	薬剤師/治療提供者の検証 ID	250	XCN	O	Y		O	O	処方監査を実施した担当者の情報。
RXE-15	処方箋番号	20	ST	C			O	O	処方指示にて発行された処方箋管理番号。 処方/処置メッセージで必須。 [SS-MIX2] 処方/処置メッセージでは必須となる条件のため、本メッセージでは必須。
RXE-16	薬剤残数	20	NM	C			O	O	同一薬発行数の残数。 外来の場合のみ使用する。

表 3-64 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
RXE-17	調剤済薬品数または投与数	20	NM	C			O	O	同一薬発行数の調剤数。 外来の場合のみ使用する。
RXE-18	調剤済薬品数または投与数の最新日時	26	TS	C			O	O	補充または調剤した、最近の日時。 外来の場合のみ使用する。
RXE-19	1日あたりの総投与量	10	CQ	C			O	O	実際の調剤単位で表現されるような、個々の調合薬のための一日当たりの投与量合計。
RXE-20	人によるレビューの必要性	1	ID	O		136	O	O	「Y」(Yes)－警告が存在することを示す。コード化されたオーダを受け取るアプリケーションは、RXE-21-薬剤部門／処置部門による特別な調剤指示のテキストに注意を払うように、投薬または処置をする人に警告する必要がある。 「N」(No)－警告が存在しないことを示す。
RXE-21	薬剤部門／治療部門による特別な調剤指示	250	CWE	O	Y		O	O	処方区分。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 7 処方区分」、「JHSI 表 0001-処方区分」を参照し、コーディングシステム名にはそれぞれ「MR9P」、「99I01」を格納する。
RXE-22	時間あたりの与薬	20	ST	C			O	O	製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する、時間単位。 フォーマット: S<整数>=<整数> 秒 M<整数>=<整数> 分 H<整数>=<整数> 時間 D<整数>=<整数> 日 W<整数>=<整数> 週 L<整数>=<整数> 月 T<整数>= 決められた時間間隔と量での「投薬量」<整数>の総合計。単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。 INDEF = 無期限に行う－さらにデフォルト 例えば、“与薬量／単位”が 300ml、そして与薬あたりの時間単位が H1(1 時間と等価)だった場合、速度は 300ml/時間である。 規定された速度で連続的に投与される場合に使用する。
RXE-23	与薬速度	6	ST	O			O	O	指示投与速度。
RXE-24	与薬速度単位	250	CWE	O			O	O	RXE-23 与薬速度のための単位。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXE-25	与薬力価	20	NM	O			O	O	RXE-2 与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは RXE-26 与薬力価単位と結合して使用される力価の数値部分である。
RXE-26	与薬力価単位	250	CWE	O			O	O	RXE-2 与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは力価の単位で、RXE-25 与薬力価と結合して使用される。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXE-27	与薬指示	250	CWE	O	Y		O	O	薬／治療が処方の対象となった状態や問題を示す。複数の適応症が関連する場合、繰り返してもよい。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。

表 3-64 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
RXE-28	調剤パッケージサイズ	20	NM	O			O	O	調剤されるパッケージのサイズ。
RXE-29	調剤パッケージサイズの単位	250	CWE	O			O	O	RXE-28 調剤パッケージサイズが称される単位。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXE-30	調剤パッケージ方法	2	ID	O		321	O	O	薬剤／処置を払い出す方法を含む。 取りうる値は、HL7 表「0321-調剤方法」を参照。
RXE-31	補足コード	250	CWE	O	Y		O	O	RXC-2 で記述される薬剤について、「ローカルコードと HOT コード以外の標準的代替えコード」との組み合わせを、繰り返しによりいくつでも記述できる。なお、コードに対応する名称は省略可能。個別医薬品コード(通称 YJ コード)のコード体系コードは YJ、薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード)のコード体系コードは MYAK とする。 その際、どの医薬品の標準的代替えコードを記述しているのかを明示するため、第 1 要素のローカルコードの記述は必須であり、ここで記述されるローカルコードと、RXC-2 に記述したローカルコードとは一致していなければならない。 例)ローカルコード^^99znnn^YJ コード^^YJ 例)ローカルコード^^99znnn^厚労省コード^^MYAK
RXE-32	当初のオーダ日/時間	26	TS	O			O	O	補充 (refill) 認可が要請された時の、オリジナルオーダ (ORC-9) の日時。
RXE-33	与薬力価量	5	NM	O			O	O	量の測定を定義するもので、その中には薬力価濃度が含まれている。
RXE-34	与薬力価量単位	250	CWE	O			O	O	RXE-33 与薬力価量に関連した量単位。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXE-35	薬物コントロールスケジュール	60	CWE	O		477	O	O	法律で使用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類。 取りうる値は、使用者定義表「0477-薬物コントロールの日程」を参照。
RXE-36	処方集ステータス	1	ID	O		478	O	O	薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定する。 取りうる値は、HL7 表「0478-規定のステータス」を参照。
RXE-37	薬物代替え	60	CWE	O	Y		O	O	処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品。 MEDIS-DC の「標準医薬品マスター (HOT コード)」の使用を推奨し、その場合コーディングシステム名には「HOTnn」を格納する。 (nn はコード体系を表す。)
RXE-38	最新の与薬の薬剤部	250	CWE	O			O	O	最も新しく薬剤を処方した薬剤部。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXE-39	最初の調剤量	250	NM	O			O	O	最初の処方による調剤の量が補充薬 (Refill) に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量を特定する。
RXE-40	調剤薬剤部	250	CWE	O			O	O	処方箋を調剤する薬剤部。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXE-41	調剤薬剤部の住所	250	XAD	O			O	O	調剤薬剤部の住所。

表 3-64 薬剤／処置 コード化されたオーダーセグメント(RXE)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXE-42	患者への配達場所	80	PL	O			O	O	<p>薬剤が患者に引き渡される場所。払い出し場所。</p> <p>入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N</p> <p>外来の場合、 <診療科コード>^^^^C</p> <p>と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。</p> <p><診療科コード>には、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。</p> <p><病棟コード>、<病室コード>、<ベッド番号>には各施設で決められたローカルコードを使用する。</p> <p>所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C</p>
RXE-43	配達先住所	250	XAD	O			O	O	処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所。
RXE-44	薬剤オーダータイプ	1	ID	O		480	O	O	<p>オーダーが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダーの一般的カテゴリーを定義する。</p> <p>取りうる値は、HL7 表「0480-薬剤オーダータイプ」を参照。</p>

3.11.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-65 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「TQ1」を設定。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			O	O	最初伝送時、シーケンス番号は 1、二回目の伝送時、シーケンス番号は 2、以下同順。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	O	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	335	C	C	<p>繰返し行う治療のスケジュール。用法を示す。</p> <p>頓用指示とあいまい指示で使用し、使用者定義表「0335-繰返しパターン」と「MERIT-9 処方オーダー 表 5 頓用指示」を条件成分に設定する。コーディングシステム名は、それぞれ「HL70335」、「MR9P」をセットする。</p> <p>疼痛時の場合： ex) PRNpain&疼痛時&MR9P</p> <p>朝(あいまい指示)の場合： ex) M&朝&HL70335</p> <p>【条件】 頓用指示とあいまい指示で使用する。</p>
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	N	繰返しパターン(TQ1-3)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的に示す。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	N	スケジュールの間隔を定義するために使用する。

表 3-65 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-6	サービス時間	20	CQ	O			C	N	頓用指示の場合のみ使用し、2 回分などの回数をセットする。 [条件] 頓用指示の場合に使用する。 [SS-MIX2] 注射メッセージでは使用しない。
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			O	O	施用単位の実施予定開始日時。 [SS-MIX2] YYYYMMDD[HH[MM]]形式。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	施用単位の実施予定終了日時。ワンショットのときには、NULL をセットする。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	485	O	N	優先度を記述する。s 秒以内・d 日以内など。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	N	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			C	C	頓用指示の場合のみ使用し、用法に関するコメント(用法コメント)など、Rp ごとのコメントを格納する。 [条件] 頓用指示の場合に使用する。
TQ1-12	連結	10	ID	C		427	O	N	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	N	1回のサービスの時間を示す。連続投与時間。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	O	サービスの発生の総数。頓用指示における頓用適用回数を設定する。

3.11.8. 投薬経路セグメント(RXR)

表 3-66 投薬経路セグメント(RXR)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXR」を設定する。
RXR-1	経路	250	CWE	R		0162	R	R	投薬の経路を示す。 <投薬の経路>^<名称>^HL70162 取りうる値は、使用者定義表「0162-投薬経路」より「SC(皮下)」 「IM(筋肉内)」「IV(静脈内)」などを使用する。 ex) SC^皮下^HL70162
RXR-2	部位	250	CWE	O		0163	O	O	投薬の部位。 取りうる値は、HL7 表「0550-身体部位」を参照。下位互換性については、HL7 表「0163-投薬部位」も利用できる。その他の適切な外用のコードセットも利用できる。 HL7 表「0550-身体部位」を使用する場合、必要に応じて左右など部位を修飾するための識別子を RXR-6 にセットする。コード表は HL7 表「0495-身体部位モディファイア」を使用する。例えば、「右腕」の場合、「腕(ARM)」を RXR-2 に、「右(R)」を RXR-6 にセットする。 また、複数部位を指定する必要がある場合は、RXR-2 では繰り返しが許されていないため、RXR セグメント自体を繰り返すこととす

									る。 ex) 右腕および左腕の場合: RXR ... ARM^腕^HL70550 R^右^HL70495 RXR ... ARM^腕^HL70550 L^左^HL70495
RXR-3	投薬装置	250	CWE	O		0164	O	O	投薬あるいは他の処置を補助するために使用する機械装置。 <投薬装置>^<名称>^HL70164 取りうる値は、使用者定義表「0164-投薬装置」より「IVP(点滴ポンプ)」「PCA(PCA ポンプ)」などを使用する。 ex) IVP^点滴ポンプ^HL70164
RXR-4	投薬方法	250	CWE	O		0165	O	O	指示情報では、指示手技をセットする。実施情報では、実施手技をセットする。有効な値については、使用者定義表「0165-投薬方法」、「JHSI 表 0003-精密持続点滴」を参照する。JHSI 表のコーディングシステム名は、「99I03」を用いる。
RXR-5	経路指示	250	CWE	O			O	N	複数の投薬経路が可能な場合に、投薬経路についての指示を提供。
RXR-6	投薬現場モディファイア	250	CWE	O		0495	O	O	投薬部位の意味を修正するための修飾子を指定。 HL7 表「0495-身体部位モディファイア」を使用し、コーディングシステム名は「HL70495」をセットする。 ex) 左の場合:L^左^HL70495

3.11.9. 薬剤／処置 成分オーダーセグメント(RXC)

表 3-67 薬剤／処置 成分オーダーセグメント(RXC)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
RXC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXC」を設定する。
RXC-1	RX 成分タイプ	1	ID	R		0166	R	R	HL7 表「0166-RX 成分タイプ」より「B(基本薬剤)」、「A(添加物)」を使用する。
RXC-2	成分コード	250	CWE	R			R	R	OBR-4 汎用サービス ID と同等。与薬および調剤コードと同じ方法で基本薬剤または成分を定義する。 MEDIS-DC の「標準医薬品マスター(HOTコード)」の使用を推奨し、その場合コーディングシステム名には「HOTnn」を格納する。 (nn はコード体系を表す。) ex) 641170001^アタラックス-P注射液(25mg/mL)^HOT9 HOTコード以外の標準的代替コード(例えば、個別医薬品コード(通称YJコード)や薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード))は、RXE-31 に記述できる。
RXC-3	成分量	20	NM	R			R	R	該当薬剤の投与予定量。
RXC-4	成分単位	250	CWE	R			R	R	指示薬剤分量で使用する単位。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー表 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXC-5	成分力価	20	NM	O			O	O	RXC-2 成分コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の数値部分であり、RXC-6 成分力価単位と結合して使用される。
RXC-6	成分力価単位	250	CWE	O			O	O	RXC-2-成分コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の単位であり、RXC-5-成分力価と結合して使用される。

表 3-67 薬剤／処置 成分オーダーセグメント(RXC)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

									単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXC -7	補足コード	250	CWE	O	Y		O	O	麻薬薬剤、抗がん剤、血液製剤などの特殊薬剤に関する区分および投与予定の薬剤に関するコメント。 取りうる値は、「JHSI 表 0004-特殊薬剤区分」、「JHSI 表 0005-麻薬区分」、「JHSI 表 0006-冷所・暗所保存」、「JHSI 表 0007-その他」を参照し、コーディングシステム名にはそれぞれ「99I04」、「99I05」、「99I06」、「99I07」を格納する。
RXC -8	成分薬力価量	5	NM	O			O	O	その薬に入っている薬力価を数量で定義する。
RXC -9	成分力価量単位	250	CWE	O			O	O	RXC-8 成分薬力価量に関係する容積単位を示す。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。

3.11.10. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-68 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID - OBX	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	R	R	身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を OBX-5 に記述するために必要な HL7 データ型を設定する。 取りうる値は、HL7 表「0125-値型」を参照。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	[SS-MIX2] 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を記述するための項目を特定するコードを設定する。JLAC10 コード ^{*1} の使用を推奨する。 ex) 9N0010000000000001^身長^JC10 9N0060000000000001^体重^JC10 5H010000009199911^血液型-ABO 式^JC10
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		C	C	[SS-MIX2] NM 型、ST 型、SN 型、CWE 型などを使用し、身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を記述する。
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	[SS-MIX2] NM 型を使用する場合、単位コードを指定する。取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。 ex) 身長:cm^cm^ISO+ 体重:kg^kg^ISO+
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			O	N	検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限

表 3-68 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

									界を表す。
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y	0078	O	N	結果の正常状態を示すテーブルルックアップ。所見(正常、異常)フラグに用いる。
OBX-9	確率	5	NM	O			O	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	O	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 取りうる値は、HL7 表「0085-検査結果状態」を参照。 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、「F」を使用する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			O	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			O	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			O	N	実際に検査された日時を示す。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O	Y		O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		O	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	検査に用いられる装置の識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			O	N	実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。
 なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.11.11. 治験識別セグメント(CTI)

表 3-69 治験識別セグメント(CTI)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SIMIX2	説明
CTI-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「CTI」を設定する。
CTI-1	後援者試験識別子	60	EI	R			R	R	治験を識別する汎用の識別子。
CTI-2	試験相識別子	250	CWE	C			C	C	患者が参加する試験の相を識別する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。 [条件] CTI-3 使用時に必須。
CTI-3	試験予定時間ポイント	250	CWE	O			O	O	治験の相中の時間ポイントを識別する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。

3.12. 構造化注射実施情報メッセージ(RAS)の定義

構造化注射実施情報メッセージ(RAS^O17)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「RAS_O17」を使用する。

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

表 3-70 構造化注射実施情報メッセージ(RAS^O17)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[{ NTE }]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に対するコメント。	◎	2
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
]				
{	--- ORDER begin			
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[{				
TQ1	タイミング／数量		-	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]				
[--- ORDER_DETAIL begin			
RXO	薬剤／処置オーダー		-	4
[
{ NTE }	注釈・コメント		-	2
{ RXR }	投薬経路		-	4
[{				
RXC	薬剤／処置 投薬		-	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
]				
]				
]	--- ORDER_DETAIL end			
[--- ENCODING begin			
RXE	薬剤／処置 コード化されたオーダー	薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダーのコード化について詳述する。	◎	4

表 3-70 構造化注射実施情報メッセージ(RAS^O17)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
{				
TQ1	タイミング／数量	投薬の期間、回数を示す。 日数・開始日・終了日・一日当たりの回数など。 [SS-MIX2] ORC、RXE に対して常に1件しか使用しない。	◎	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}				
{RXR}	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	4
[[RXC]]	薬剤／処置 成分オーダ	処方される薬剤が複合薬剤か点滴溶剤である場合に、その成分(基本薬剤及び全ての添加物)を示すために使用する。	◎	4
]	--- ENCODING end			
{	--- ADMINISTRATION begin			
{RXA}	薬剤／処置 投薬	処方された薬剤の投薬情報を提供する。	◎	4
RXR	投薬経路	処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法を提供する。	◎	4
[[
OBX	検査結果	身長・体重・感染症・血型等の患者身体情報を部門システムに伝達する目的で使用する。	◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント	検査結果に対するコメント。	◎	2
]]				
}	--- ADMINISTRATION end			
[[CTI]]	治験識別	オーダまたは結果が関係している治験、段階および時間ポイントを識別する情報を提供する。	◎	7
}	--- ORDER end			

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.12.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.12.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.12.3. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.12.4. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.12.5. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.11.5 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.12.6. 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント(RXE)

「3.11.6 薬剤／処置 コード化されたオーダセグメント(RXE)」の項を参照。

3.12.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.11.7 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.12.8. 薬剤／処置 成分オーダセグメント(RXC)

「3.11.9 薬剤／処置 成分オーダセグメント(RXC)」の項を参照。

3.12.9. 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)

表 3-71 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
RXA-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「RXA」を設定する。
RXA -1	与薬サブ ID カウンター	4	NM	R			R	R	その対応する RXG セグメントにこの RXA セグメントを対応づける場合このフィールドを使用する。2 つのアプリケーションが RXG と RXA セグメントを対応づけしていない場合、このフィールドの値はゼロ(0)である。 [SS-MIX2] RXG セグメントに対応づけしないため、「0」を設定する。
RXA -2	投薬サブ ID カウンター	4	NM	R			R	R	その薬物治療／処置がはじめてこのオーダのために実施される時に、このフィールドは 1 で始まる。個々の薬物治療／処置の追加の実施により1ずつ増加する。
RXA -3	投薬開始日時	26	TS	R			R	R	薬剤単位の1回ごとの実施開始日時。
RXA -4	投薬終了日時	26	TS	R			R	R	薬剤単位の1回ごとの実施終了日時。
RXA -5	投薬コード	250	CWE	R		0292	R	R	実施された薬剤／処置の識別子。標準マスタとしては、MEDIS-DC の「標準医薬品マスタ」を使用することが望ましい。この場合、HOT コードを使用し、コーディングシステム名には「HOTnn」を設定する。 HOT コード以外の標準的代替えコード(例えば、個別医薬品コード(通称YJコード)や薬価基準収載医薬品コード(通称厚労省コード))は、RXE-31 に記述できる。
RXA -6	投薬量	20	NM	R			R	R	投薬された量。
RXA -7	投薬単位	250	CWE	C			C	C	投薬された投与量コードが単位を含意しない場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。 [条件] 投与量が単位を含む場合に使用する。
RXA -8	投薬剤形	250	CWE	O			O	O	剤形は、薬物治療／処置が調剤のために集められる形態を示す。 取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダ 表 3 剤形略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。
RXA -9	投薬注記	250	CWE	O	Y		O	O	投薬実施における投与経路コメント、投与部位コメント、手技コメント、ラインコメント、用法コメントをセットする。コーディングシステム名は、それぞれ「99IC2」、「99IC3」、「99IC4」、「99IC5」、「99IC7」をセットする。各コメントの内容は自由に設定が可能であり、本規約では定義しない。
RXA -10	投薬者	250	XCN	O	Y		O	O	注射実施の担当者。 [SS-MIX2] <担当者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
RXA -11	投薬場所	200	LA2	C			C	C	注射実施の場所。 入院の場合、

表 3-71 薬剤／処置 投薬セグメント(RXA)定義

[参照元]JAHIS 注射データ交換規約 Ver.2.1C

									<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(LA2.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(LA2.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。
RXA -12	時間あたりの投薬	20	ST	C			C	C	単位あたりの投与量及び実施投与速度に使用する単位。 [条件] 規定された速度で連続的に投与される場合に使用する。
RXA -13	投薬力価	20	NM	O			O	O	RXA-5 投薬されたコードが力価を指定しない場合に使用する。これは RXA-14 投薬力価単位と結合して使用される力価の数値の部分である。
RXA -14	投薬力価単位	250	CWE	O			O	O	RXA-5 投薬コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の RXA-13 投薬力価と結合して使用される単位である。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXA -15	薬剤ロット番号	20	ST	O	Y		O	O	投薬された薬剤のロット番号。
RXA -16	薬剤有効期限	26	TS	O	Y		O	O	投薬された薬剤の有効期限。
RXA -17	薬剤製造者名	250	CWE	O	Y	0227	O	O	投薬された薬剤のメーカー。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXA -18	薬剤/治療拒否理由	250	CWE	O	Y		O	O	進捗に関するコメント。 進捗に関するコメントをセットし、コーディングシステム名は「99IC8」とする。コメントの内容は自由に設定が可能であり、本規約では定義しない。
RXA -19	指示	250	CWE	O	Y		O	O	薬/処置の処方の対象となった状態または問題の識別子。 実施投与速度に関するコメントをセットし、コーディングシステム名は「99IC6」とする。コメントの内容は自由に設定が可能であり、本規約では定義しない。
RXA -20	完了状態	2	ID	O		0322	O	O	投与の進捗。 取りうる値は、HL7 表「0322-完了状態」を参照。
RXA -21	アクションコード__RXA	2	ID	O		0323	O	O	記録状態。例えば、正しくない患者情報とともに送信された予防接種情報を修正する場合に、ワクチンメッセージ中で本セグメントを使用することができる。 取りうる値は、HL7 表「0323-アクションコード」を参照。
RXA -22	システム入力日時	26	TS	O			O	O	実施情報がシステムに登録された日時。
RXA -23	投薬力価量	5	NM	O			O	O	薬剤力価濃度の容積の測定を定義する。
RXA -24	投薬力価量単位	250	CWE	O			O	O	RXA-23 投薬力価量に関連した分量単位を示す。 単位コードは ISO 単位を参照し、コーディングシステム名は、「ISO+」を用いることを推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
RXA -25	投薬バーコード識別機能	60	CWE	O			O	O	与薬発生に対して薬剤システムが指定したバーコード番号。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
RXA -26	薬剤オーダタイプ	1	ID	O		0480	O	O	オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリーを定義する。

3.12.10. 投薬経路オーダセグメント(RXR)

「3.11.8 投薬経路セグメント(RXR)」の項を参照。

3.12.11. 検査結果セグメント(OBX)

「3.11.10 検査結果セグメント(OBX)」の項を参照。

3.12.12. 治験識別セグメント(CTI)

「3.11.11 治験識別セグメント(CTI)」の項を参照。

3.13. 検体検査オーダメッセージ(OML)の定義

検体検査オーダメッセージ(OML^O33)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OML_O33」を使用する。

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

表 3-72 検体検査オーダメッセージ(OML^O33)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
[--- PATIENT begin			
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
[[NK1]]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[[
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
]]				
[GT1]	保証人		-	6
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	◎	3
]	--- PATIENT end			
{	--- SPECIMEN begin			

表 3-72 検体検査オーダーメッセージ(OML^O33)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
SPM	検体	検体情報を提供する。 [SS-MIX2] 当セグメントを用いて、検体タイプ(血液・血漿・尿など) 毎に共通オーダ(ORC)-検査要求(OBR)-検査結果 (OBX)を記述する。	◎	7
[{ OBX }]	検査結果		◎	7
[{ SAC }]	材料と採取容器の詳細		◎	13
{	--- ORDER begin			
ORC	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼 者・依頼日時など。	◎	4
[{				
TQ1	タイミング／数量		◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダ順序		○	4
}]				
[--- OBSERVATION_REQUEST begin			
OBR	検査要求	検査種・検体材料情報を提供する。検査種・検体材料 単位で、検査結果(OBX)を管理するセグメント。	◎	4
[TCD]	検査コード詳細		◎	13
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[{ DG1 }]	診断		-	6
[{				
OBX	検査結果	単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用され る。オーダーメッセージでは、検査依頼項目情報として使 用する。	◎	7
[TCD]	検査コード詳細		◎	13
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
}]				
[{	--- PRIOR_RESULT begin			
[
PID	患者識別		-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
]				
[
PV1	来院情報		◎	3
[PV2]	来院補足情報		○	3
]				
[{ AL1 }]	アレルギー情報		◎	3
{	--- ORDER_PRIOR begin			
[ORC]	共通オーダ		◎	4
OBR	検査要求		◎	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[{				
TQ1	タイミング／数量		-	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}]				
{				

表 3-72 検体検査オーダーメッセージ(OML^O33)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
OBX	検査依頼項目		◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
}				
}	--- ORDER_PRIOR end			
]]	--- PRIOR_RESULT end			
]	--- OBSERVATION_REQUEST end			
[[FT1]]	会計処理		-	6
[[CTI]]	治験識別		-	7
[BLG]	請求		-	4
}	--- ORDER end			
}	--- SPECIMEN end			

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.13.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.13.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.13.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.13.4. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.13.5. 検体セグメント(SPM)

表 3-73 検体セグメント(SPM)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SPMIX2	説明
SPM-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「SPM」を設定する。
SPM-1	セット ID - SPM	4	SI	O			RE	RE	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。
SPM-2	検体 ID	80	EIP	O			RE	RE	依頼者アプリケーション、実施者アプリケーション、またはその両方で検体を識別するためのユニークな ID を示す。
SPM-3	親検体 ID	80	EIP	O	Y		O	N	ある検体を細分化して使用した場合、その元となる検体。
SPM-4	検体タイプ	250	CWE	R		487	R	R	検査の材料の採取された実体の正確な性質について記述する。 「日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード 材料コード表」を使用して表現し、コーディングシステム名には「JC10」 ¹⁾ を格納する。 施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第 4 成分以降を使用可能。 ex) 023^血清^JC10^01^血清^99XYZ
SPM-5	検体タイプ修飾子	250	CWE	O	Y	541	O	N	検体タイプ (SPM-4) の修飾子を示す。検体が「毛状の静脈血」とすると、検体タイプ (SPM-4) に「静脈血」を使用した場合、当項目は「毛細管」となる。
SPM-6	検体添加物	250	CWE	O	Y	371	O	N	検体に使用された添加物を示す。

表 3-73 検体セグメント(SPM)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
SPM-7	検体採取法	250	CWE	O		488	O	N	検体の採取過程、方法について示す。
SPM-8	検査材料・検査部位	250	CWE	O			RE	RE	検体が得られた出所を指定する。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的な針によって得られる時に、出所は肝臓となる。 「日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード 材料コード表」を使用して表現し、コーディングシステム名には「JC10」を格納する。施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第4成分以降を使用可能。
SPM-9	検査材料修飾子	250	CWE	O	Y	542	O	N	検体部位を修飾するために修飾子を指定する。検体タイプ修飾子(SPM-5)と同様。
SPM-10	検体採取部位	250	CWE	O		543	O	N	検体を採取した人体のエントリポイント。例えば、肝臓バイオプシーが経皮的な針によって得られる時に、収集サイトは針のエントリーのポイントになる。左のとう骨静脈から集められた静脈血については、収集サイトが「前腕前側の窩」となる。
SPM-11	検体役割	250	CWE	O	Y	369	O	N	検体の役割を示す。この項目は一般的ではない。記述された検体に対して検査のために特別な視点でみる役割である。
SPM-12	検体採取量	20	CQ	O			O	N	採取された検体の総量を示す。
SPM-13	検体総数	6	NM	C			C	N	検体によって表わされる特別のタイプの個々の検体の数。検体に関連する属性がすべて同一の検体に制限される。 [条件] SPM-10 検体役割 が「G」である場合にのみ使用する。 SS-MIX2 では SPM-10 を使用しないため「N」とする。
SPM-14	検体記述	250	ST	O	Y		O	N	特別に検体情報を追加したい場合メッセージとして送信される。
SPM-15	検体取り扱いコード	250	CWE	O	Y	376	O	N	検体の取扱い方法を示す。温度・湿度・薬品など。
SPM-16	検体リスクコード	250	CWE	O	Y	489	O	N	検体の知りえたリスクや予見されるリスクなどを示す。主に感染リスクの高いものの情報。
SPM-17	検体採取日時	26	DR	O			RE	RE	検体を採取部位から採取した日時を記載する。
SPM-18	検体受領日時	26	TS	O			O	N	検体を検査部門が受取った日時を示す。
SPM-19	検体有効日時	26	TS	O			O	N	検体が目的の検査を行えなくなる日時を示す。
SPM-20	検体有効性	1	ID	O		136	O	N	検体が検査に利用できるかどうかを記載する。
SPM-21	検体拒否理由	250	CWE	O	Y	490	C	N	検査を行えない理由を示す。量不足・期限切れ・患者名漏れなど。
SPM-22	検体品質	250	CWE	O		491	O	N	受領検体の状態の程度を示す。優秀・良好・適正・不適など。
SPM-23	検体適合性	250	CWE	O		492	O	N	混合物によって決定されるような特別の計画された検体(精度管理検体)の適応性。良好・適正・不適・期限切れなど。
SPM-24	検体条件	250	CWE	O	Y	493	O	N	検体のモードもしくは条件を記述する。自己解凍・凝固・混濁など。
SPM-25	検体量	20	CQ	O			O	N	現在の量を示す。たとえば分注された場合は子検体の現在の量を示す。
SPM-26	検体容器数	4	NM	O			O	N	与えられた採取管の数を示す。検体受付時の確認のために用いる。オーダに伴う検体の総数とは異なってもよい。
SPM-27	容器タイプ	250	CWE	O			O	N	採取管のために用いる採取管のタイプである。
SPM-28	容器状態	250	CWE	O		544	O	N	検体が検査室から検査室に移される場合、検体が送られる採取管の状態が各受けで記録されることを想定して、採取管が任意の

表 3-73 検体セグメント(SPM)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									方法(封印漏れ、採取管破損、検体漏れなど)でそのとき危険にさらされる場合、これを法的な理由のために記録するために利用する。
SPM-29	子検体役割	250	CWE	O		494	O	N	子検体と親検体の関係を示す。分注・成分・加工(希釈)など。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.13.6. 共通オーダーセグメント(ORC)

表 3-74 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダー制御」を参照。 [SS-MIX2] オーダーの新規・修正は「NW」、オーダー取消は「CA」。結果メッセージは「SC」。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			C	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 <オーダー番号> [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			C	O	検査オーダーの実施アプリケーションのオーダー番号。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	O	依頼者アプリケーションが、複数のオーダーをグループ化し後でそれらを識別できるようにするための識別番号。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	RE	RE	オーダーの状態を報告。オーダー自体を処理することはできない。 実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。 取りうる値は、HL7 表「0038-オーダー状態」を参照。 例:「A」(部分的完了)、「CM」(オーダーが完了した)など。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返される情報のレベルを指定。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			O	N	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			O	O	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	作成した要求に対して責任のある医師。 [SS-MIX2] <医師の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I

表 3-74 共通オーダセグメント(ORC)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダに関する他の情報を確認するための電話番号
ORC-15	オーダ有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
ORC-16	オーダ制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダ制御コードで指定したオーダイベントの理由 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			O	O	入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダ制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダ制御コードで指定したイベントを発動した人。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダ施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名>
ORC-22	オーダ施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダを発行した病院の住所。 [SS-MIX2] ^^^^<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ^^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町9番6号
ORC-23	オーダ施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダを発行した病院の電話番号。 [SS-MIX2] ^^^^^^^^^^^<電話番号>
ORC-24	オーダ依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダ発行者住所。
ORC-25	オーダ状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	O	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードがフリーテキスト形式で入力。

表 3-74 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex) 嚴重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	RE	RE	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 <オーダータイプ>^<オーダータイプ名称>^HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.13.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-75 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			O	R	最初伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同様。 検体検査メッセージでは、「1」を指定する。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	N	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	0335	O	N	サービスが実施される頻度を定義する。 ex) BID&&HL70335
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	N	繰返しパターン(TQ1-3)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的に示す。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	N	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス期間	20	CQ	O			O	N	サービスが要求される期間を示す。 <日数>^<単位> ex) 4^d
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			RE	RE	サービスが開始される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	サービスが終了される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	0485	RE	RE	優先度を記述する。 取りうる値は、使用者定義表「0485-拡張優先度コード」を参照。 優先度を指定しない場合でも、デフォルトの「R」を指定する必要があり、省略はしない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	N	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			O	O	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	O	C	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。 取りうる値は、HL7 表「0472-TQ 連結 ID」を参照。 [条件] 1つのメッセージ内で TQ1 セグメントを繰り返す場合に使用しなければならない。

表 3-75 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	N	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	N	サービスの発生の総数。

3.13.8. 検査要求セグメント(OBR)

表 3-76 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	セット ID- OBR	4	SI	O			C	C	複数検体時の上位(同一)ORC に対する通番。初期値1、増分1。 [条件] 検体検査オーダーメッセージの場合に SPM 以下で 1 から始まる通番となり、必須。
OBR-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			C	R	ORC-2 依頼者オーダー番号に同じ。依頼側検体番号など。 <依頼オーダー番号> [SS-MIX2] 15桁、前ゼロ形式。
OBR-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	ORC-3 実施者オーダー番号に同じ。ラボ側検体番号など。 <実施オーダー番号> [SS-MIX2] 15桁、前ゼロ形式。
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	要求された検査/試験/セットの識別子コード。 個々の検査項目を本フィールドで指示する場合は、「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード(JLAC10)」 ¹⁾ を使用し、コーディングシステム名には「JC10」 ¹⁾ を使用する。 個々の検査項目を OBX セグメントで指定する場合は、本フィールドには検査分野、検査セットや検査項目見出しをセットすることができる。そのコードや名称が施設固有である場合はコード体系 99zzz で明示する。JAHIS 基本データセット適用ガイドライン V2.1 10B 定義表 003- 検査項目群を使用してもよい。その場合、コーディングシステムには「99003」を指定する。 <検査種>^<検査種名称>^99zzz ex)1^生化学^99XYZ
OBR-5	優先度	2	ID	X			B	N	依頼が緊急か否かをセットする。 緊急時に「S(緊急)」、以外は未設定。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			B	N	検査を依頼した日時。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			C	C	検体を採取した日時。結果送信時に使用する。 [条件] 結果メッセージにおいて使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	O			O	O	検体の採取が終了した日時。結果送信時に使用する。 瞬時に終わる場合は、「検査/採取日時(OBX-7)」と同じ。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。

表 3-76 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-9	採取量	20	CQ	O			O	N	検体の量。デフォルト値の単位は ML。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	O	Y		O	N	検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	O		0065	O	N	検体採取の状態/方法等を示す。 HL7 表「0065-検体処置コード」を参照。
OBR-12	危険(検体)コード	250	CWE	O			O	O	危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。 <危険情報コード(ST)>^<危険情報テキスト(TX)>^<コーディングシステム名(IS)>
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	N	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 ただし、OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を示すことができる。身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B		0070	B	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。 依頼者 (ORC-12)に同じ。検査依頼医師。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~^L^~~~~~I
OBR-17	オーダーコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	検査状況あるいは結果を報告するさいの電話番号。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			O	N	依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。検査に対する詳細な指示。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			O	N	依頼者項目 1 と同じ。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			O	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。検査状況や結果を報告。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			O	N	実施者項目 1 と同じ。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			O	O	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
OBR-23	課金	40	MOC	O			O	N	検査項目より発生する課金情報を示す。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	O		0074	O	N	診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	C	N	このオーダーの結果状態。オーダーに関連する結果すべてに適用される。

表 3-76 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
OBR-26	親結果	400	PRL	O			O	O	先んじて行われた検査の結果。親番号(OBR-26)と組み合わせて使用。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	検体の採取量・検査の継続期間・間隔を示す。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	O	Y		O	N	検査報告書を受け取る人や部門を示す。
OBR-29	親番号	200	EIP	O			O	N	ORC-8:親と同一。親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。 子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	O		0124	O	N	患者が検査を受ける時の移動モード。検査装置を患者のもとへ移動・カートまたは担架・歩行など。
OBR-31	検査理由	250	CWE	O	Y		O	N	適切な検査所見を得る為に使用しなければならない検査がある。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	O			O	N	検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	O	Y		O	N	この検査の診断に立ち会った臨床医。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	O	Y		O	N	実施担当臨床技師。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	O	Y		N	N	報告書の口述筆記を担当する人、通常は本フィールドは使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	O			O	N	実施者がスケジュールした検査日時。
OBR-37	検体容器数	4	NM	O			O	N	受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用。同一検体・同一採取管での採取量オーバーフロー時の採取管本数を記述する。 記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	O	Y		O	N	診断サービス実施者への採取検体の配送方法を示す。 ex)トラック便、郵便など
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	O	Y		O	N	検体に関する付加的コメント、検体採取時のコメントを記述する。 ex)「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	O			O	N	予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。 ex) 依頼者、実施者、患者
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	O		0224	O	N	検体搬送手配の状態。手配済み・未手配・不明など。
OBR-42	随行者要否	1	ID	O		0225	O	N	患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。計画患者搬送コメント(OBR-43)の併用が一般的。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	O	Y		O	N	患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。
OBR-44	処置コード	250	CWE	O		0088	O	N	課金と関連付けられた処置がもしあれば、処置に割り当てられた識別子を指定する。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	O	Y	0340	O	N	処置コード(OBR-44)で報告された処置コードの修飾子を示す。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

表 3-76 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C		0476	C	N	同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金された処置と重複した処置が、医学的に必要と判断され実施された場合に、その理由を文書化する目的で使用される。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	O		0507	O	N	結果のハンドリングに関する情報伝達。あるオーダでは、結果(例えば X 線フィルム)は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.13.9. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-77 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	O			C	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。上位(同一)OBR に対する通番。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	C	C	検査値(OBX-5)のデータタイプ。 【条件】検査結果状態(OBX-11)が「X(この検査では、結果は得られない)」および「O(検査依頼項目の詳細を示す)」のいずれでもない場合に必須。 【SS-MIX2】 HL7 表「0125-値型」より「ST(文字列)」「NM(数値)」「CWE(例外を含むコード化値)」を使用する。 結果が値型なら「NM」、文字列なら「ST」、コード化値なら「CWE」をそれぞれ使用する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 【SS-MIX2】 「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC10)」*1に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。検査結果コメントをセットする場合、検査項目 ID を接尾辞で修飾したコードを用いる。 検査項目接尾辞の使用方法は、JAHIS 臨床データ交換規約「5.7 検査結果コメントの扱い」を参照すること。 施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第 4 成分以降を使用可能。 ex) 3A0100000023271^総蛋白^JC10^10222^TP^99LAB
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		C	C	検査結果を示す。データタイプ(DT)については、値型(OBX-2)で示されたタイプを使用する。
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	単位のデータ型は CWE データ型である。国内の臨床検査においては、現在普遍的な単位コード体系が定められていないので、検査結果に単位が付属する場合、必須フィールドとし、次のような成分で記載するものとする。

表 3-77 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元] JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SO-MIX2	説明
									<p><単位のコード>^<コードテキスト>^99zzz</p> <p>ex) g/dl^g/dl^99XYZ</p> <p><単位のコード>(第1成分)または<コードテキスト>(第2成分)のいずれかは省略可能とする。</p> <p>ただし、HL7 では、単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムとして「ISO+」を使用しており、必要に応じてそれらの標準的なコードを使用することも可能である。その場合、取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。</p>
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			O	O	<p>検査結果に対する基準値の範囲。検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。検査で薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生し得ることを表す。</p> <p>ex) 6.5-8.2、>10、<15</p> <p>※基準値の範囲は“-”(半角ハイフン)を用いること</p>
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y/5	0078	O	O	<p>結果の正常・異常を示す。適用できる場合は、使用者定義表「0078-異常フラグ」を使用する。</p>
OBX-9	確率	5	NM	O			O	N	<p>定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0と1を含む)の ASCII 文字列で表した 10 進数である。</p>
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	O	N	<p>判定の元になった集団の性質を表す。</p>
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	<p>1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。</p> <p>HL7 表「0085-検査結果状態」より「O(検査の詳細)」「P(事前情報)」「F(検査結果)」などを使用する。</p> <p>ex) 依頼時:「O」(依頼詳細記述)、結果時:「F」(最終結果)</p>
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			O	N	<p>測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。</p>
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			O	N	<p>受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。</p>
OBX-14	検査日時	26	TS	O			O	O	<p>実際に検査された日時を示す。</p> <p>検体に対して行われる検査の場合、検体採取日時であり、患者に対して行われる測定の場合には、測定が行われた日時を設定する。</p>
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	<p>検査実施責任者の一意な識別子。</p>
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O	Y		O	N	<p>検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。</p>
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		O	N	<p>検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。</p>
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	<p>臨床検査に用いられる分析機の装置識別 ID である。</p>
OBX-19	分析日時	26	TS	O			O	N	<p>実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。</p>

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.14. 検体検査結果通知メッセージ(OUL)の定義

検体検査結果通知メッセージ(OUL^R22)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OUL_R22」を使用する。

[参照元]JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.4.0C

表 3-78 検体検査結果通知メッセージ(OUL^R22)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[NTE]	注釈・コメント		◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		○	3
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
]				
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	◎	3
]				
{	--- SPECIMEN begin			
SPM	検体	検体情報を提供する。	◎	7
[[OBX]]	(検体用)検査結果		◎	7
[[
SAC	材料と採取容器の詳細		◎	13
[INV]	在庫詳細		◎	13
]]				
{	--- ORDER begin			
OBR	検査要求	検査種・検体材料情報を提供する。検査種・検体材料単位で、検査結果(OBX)を管理するセグメント。	◎	7
[ORC]	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
[[
TQ1	タイミング/数量		◎	4
[[TQ2]]	タイミング/数量オーダ順序		○	4
]]				
[[--- RESULT begin			
OBX	検査結果	単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。	◎	7
[TCD]	検査コード詳細		◎	13
[[SID]]	試薬等識別		◎	13

表 3-78 検体検査結果通知メッセージ(OUL^R22)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{NTE}]	注釈・コメント		◎	2
}]	--- RESULT end			
[{CTI}]	治験識別		-	7
}	--- ORDER end			
}	--- SPECIMEN end			
[DSC]	継続ポインタ		-	2

[]は省略可能、{}は繰り返し可能を示す。

3.14.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.14.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.14.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.14.4. 検体セグメント(SPM)

「3.13.5 検体セグメント(SPM)」の項を参照。

3.14.5. 検査要求セグメント(OBR)

「3.13.8 検査要求セグメント(OBR)」の項を参照。

3.14.6. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.13.6 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.14.7. 検査結果セグメント(OBX)

「3.13.9 検査結果セグメント(OBX)」の項を参照。

3.15. 放射線検査オーダーメッセージ(OMG)の定義

放射線検査オーダーメッセージ(OMG^O19)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMG_O19」を使用する。

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

表 3-79 放射線検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア		-	2
[{ NTE }]	注釈・コメント	ヘッダ情報に関するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に関するコメント。	◎	2
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[{				
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
}}				
[GT1]	保証人		-	6
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。 オーダー制御を示す ORC セグメント(ORC-1:NW/CA)と、撮影全体に関する親レコードを示す ORC セグメント(ORC-1:PA)と、検査部位や検査詳細(方向)を示す ORC セグメント(ORC-1:CH)を親子レコードとして記述する。	◎	4
{				
TQ1	タイミング/数量	優先順位情報を提供する。	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダー順序		-	4
}				
OBR	検査要求	検査種別や撮影部位、方向等を指定するために使用する。	◎	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2

表 3-79 放射線検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
[CTD]	連絡データ		-	11
[[DG1]]	診断		-	6
[[
OBX	検査結果	放射線検査のアレルギーマ情報や禁忌情報等、患者のプロファイル情報を提供する。 患者プロファイルは撮影全体に関わる情報のため、オーダー制御(ORC-1)が「PA」である親レコードの下位に位置する OBX セグメントに記載する。	◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
]]				
[[
SPM	検体		-	7
[[OBX]]	検査結果		-	7
[[
SAC	材料と採取容器の詳細		-	13
[[OBX]]	検査結果		-	7
]]				
]]				
[[--- PRIOR_RESULT begin			
[--- PATIENT_PRIOR begin			
PID	患者識別		-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
]	--- PATIENT_PRIOR end			
[
PV1	来院情報		-	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[[AL1]]	アレルギーマ情報		-	3
{	--- ORDER_PRIOR begin			
[ORC]			-	4
OBR	検査要求		-	4
[[
TQ1	タイミング／数量		-	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]]				
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[CTD]	連絡データ		-	10
{				
OBX	検査結果		-	7
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
}				
}	--- ORDER_PRIOR end			
]]	--- PRIOR_RESULT begin			
[[FT1]]	会計処理		-	6
[[CTI]]	治験識別		-	7
[BLG]	請求		-	4
}				

表 3-79 放射線検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
-------	--------	----	-------	--------------

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.15.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.15.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.15.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.15.4. 共通オーダーセグメント(ORC)

表 3-80 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	<p>該当メッセージの振舞いを示す。</p> <p>放射線メッセージでは、HL7 表「0119-オーダー制御」よりオーダー制御を示す ORC セグメント(ORC-1:NW/CA)と、撮影全体に関する親レコードを示す ORC セグメント(ORC-1:PA)と、検査部位や検査詳細(方向)を示す ORC セグメント(ORC-1:CH)を親子レコードとして記述する。</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>オーダー制御レコード:新規・修正「NW」、取消「CA」</p> <p>親レコード:「PA」(取消時には PA 以下は送信しない)</p> <p>子レコード:「CH」</p> <p>例:</p> <p>ORC(NW) 新規オーダー</p> <p>OBR オーダー制御情報(検査種別)</p> <p>ORC(PA) 親オーダー</p> <p>OBR 親オーダーの記述(検査種別)</p> <p>ORC(CH) 1 番目の子オーダー</p> <p>OBR 1 番目の子オーダーの記述(撮影部位、方向等)</p> <p>ORC(CH) 2 番目の子オーダー</p> <p>OBR 2 番目の子オーダーの記述(撮影部位、方向等)</p>
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	<p>依頼者アプリケーションのオーダー番号。</p> <p><オーダー番号></p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>15 桁・前ゼロ形式。</p>
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	実施者アプリケーションのオーダー番号。実施結果通知メッセージで使用することができる。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	N	依頼者アプリケーションが、複数のオーダーをグループ化し後でそれらを識別できるようにするための識別番号。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	O	O	<p>オーダーの状態を報告。オーダー自体を処理することはできない。</p> <p>実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。</p>
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	<p>実施者から返される情報のレベルを指定。</p> <p>(内容が適切でなかったため SS-MIX2 の説明を削除)</p>

表 3-80 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		X	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			C	C	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。 [条件] ORC-1 が「CH」(子オーダー)の場合、関連する親オーダーの依頼者オーダー番号(ORC-2)を指定する。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			R	R	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~I
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		R	R	作成した要求に対して責任のある医師。オーダー依頼医。 [SS-MIX2] <オーダー依頼医の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>^~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L^~~~~I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^~~~N 外来の場合、 <診療科コード>^~~~~C と設定することにし、所在場所型(PL.6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL.6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^~~~~C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダーに関する他の情報を確認するための電話番号。
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時。
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダー制御コードで指定したオーダーイベントの理由。 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。

表 3-80 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			O	O	入力者がオーダーを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^99zzz
ORC-19	(オーダー制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダー制御コードで指定したイベントを発動した人。
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名>
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の住所。 [SS-MIX2] ~~~~<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の電話番号。 [SS-MIX2] ~~~~~<電話番号>
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダー発行者住所。
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードがフリーテキスト形式で入力。
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex)嚴重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	O	O	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 <オーダータイプ>^<オーダータイプ名称>^HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダー^HL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.15.5. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-81 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			R	R	最初伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同様。 放射線メッセージでは、「1」を指定する。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	N	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	0335	O	N	サービスが実施される頻度を定義する。 ex) BID&&HL70335
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	N	繰返しパターン(TQ1-3)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的に示す。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	N	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス期間	20	CQ	O			O	N	サービスが要求される期間を示す。 <日数>^<単位> ex) 4^d
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			O	O	サービスが開始される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	サービスが終了される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	0485	R	R	優先度を記述する。 取りうる値は、使用者定義表「0485-拡張優先度コード」を参照。 優先度を指定しない場合でも、デフォルトの「R」を指定する必要があり、省略はしない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	N	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			O	O	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	C	C	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。 取りうる値は、HL7 表「0472-TQ 連結 ID」を参照。 [条件] 1つのメッセージ内で TQ1 セグメントを繰り返す場合に使用しなければならない。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	N	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	N	サービスの発生の総数。

3.15.6. 検査要求セグメント(OBR)

表 3-82 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	セット ID- OBR	4	SI	O			O	O	複数検体時の上位(同一)ORC に対する通番。初期値1、増分1。
OBR-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	依頼者オーダ番号を示す。 <依頼者オーダ番号> [SS-MIX2]

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

Copyright©2015-2024 JAMI

表 3-82 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	N	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 ただし、OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を示すことができる。身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	検体を必要とする検査の場合、診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B		0070	N	N	検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。依頼者(ORC-12)に同じ。検査依頼医師。 [SS-MIX2] <依頼者の ID>^<姓>^<名>^~~~~~<名前タイプ>~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^~~~~~L~~~~~I
OBR-17	オーダコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	検査状況あるいは結果を報告する際の電話番号。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			O	N	依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。検査に対する詳細な指示。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			O	N	依頼者項目 1 と同じ。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			O	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。検査状況や結果を報告。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			O	N	実施者項目 1 と同じ。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			O	O	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。 OBR-25 に値が設定された場合に使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
OBR-23	課金	40	MOC	O			O	N	検査項目より発生する課金情報を示す。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	O		0074	O	N	診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	O	O	オーダの状況を示す。 取りうる値は、HL7 表「0123-結果状態」を参照。 ex) I(到着確認(受付))、R(未承認結果報告)、F(最終結果報告)
OBR-26	親結果	400	PRL	O			O	N	先んじて行われた検査の結果。親番号(OBR-29)と組み合わせて使用。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	検体の採取量・検査の継続期間・間隔を示す。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	O	Y		O	N	検査報告書を受け取る人や部門を示す。
OBR-29	親番号	200	EIP	O			C	C	親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。 子オーダ制御(CH)のとき、親オーダ制御(PA)の依頼者オーダ番号

表 3-82 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
									号 (ORC-2)を設定する。 [条件] オーダ制御(ORC-1)が「CH」の場合に必須。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	O		0124	O	N	患者が検査を受ける時の移動モード。検査装置を患者のもとへ移動・カートまたは担架・歩行など。
OBR-31	検査理由	250	CWE	O	Y		O	N	適切な検査所見を得る為に使用しなければならない検査がある。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	O			O	N	検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	O	Y		O	N	この検査の診断に立ち会った臨床医。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	O	Y		O	N	実施担当臨床技師。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	O	Y		O	N	報告書の口述筆記を担当する人、通常は、本フィールドは使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	O			O	O	実施者がスケジュールした撮影予定日。依頼メッセージでは使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	O			N	N	受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用。同一検体・同一採取管での採取量オーバーフロー時の採取管本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	O	Y		N	N	診断サービス実施者への採取検体の配送方法を示す。 ex)トラック便、郵便など
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	O	Y		N	N	検体に関する付加的コメント、検体採取時のコメントを記述する。 ex)「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	O			O	N	予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。 ex) 依頼者、実施者、患者
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	O		0224	O	N	検体搬送手配の状態。手配済み・未手配・不明など。
OBR-42	随行者要否	1	ID	O		0225	O	N	患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。計画患者搬送コメント (OBR-43) の併用が一般的。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	O	Y		O	N	患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。
OBR-44	処置コード	250	CWE	O		0088	O	N	課金と関連付けられた処置がもしあれば、処置に割り当てられた識別子を指定する。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	O	Y	0340	O	N	処置コード (OBR-44) で報告された処置コードの修飾子を示す。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダーマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダーマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りが無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダーマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダーマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りが無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C		0476	C	N	同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金された処置と重複した処置が、医学的に必要と判断され実施された場合に、その理由を文書化する目的で使用される。

表 3-82 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	O		0507	O	N	結果のハンドリングに関する情報伝達。あるオーダでは、結果(例えば X 線フィルム)は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。

3.15.7. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-83 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。上位(同一) OBR に対する通番。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	R	R	検査値(OBX-5)のデータタイプ。 検査項目(OBX-3)が身長、または体重の場合は NM 型を使用し、それ以外は CWE 型を使用する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	患者プロフィールコードとして「JSHR001-検査付帯項目」を使用し、コーディングシステム名には「JSHR001」を格納する。
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		R	R	検査項目(OBX-3)が身長、体重の場合、NM 型で記述する。 身長、体重以外の場合、患者プロフィール値として「JSHR002-検査値」を使用し、コーディングシステム名には「JSHR002」を格納し、CWE データ型で記述する。
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	[SS-MIX2] 検査項目(OBX-3)が身長、体重の場合、それぞれ下記の通り設定する。取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。 身長:cm^cm^ISO+ 体重:kg^kg^ISO+
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			N	N	検査結果に対する基準値の範囲。
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y/5	0078	O	N	結果の正常・異常を示す。適用できる場合は、使用者定義表「0078-異常フラグ」を使用する。
OBX-9	確率	5	NM	O			N	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0 と 1 を含む)の ASCII 文字列で表した 10 進数である。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	N	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。 取りうる値は、HL7 表「0085-検査結果状態」を参照。 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、「F」を使用する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			N	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表

表 3-83 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			N	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			O	N	[SS-MIX2] 患者プロフィール情報として使用するの、本フィールドは使用しない。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O			O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		N	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	臨床検査に用いられる分析機の装置識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			N	N	実装置 ID で指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

3.16. 放射線検査実施通知メッセージ(OMI)の定義

放射線検査実施通知メッセージ(OMI^Z23)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMI_Z23」を使用する。

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

表 3-84 放射線検査実施通知メッセージ(OMI^Z23)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[{ NTE }]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に関するコメント。	◎	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
[{				
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
}}				
[GT1]	保証人		-	6
[{ AL1 }]	アレルギー情報		-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。 オーダー制御を示す ORC セグメント(ORC-1:NW/CA)と、撮影全体に関する親レコードを示す ORC セグメント(ORC-1:PA)と、検査部位や検査詳細(方向)を示す ORC セグメント(ORC-1:CA)を親子レコードとして記述する。	◎	4
{				
TQ1	タイミング／数量	優先順位情報を提供する。	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
}				
OBR	検査要求	検査種別や撮影部位、方向等を指定するために使用する。	◎	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2

表 3-84 放射線検査実施通知メッセージ(OMI^Z23)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[CTD]	連絡データ		-	11
[[DG1]]	診断		-	6
[[
OBX	検査結果	放射線検査のアレルギーマ情報等、患者のプロファイル情報を提供する。	◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
]]				
[[
ZE1	実施情報	放射線検査の実施情報で、「手技情報」「医療従事者情報」「使用物品情報」等を提供する。	◎	-
[[OBX]]	検査結果		-	
[[ZE2]]	曝射情報	実施情報の中で曝射情報に係わるもの。	◎	-
]]				
{IPC}	画像手続き制御	画像サービス要求を実行するのに必要なタスクに関する情報を提供する。	◎	4
}				

3.16.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.16.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.16.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.16.4. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.15.4 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.16.5. 検査要求セグメント(OBR)

「3.15.6 検査要求セグメント(OBR)」の項を参照。

3.16.6. 検査結果セグメント(OBX)

「3.15.7 検査結果セグメント(OBX)」の項を参照。

3.16.7. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.15.5 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.16.8. 画像手続き制御セグメント(IPC)

表 3-85 画像手続き制御セグメント(IPC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
IPC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「IPC」を設定する。
IPC-1	受付番号	80	EI	R			R	R	RIS によって生成された画像サービス(要求)に対する実施オーダを識別する識別子。 DICOM 属性(0008, 0050)に対応。 DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。

表 3-85 画像手続き制御セグメント(IPC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
IPC-2	要求手続き ID	22	EI	R			O	O	画像サービスのオーダの一部として実行する RIS によって選択された要求手続きの識別子。 DICOM 属性(0040, 0001)に対応。 第一成分は要求手続きを特定するための文字列であり、DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 第二成分から第四成分には、HDデータ型で構成されたワークフロー管理用 RIS の ID を含む。第二成分は、オーダ実施者を識別するユーザ定義のコード値で文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。
IPC-3	検査インスタンス UID	70	EI	R			R	R	要求手続きによって収集すべきである画像や他の DICOM オブジェクトに対して、RIS によって割り当てられた画像検査のグローバルな識別子。 DICOM 属性(0020, 000D)に対応。 第一成分は検査を特定する文字列であり、DICOM との互換性を保つために文字数は 64 桁に制限する必要がある。 第二成分から第四成分には、HD 型で構成される RIS の ID を含む。第二成分は、オーダ実施者を識別するユーザ定義のコード値で文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。
IPC-4	予約済手続きステップ ID	22	EI	R			O	O	要求手続きの特定の手続きステップ(副手続き)の識別子。 DICOM 属性(0040, 0009)に対応。 第一成分は、手続きステップを識別する文字列であり、DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 第二成分から第四成分には、HD 型で構成される RIS の ID を含む。第二成分は、オーダ実施者を識別するユーザ定義のコード値で文字数は 5 桁であることが推奨されているが必須ではない。
IPC-5	モダリティ	16	CWE	O			R	R	手続きステップの実行によりデータ収集を要求された設備のタイプ。DICOM 属性(0008, 0060)に対応。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 DICOM C.7.3.1.1.1 Modalityを参照し、コーディングシステム名には「DCM」を指定する。
IPC-6	プロトコルコード	250	CWE	O	Y		O	O	予約済手続きステップの実行するプロトコルを識別するための登録されたコード。 DICOM 属性(0040, 0008)に対応。 DICOM との互換性を保つために第一成分の文字数は 16 桁に、第二成分の文字数は 64 桁に制限する必要がある。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
IPC-7	予約済ステーション名	22	EI	O			O	O	特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースのインスタンスを特定する。 DICOM 属性(0040, 0010)に対応。 第一成分は、特定の機器を識別する文字列であり、DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 第二成分から第四成分は HD データ型により組織を識別する。
IPC-8	予約済手続きステップ場所	250	CWE	O	Y		O	O	特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースに関するローカルに定義された物理的な位置を指定する。 DICOM 属性(0040, 0011)に対応。

表 3-85 画像手続き制御セグメント(IPC)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
IPC-9	予約済 AE タイトル	16	ST	O			O	O	特定の予約済手続きステップを実行するために要求されたモダリティリソースの AE タイトルを含む。AE タイトルは、通信用アドレス特定を目的とした DICOM 互換のインスタンスを識別する ID である。DICOM との互換性を保つために文字数は 16 桁に制限する必要がある。 DICOM 属性(0040, 0001)に対応。

3.16.9. 実施情報セグメント(ZE1)

表 3-86 実施情報セグメント(ZE1)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ZE1-0	セグメント ID	3	ST	-			R	R	セグメント ID「ZE1」を設定する。
ZE1-1	セット IDーZE1	4	SI	-			O	O	同一の ZE1 セグメントに対し1から付番される通し番号を指定する。
ZE1-2	制御コード 予定／実施	20	IS	-			R	R	「JSHR003-制御コード」により、予定の情報か、実績の情報かの区分を指定する。
ZE1-3	手技	483	CWE	-			R	R	手技を指定する。例えば、撮影部位や撮影種別、撮影方向などを指定する。 ローカルコードまたは汎用コードのいずれか、もしくはその両方を設定できる。汎用コードによる識別子を使用することが望ましく、推奨コードは JJ1017 Ver3.1 であり、その場合、コーディングシステム名は「JJ1017」を格納する。 JJ1017 Ver3.1 を使用する場合は規約を「付録-2 JJ1017 Ver3.1 の使用規約」に示す。
ZE1-4	手技回数	16	NW	-			O	O	手技の回数を指定する。
ZE1-5	医事加算	483	CWE	-			O	O	医事加算を指定する。例えば、透視撮影におけるスポット加算などを指定する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ZE1-6	医療従事者種別	292	JCC	-			C	C	医療従事者の職種と雇用形態を指定する。 職種コードは「JSHR004-医療従事者の職種コード」を使用する。 雇用形態は「JSHR005-医療従事者の雇用形態」を使用する。 注: JAHIS 放射線データ交換規約における「C」の条件が不明確。
ZE1-7	医療従事者	3002	XCN	-	Y		O	O	医療従事者の ID や氏名を指定する。 [SS-MIX2] <医療従事者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」

表 3-86 実施情報セグメント(ZE1)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
									に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
ZE1-8	使用物品種別	20	IS	-			C	C	「JSHR006-使用物品種別」により、撮影に使用した物品の種別を指定する。 [条件] 検査でフィルム等の物品を使用した場合に指定する。
ZE1-9	使用物品	250	ZRD	-	Y		O	O	撮影に使用した物品を指定する。例えば、半切フィルムや造影剤などを指定する。 半切フィルムを指定する場合は、「JSHR007-フィルムサイズ」から、撮影に使用した半切フィルムのサイズを指定し、コーディングシステム名には「JSHR007」を格納する。 造影剤等の薬剤を指定する場合は、MEDIS-DC の「標準医薬品マスター(HOT コード)」の使用を推奨し、その場合コーディングシステム名には「HOTnn」を格納する。(nn はコード体系を表す。) 第 5 成分の<単位>の取りうる値は、「MERIT-9 処方オーダー 表 4 単位略号」を参照し、コーディングシステム名には「MR9P」を格納する。 <識別子(ST)>^<テキスト(ST)>^<コーディング方式名(IS)>^<数量(NM)>^<単位(CWE)>^<フィルム分割数(NW)> ex)造影剤「イオパロミン300 61. 24%100mL」(HOT コード: 111836001)を使用。111836001^イオパロミン300 61. 24%100mL^HOT9^1^HON&本&MR9P ex) 単純 X 線検査でフィルム(半切)を 2 分割で 1 枚使用。 14x17^14x17inch フィルム(半切)^JSHR007^1^SHT&枚&MR9P^2
ZE1-10	連絡先	850	XTN	-			O	O	患者の連絡先の電話番号などを指定する。
ZE1-11	実施フィールド	199	ST	-			O	O	実施に関するコメントなどを記載する。
ZE1-12	会計フィールド	199	ST	-			O	O	会計に関するコメントなどを記載する。

3.16.10. 曝射情報セグメント(ZE2)

表 3-87 曝射情報セグメント(ZE2)定義

[参照元]JAHIS 放射線データ交換規約 Ver.2.3

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
ZE2-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ZE2」を設定する。
ZE2-1	セット ID－ZE2	4	SI	－			O	O	同一の ZE2 セグメントに対し 1 から付番される通し番号を指定する。
ZE2-2	管電圧	500	CQ	－			O	O	撮影を実施した管電圧を設定する。
ZE2-3	管電流	500	CQ	－			O	O	撮影を実施した管電流を設定する。
ZE2-4	距離	500	CQ	－			O	O	放射線を照射した距離を設定する。
ZE2-5	時間	500	CQ	－			O	O	放射線を照射した時間を設定する。
ZE2-6	回数	16	NM	－			O	O	放射線を照射した回数を設定する。
ZE2-7	撮影フィールド	199	ST	－			O	O	曝射情報に関するコメント等を設定する。

3.17. 内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG)の定義

内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG^O19)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMG_O19」を使用する。

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

表 3-88 内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア		-	2
[[NTE]]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。 HL7 では省略可能であるが、内視鏡メッセージでは必須とする。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[[NTE]]	注釈・コメント	患者識別情報に関するコメント。	◎	2
[[NK1]]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 HL7 では省略可能であるが、内視鏡メッセージでは必須とする。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[[
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
]]				
[GT1]	保証人		-	6
[[AL1]]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。 オーダー制御を示す ORC セグメント(ORC-1:NW/CA)と、撮影全体に関する親レコードを示す ORC セグメント(ORC-1:PA)と、撮影部や使用材料を示す ORC セグメント(ORC-1:CH)を親子レコードとして記述する。	◎	4
{				
TQ1	タイミング／数量	優先順位情報を提供する。	◎	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
}				

表 3-88 内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
OBR	検査要求	撮影に関する情報として、撮影部位や使用材料を指定するために使用する。	◎	4
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
[CTD]	連絡データ		-	11
[[DG1]]	診断		-	6
[[
OBX	検査結果	内視鏡検査のアレルギーマ情報や禁忌情報等、患者のプロファイル情報、所見情報を提供する。 撮影全体に関わる情報のため、オーダー制御(ORC-1)が「PA」である親レコードの下位に位置する OBX セグメントに記載する。	◎	7
[[NTE]]	注釈・コメント		◎	2
]]				
[[
SPM	検体		-	7
[[OBX]]	検査結果		-	7
[[
SAC	材料と採取容器の詳細		-	13
[[OBX]]	検査結果		-	7
]]				
]]				
[[
[
PID	患者識別		-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
]				
[
PV1	来院情報		-	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[[AL1]]	アレルギーマ情報		-	3
{	ORDER_PRIOR begin			
[ORC]	共通オーダー		-	4
OBR	検査要求		-	4
[[
TQ1	タイミング／数量		-	4
[[TQ2]]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
]]				
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
[CTD]	連絡データ		-	10
{				
OBX	検査結果		-	7
[[NTE]]	注釈・コメント		-	2
}				
}	ORDER_PRIOR end			
]]				
[[FT1]]	会計処理		-	6

表 3-88 内視鏡検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{ CTI }]	治験識別		-	7
[BLG]	請求		-	4
}				

[]は省略可能、{}は繰返し可能を示す。

3.17.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.17.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.17.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.17.4. 共通オーダーセグメント(ORC)

「3.15.4 共通オーダーセグメント(ORC)」の項を参照。ただし、内視鏡検査オーダーメッセージの ORC-1 は下表の通りとする。

表 3-89 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	<p>該当メッセージの振舞いを示す。</p> <p>内視鏡メッセージでは、HL7 表「0119-オーダー制御」よりオーダー制御を示す ORC セグメント(ORC-1:NW/CA)と、撮影全体に関する親レコードを示す ORC セグメント(ORC-1:PA)と、検査部位や使用材料を示す ORC セグメント(ORC-1:CH)を親子レコードとして記述する。</p> <p>[SS-MIX2]</p> <p>オーダー制御レコード:新規・修正「NW」、取消「CA」</p> <p>親レコード:「PA」(取消時には PA 以下は送信しない)</p> <p>子レコード:「CH」</p> <p>例:</p> <p>ORC(NW) 新規オーダー</p> <p>OBR オーダー制御情報(オーダー全体に関連する情報)</p> <p>ORC(PA) 親オーダー</p> <p>OBR 親オーダーの記述(オーダー全体に関連する情報)</p> <p>ORC(CH) 1 番目の子オーダー</p> <p>OBR 1 番目の子オーダーの記述(撮影部位、使用材料等)</p> <p>ORC(CH) 2 番目の子オーダー</p> <p>OBR 2 番目の子オーダーの記述(撮影部位、使用材料等)</p>

3.17.5. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.15.5 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.17.6. 検査要求セグメント(OBR)

表 3-90 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	セット ID- OBR	4	SI	O			O	O	複数検体時の上位(同一)ORC に対する通番。初期値1、増分1。
OBR-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			R	R	依頼者オーダ番号を示す。 <依頼者オーダ番号> [SS-MIX2] 15 桁、前ゼロ形式。
OBR-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			O	O	ORC-3:実施者オーダ番号に同じ。 <実施者オーダ番号> [SS-MIX2] 15 桁、前ゼロ形式。
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	要求された検査セットの識別子コード。ローカルコードまたは汎用コードのいずれか、もしくはその両方を設定できる。汎用コードによる識別子を使用することが望ましいが、わが国において標準的に使用できるコードはまだ存在しない。 参考にできるコードとして、JAHIS 内視鏡データ交換規約の「付録-2 消化器内視鏡オーダ用サンプルマスタ Ver1.0」があるが、この使用を強制するものではない。 親オーダの場合は目的と種別を指定するコードを設定する。例えば、目的であれば治療を指定するコード、種別であれば上部、下部などを指定するコードである。子オーダの場合は検査の詳細指示を指定するコードを設定する。例えば、食道、胃などの臓器を指定するコードや下部通常内視鏡などのモダリティを指定するコード、ポリペクミーなどの手技を指定するコードである。
OBR-5	優先度	2	ID	X			B	N	下位互換性のために残されている。優先度は TQ1-9 で指示する。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			O	N	要求された検査日時。 下位互換性のために残されている。TQ1-7 で指示する。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			O	O	結果メッセージの場合、検査開始日時。 結果メッセージの場合に使用する。(依頼者が検体を採取する場合にも使用するが内視鏡検査ではそのようなケースは発生しない。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	O			O	O	結果メッセージの場合、撮影が終了した日付。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。
OBR-9	採取量	20	CQ	O			N	N	検体の量。デフォルト値の単位は ML。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	O	Y		N	N	検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	O		0065	N	N	検体採取の状態/方法等を示す。HL7 表「0065-検体処置コード」を参照。
OBR-12	危険(検体)コード	250	CWE	O			O	O	危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、

表 3-90 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									指定する場合はローカルコードを使用する。 <危険情報コード(ST)>^<危険情報テキスト(TX)>^<コーディングシステム名(IS)>
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	N	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 ただし、OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を示すことができる。身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	検体を必要とする検査の場合、診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B		0070	N	N	検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。依頼者(ORC-12)に同じ。検査依頼医師。 [SS-MIX2] <依頼者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I
OBR-17	オーダーコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	検査状況あるいは結果を報告する際の電話番号。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			O	N	依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。検査に対する詳細な指示。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			O	N	依頼者項目 1 と同じ。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			O	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。検査状況や結果を報告。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			O	N	実施者項目 1 と同じ。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			O	O	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。 OBR-25 に値が設定された場合に使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
OBR-23	課金	40	MOC	O			O	N	検査項目より発生する課金情報を示す。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	O		0074	O	N	診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	O	O	オーダーの状況を示す。 取りうる値は、HL7 表「0123-結果状態」を参照。 ex) I(到着確認(受付))、R(未承認結果報告)、F(最終結果報告)
OBR-26	親結果	400	PRL	O			O	N	先んじて行われた検査の結果。親番号(OBR-29)と組み合わせて使用。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	検体の採取量・検査の継続期間・間隔を示す。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	O	Y		O	N	検査報告書を受け取る人や部門を示す。

表 3-90 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSMIX2	説明
OBR-29	親番号	200	EIP	O			C	C	親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。 子オーダ制御(CH)のとき、親オーダ制御(PA)の依頼者オーダ番号(ORC-2)を設定する。 [条件] オーダ制御(ORC-1)が「CH」の場合に必須。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	O		0124	O	N	患者が検査を受ける時の移動モード。検査装置を患者のもとへ移動・カートまたは担架・歩行など。
OBR-31	検査理由	250	CWE	O	Y		O	N	適切な検査所見を得る為に使用しなければならない検査がある。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	O			O	N	検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医のID。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	O	Y		O	N	この検査の診断に立ち会った臨床医。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	O	Y		O	N	実施担当臨床技師。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	O	Y		O	N	報告書の口述筆記を担当する人、通常は、本フィールドは使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	O			O	O	実施者がスケジュールした撮影予定日。依頼メッセージでは使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	O			N	N	受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用。同一検体・同一採取管での採取量オーバーフロー時の採取管本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	O	Y		N	N	診断サービス実施者への採取検体の配送方法を示す。 ex)トラック便、郵便など
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	O	Y		N	N	検体に関する付加的コメント、検体採取時のコメントを記述する。 ex)「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	O			O	N	予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。 ex) 依頼者、実施者、患者
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	O		0224	O	N	検体搬送手配の状態。手配済み・未手配・不明など。
OBR-42	随行者要否	1	ID	O		0225	O	N	患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。計画患者搬送コメント(OBR-43)の併用が一般的。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	O	Y		O	N	患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。
OBR-44	処置コード	250	CWE	O		0088	O	N	課金と関連付けられた処置がもしあれば、処置に割り当てられた識別子を指定する。
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	O	Y	0340	O	N	処置コード(OBR-44)で報告された処置コードの修飾子を示す。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りが無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたかオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りが無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

表 3-90 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C		0476	C	N	同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金された処置と重複した処置が、医学的に必要と判断され実施された場合に、その理由を文書化する目的で使用される。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	O		0507	O	N	結果のハンドリングに関する情報伝達。あるオーダでは、結果(例えば X 線フィルム)は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。

3.17.7. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-91 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SSIMIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。上位(同一) OBR に対する通番。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	R	R	検査値(OBX-5)のデータタイプ。 患者プロフィールコードとして検査項目(OBX-3)に「JSHR001-検査付帯項目」を使用する場合、HL7 表「0125-値型」より身長、体重、クレアチニン値、BUN 値の場合は「NM」を使用し、それ以外は「CWE」を使用する。 実施情報として ZE1 セグメントに続く OBX セグメントとして使用される場合、OBX-3 には様々な実施情報が格納されるため、その記述に適したデータ型を使用する。実施医師や技師の職種や雇用形態に関する情報であれば XCN 型、コメントや器材に関する情報であれば CWE 型、薬剤であれば ZRD 型、タイムスタンプに関する情報であれば TS 型をそれぞれ使用する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	患者プロフィールコードとして「JSHR001-検査付帯項目」を使用し、コーディングシステム名には「JSHR」を格納する。 実施情報として ZE1 セグメントに続く OBX セグメントとして使用される場合、JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver2.0 の JSHR コード表を使用し、コーディングシステム名には「JSHR」を格納する。 JSHR 表 医療従事者の職種コード。 JSHR 表 医療従事者の雇用形態。 JSHR 表 使用物品種別。 JSHR 表 タイムスタンプ種別。 JSHR 表 コメント種別コード。
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	結果値	65536	*	C	Y		R	R	検査項目(OBX-3)が身長、体重の場合、NM 型で記述する。 身長、体重以外の場合、患者プロフィール値として「JSHR 表 002-検査値」を使用し、コーディングシステム名には「JSHR」を格納し、CWE データ型で記述する。 実施情報として ZE1 セグメントに続く OBX セグメントとして使用され

表 3-91 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
									る場合、OBX-3 で指定された項目に応じたデータ型に必要なデータを記述する。実施医師や技師の職種や雇用形態に関する情報であれば XCN 型、コメントや器材に関する情報であれば CWE 型、薬剤であれば ZRD 型、タイムスタンプに関する情報であれば TS 型をそれぞれ使用する。
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	[SS-MIX2] 検査項目 (OBX-3) が身長、体重の場合、それぞれ下記の通り設定する。取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。 身長: cm^cm^ISO+ 体重: kg^kg^ISO+
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			N	N	検査結果に対する基準値の範囲。
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y/5	0078	O	N	結果の正常・異常を示す。適用できる場合は、使用者定義表「0078-異常フラグ」を使用する。
OBX-9	確率	5	NM	O			N	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0 と 1 を含む)の ASCII 文字列で表した 10 進数である。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	N	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。取りうる値は、HL7 表「0085-検査結果状態」を参照。 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、「F」を使用する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			N	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			N	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			O	O	撮影検査が行われた日時。依頼メッセージにおいて患者プロフィール情報として使用する場合は、本フィールドは使用しない。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O			O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		N	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	臨床検査に用いられる分析機の装置識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			N	N	実装置 ID で指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

3.18. 内視鏡検査実施通知メッセージ(OMI)の定義

内視鏡検査実施通知メッセージ(OMI^Z23)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMI_Z23」を使用する。

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

表 3-92 内視鏡検査実施通知メッセージ(OMI^Z23)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
[{ NTE }]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に関するコメント。	◎	2
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
[{				
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
}}				
[GT1]	保証人		-	6
[{ AL1 }]	アレルギー情報		-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
{				
TQ1	タイミング／数量	優先順位情報を提供する	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
}				
OBR	検査要求	検査種・検体材料情報を提供する。検査種・検体材料単位で、検査結果(OBX)を管理するセグメント。	◎	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[CTD]	連絡データ		-	11
[{ DG1 }]	診断		-	6
[{				
OBX	検査結果	内視鏡検査のアレルギー情報等、患者のプロファイル情報を提供する。	◎	7

表 3-92 内視鏡検査実施通知メッセージ(OMF^Z23)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
[{NTE}]	注釈・コメント		◎	2
}}				
[{				
ZE1	実施情報	内視鏡検査の実施情報で、「手技情報」「医療従事者情報」「使用物品情報」等を提供する。	◎	-
[{OBX}]	検査結果	薬品や器材等の、実施情報に付随する情報を提供する。	◎	7
[{ZE2}]	曝射情報		-	-
}}				
{IPC}	画像手続き制御	画像サービス要求を実行するのに必要なタスクに関する情報を提供する。	◎	4
}				

3.18.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.18.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.18.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.18.4. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.17.4 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.18.5. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.15.5 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.18.6. 検査要求セグメント(OBR)

「3.17.6 検査要求セグメント(OBR)」の項を参照。

3.18.7. 検査結果セグメント(OBX)

「3.17.7 検査結果セグメント(OBX)」の項を参照。

3.18.8. 画像手続き制御セグメント(IPC)

「3.16.8 画像手続き制御セグメント(IPC)」の項を参照。

3.18.9. 実施情報セグメント(ZE1)

表 3-93 実施情報セグメント(ZE1)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
ZE1-0	セグメント ID	3	ST	-			R	R	セグメント ID「ZE1」を設定する。
ZE1-1	セット ID-ZE1	4	SI	-			R	R	同一グループの ZE1 セグメントに対し 1 から付番される通し番号を指定する。
ZE1-2	制御コード 予定／実施	20	IS	-			R	R	使用者定義表「JSHR003-制御コード」により、伝達する実施情報に対し、予定か実績かを表す区分を指定する。内視鏡では主として「RS」(実績)のみを使用する。

表 3-93 実施情報セグメント(ZE1)定義

[参照元]JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver.2.1

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
ZE1-3	手技	483	CWE	-			R	R	内視鏡検査の実施に関わる手技を指定する。 ローカルコードまたは汎用コードのいずれか、もしくはその両方を設定できる。汎用コードによる識別子を使用することが望ましく、推奨コードは JJ1017 Ver3.1 であり、その場合、コーディングシステム名は「JJ1017」を格納する。 JJ1017 Ver3.1 を使用する場合の規約を「付録-2 JJ1017 Ver3.1 の使用規約」に示す。
ZE1-4	手技回数	16	NW	-			O	O	ZE1-3 で指定した手技の回数を指定する。
ZE1-5	医事加算	483	CWE	-			O	N	医事加算を指定する。
ZE1-6	医療従事者種別	292	JCC	-			O	N	関わった医療従事者の職種と雇用形態を指定する。
ZE1-7	医療従事者	3002	XCN	-	Y		O	N	関わった医療従事者の氏名を指定する。
ZE1-8	使用物品種別	20	IS	-			O	N	検査で使用した物品の種別を指定する。
ZE1-9	使用物品	250	ZRD	-	Y		O	N	検査で使用した物品を指定する。
ZE1-10	連絡先	850	XTN	-			O	O	患者の連絡先の電話番号などを指定する。
ZE1-11	実施フィールド	199	ST	-			O	O	実施に関するコメントなどを設定する。
ZE1-12	会計フィールド	199	ST	-			O	O	会計に関するコメントなどを設定する。

3.19. 生理検査オーダーメッセージ(OMG)の定義

生理検査オーダーメッセージ(OMG^O19)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「OMG_O19」を使用する。

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

表 3-94 生理検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[{ SFT }]	ソフトウェア		-	2
[{ NTE }]	注釈・コメント	ヘッダ情報に対するコメント。	◎	2
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に対するコメント。	◎	2
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[{				
IN1	保険		-	6
[IN2]	保険追加情報		-	6
[IN3]	保険追加情報証明書		-	6
}}				
[GT1]	保証人		-	6
[{ AL1 }]	アレルギー情報	患者の禁忌(アレルギー)情報を提供する。	-	3
]				
{				
ORC	共通オーダー	オーダーに共通なデータを提供する。オーダー番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
[{				
TQ1	タイミング／数量	要求のタイミングと頻度を表現する。	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダー順序		-	4
}}				
OBR	検査要求	検査要求として検査種別を記述する。	◎	4
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[CTD]	連絡データ		-	11
[{ DG1 }]	診断		-	6
[{				
OBX	検査結果	患者プロフィール情報や診察所見等を記述する。	◎	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
}}				

表 3-94 生理検査オーダーメッセージ(OMG^O19)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
[{				
SPM	検体		-	7
[{ OBX }]	検査結果		-	7
[{				
SAC	材料と採取容器の詳細		-	13
[{ OBX }]	検査結果		-	7
}]				
}]				
[{				
[
PID	患者識別		-	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
]				
[
PV1	来院情報		-	3
[PV2]	来院補足情報		-	3
]				
[{ AL1 }]	アレルギー情報		-	3
{	ORDER_PRIOR begin			
[ORC]	共通オーダ		-	4
OBR	検査要求		-	4
[{				
TQ1	タイミング／数量		-	4
[{ TQ2 }]	タイミング／数量オーダ順序		-	4
}]				
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
[CTD]	連絡データ		-	10
{				
OBX	検査結果		-	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		-	2
}				
}	ORDER_PRIOR end			
}]				
[{ FT1 }]	会計処理		-	6
[{ CTI }]	治験識別		-	7
[BLG]	請求		-	4
}				

[]は省略可能、{ }は繰返し可能を示す。

3.19.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.19.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.19.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.19.4. アレルギー情報セグメント(AL1)

「3.5.9 アレルギー情報セグメント(AL1)」の項を参照。

3.19.5. 共通オーダーセグメント(ORC)

表 3-95 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「ORC」を設定する。
ORC-1	オーダー制御	2	ID	R		0119	R	R	該当メッセージの振舞いを示す。取りうる値は、HL7 表「0119-オーダー制御」を参照。 [SS-MIX2] 新規・修正は「NW」、取消「CA」。
ORC-2	依頼者オーダー番号	22	EI	C			R	R	依頼者アプリケーションのオーダー番号。 [SS-MIX2] 15 桁・前ゼロ形式。 <オーダー番号>
ORC-3	実施者オーダー番号	22	EI	C			O	O	実施者アプリケーションのオーダー番号。
ORC-4	依頼者グループ番号	22	EI	O			O	O	依頼者アプリケーションが、複数のオーダーをグループ化し後でそれらを識別できるようにするための識別番号。
ORC-5	オーダー状態	2	ID	O		0038	O	O	オーダーの状態を報告。オーダー自体を処理することはできない。 実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。 取りうる値は、HL7 表「0038-オーダー状態」を参照。
ORC-6	応答フラグ	1	ID	O		0121	O	N	実施者から返される情報のレベルを指定。
ORC-7	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		X	N	旧バージョンと互換をとるためのフィールド。TQ1、TQ2 セグメントを推奨。
ORC-8	親	200	EIP	O			C	C	親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関連付ける。 [条件] オーダー制御(ORC-1)が「CH」(子オーダー)の場合に使用する。
ORC-9	トランザクション日時	26	TS	O			R	R	「ORC-1 オーダー制御」で示された現在のオーダーが発生した日時。 オーダーが変更・中止された場合、変更・中止された日時(変更・中止前のオーダーの発生日時ではないことに注意する。) [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。
ORC-10	入力者	250	XCN	O	Y		O	O	アプリケーションに実際に入力した人の所属氏名。 [SS-MIX2] <入力者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I: 漢字表記」「P: カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^^L^^^^^I
ORC-11	検証者	250	XCN	O	Y		O	N	入力された要求の精度を検証した人の所属氏名等の情報。

表 3-95 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-12	依頼者	250	XCN	O	Y		R	R	[SS-MIX2] <依頼者の ID>^<姓>^<名>^^^^^^<名前タイプ>^^^^<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎^^^^^^L^^^^I
ORC-13	入力場所	80	PL	O			O	O	入力をした物理的な場所・端末の設置場所(部門や階)を示す。 入院の場合、 <病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N 外来の場合、 <診療科コード>^^^^C と設定することにし、所在場所型(PL6)は必須とする。 診療科コードには、使用者定義表「0302-ケアの場所」を使用し、取りうる値は、「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」を参照とする。 所在場所型(PL6)には、使用者定義表「0305-所在場所型」より、「C(診療科)」、「D(部門)」、「N(病棟)」を設定する。 ex) 010^^^^C
ORC-14	コールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	要求事項やオーダーに関する他の情報を確認するための電話番号
ORC-15	オーダー有効日時	26	TS	O			O	O	変更要求が有効になった、あるいは有効になる予定の日時
ORC-16	オーダー制御コードの理由	250	CWE	O			O	O	オーダー制御コードで指定したオーダーイベントの理由 キャンセル理由をセットする為に使用する。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。
ORC-17	入力組織	250	CWE	O			R	R	入力者がオーダーを入力/修正した時に属していた組織を示す。 [SS-MIX2] <入力者の所属科コード>^<名称>^HL70069 <入力者の所属科ローカルコード>^<名称>^99zzz 取りうる値として、使用者定義表「0069-診療部門」を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。
ORC-18	入力装置	250	CWE	O			O	O	オーダーを入力するために使用した端末の識別子を示す。 [SS-MIX2] <端末識別子>^^99zzz
ORC-19	(オーダー制御)実施者	250	XCN	O	Y		O	N	オーダー制御コードで指定したイベントを発動した人
ORC-20	受益者事前通知コード	250	CWE	O		0339	O	N	保険契約にないサービスに対する支払い責任の(患者または代理人の)承諾状態を示す。
ORC-21	オーダー施設名	250	XON	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院名を示す。 [SS-MIX2] <病院名>
ORC-22	オーダー施設住所	250	XAD	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の住所。 [SS-MIX2] ^^^^<郵便番号>^<国>^^<病院の住所> ex) ^^^^420-8601^JPN^^静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号

表 3-95 共通オーダーセグメント(ORC)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
ORC-23	オーダー施設電話番号	250	XTN	O	Y		O	O	オーダーを発行した病院の電話番号。 [SS-MIX2] ~~~~~<電話番号>
ORC-24	オーダー依頼者住所	250	XAD	O	Y		O	N	オーダー発行者住所
ORC-25	オーダー状態修飾子	250	CWE	O			O	N	ラベルが印刷されているかどうか、処方箋が記入されたかどうか、処方箋が出されたかどうか、などを示す。
ORC-26	受益者事前通知無効理由	60	CWE	C		0552	C	N	患者が事前保険金受給通知にサインしない理由。コードかフリーテキスト形式で入力
ORC-27	実施者可能日時	26	TS	O			O	N	実施者がサービス可能な日時を指定。
ORC-28	守秘コード	250	CWE	O		0177	O	N	オーダーを取り巻くセキュリティレベル・注意度に関する情報。Ex) 厳重注意、注意不要、注意など
ORC-29	オーダータイプ	250	CWE	O		0482	O	O	オーダーが入院患者オーダーか外来患者オーダーかを示す。 <オーダータイプ>^<オーダータイプ名称>HL70482 取りうる値は、HL7 表「0482-オーダータイプ」より「I(入院患者オーダー)」「O(外来患者オーダー)」を使用する。 ex) I^入院患者オーダーHL70482
ORC-30	入力者承認モード	250	CNE	O		0483	O	N	オーダーを作成・変更する責任者からの承認の形態を示す。

3.19.6. タイミング／数量セグメント(TQ1)

表 3-96 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「TQ1」を設定する。
TQ1-1	セット ID - TQ1	4	SI	O			O	R	最初伝送時、シーケンス番号は1、二回目の伝送時、シーケンス番号は2、以下同様。
TQ1-2	数量	20	CQ	O			O	O	サービス内で提供されるべき量を数量的に指定する。
TQ1-3	繰返しパターン	540	RPT	O	Y	0335	O	O	サービスが実施される頻度を定義するため、繰返しパターンコードをセットする。 第1成分の取りうる値は使用者定義表「0335-繰返しパターン」を参照する。 ex) BID&&HL70335
TQ1-4	明示的な時間	20	TM	O	Y		O	O	繰返しパターン(TQ1)によって指定されたスケジュールの実際の時間を明示的にリストする。
TQ1-5	相対時間/単位	20	CQ	O	Y		O	O	スケジュールの間隔を定義するために使用する。
TQ1-6	サービス期間	20	CQ	O			O	O	サービスを実施する期間を示す。 <日数>^<単位>単位コードは ISO の使用を推奨するが、ローカルコードを使用することも可能である。ISO の場合、コーディングシステム名は省略可能である。 ex) 4^d
TQ1-7	開始日時	26	TS	O			O	O	サービスが開始される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。

表 3-96 タイミング／数量セグメント(TQ1)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
TQ1-8	終了日時	26	TS	O			O	O	サービスが終了される日時。「YYYYMMDD[HH[MM]]」形式。
TQ1-9	優先度	250	CWE	O	Y	0485	O	R	優先度を記述する。 取りうる値は、使用者定義表「0485-拡張優先度コード」を参照。 [SS-MIX] 優先度を指定しない場合でも、デフォルトの「R」を指定する必要があり、省略はしない。
TQ1-10	条件テキスト	250	TX	O			O	O	薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。
TQ1-11	テキスト指令	250	TX	O			O	O	指示のフルテキスト版。
TQ1-12	連結	10	ID	C		0427	C	O	2番目の TQ1 セグメントとの関係性を示す。 1つのメッセージ内で TQ1 セグメントを繰り返す場合に使用しなければならない。 取りうる値は、HL7 表「0472-TQ 連結 ID」を参照。
TQ1-13	事象継続期間	20	CQ	O			O	O	1回のサービスの時間を示す。
TQ1-14	事象総数	10	NM	O			O	O	サービスの発生の総数。

3.19.7. 検査要求セグメント(OBR)

表 3-97 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBR」を設定する。
OBR-1	セット ID- OBR	4	SI	O			O	R	複数検体時の上位(同一)ORC に対する通番。初期値1、増分1。
OBR-2	依頼者オーダ番号	22	EI	C			RE	R	依頼オーダ番号を示す。 [SS-MIX2] 15 桁、前ゼロ形式。 <依頼オーダ番号>
OBR-3	実施者オーダ番号	22	EI	C			RE	O	ORC-3:実施者オーダ番号に同じ。ラボ側検体番号など。 [SS-MIX2] 15 桁、前ゼロ形式。 <実施オーダ番号>
OBR-4	検査項目 ID	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 取りうる値は、JLAC10 コード*1を推奨する。検査結果照会において、該当検査が無い場合、「 ''' 」をセットする。
OBR-5	優先度	2	ID	X			B	N	下位互換性のために残されている。優先度は TQ1-9 で指示する。
OBR-6	要求日時	26	TS	X			O	N	要求された検査日時。 下位互換性のために残されている。TQ1-7 で指示する。
OBR-7	検査/採取日時	26	TS	C			C	C	検査が実際に行われた日時。 [条件] 結果メッセージにおいて使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDD[HHMM]」形式。

表 3-97 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-8	検査/採取終了日時	26	TS	O			O	O	検査が終了した日時。「YYYYMMDD[HHMM]」形式。 瞬時に終わる場合は、「検査/採取日時(OBX-7)」と同じ。
OBR-9	採取量	20	CQ	O			N	N	検体の量。デフォルト値の単位は ML。
OBR-10	採取者識別子	250	XCN	O	Y		N	N	検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。
OBR-11	検体処置コード	1	ID	O		0065	N	N	検体採取の状態/方法等を示す。HL7 テーブル 0065－検体処置コード参照。
OBR-12	危険(検体)コード	250	CWE	O			O	O	危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(たとえば陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。 推奨される標準コードや使用者定義表は定義されていないため、指定する場合はローカルコードを使用する。 <危険情報コード(ST)><危険情報テキスト(TX)><コーディングシステム名(IS)>
OBR-13	関連臨床情報	300	ST	O			O	O	患者あるいは検体に関する検査診断および臨床所見の判定において、検査診断に影響を及ぼすその他の条件。 ただし、OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を示すことができる。身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。
OBR-14	検体受理日時	26	TS	B			N	N	検体を必要とする検査の場合、診断サービスの実際のログイン時間/検体受領日時。
OBR-15	検体材料/採取部位	300	SPS	B			N	N	検体の採取部位や医療サービスの対象となる部位や検査材料を示す。
OBR-16	依頼者	250	XCN	O	Y		O	O	検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。 依頼者 (ORC-12)に同じ。検査依頼医師。 [SS-MIX2] <入力者の ID><姓><名>~~~~~<名前タイプ>~~~~<名前表記コード> <名前タイプ>は、HL7 表「0200-名前タイプ」より「L(法的な名前)」を使用、<名前表記コード>は、HL7 表「0465-名前/アドレス表記」に記載されている「I:漢字表記」「P:カナ表記」を使用する。 ex) 1234567^医師^一郎~~~~~L~~~~I
OBR-17	オーダーコールバック用電話番号	250	XTN	O	Y/2		O	N	検査状況あるいは結果を報告する際の電話番号。
OBR-18	依頼者項目 1	60	ST	O			O	N	依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。検査に対する詳細な指示。
OBR-19	依頼者項目 2	60	ST	O			O	N	依頼者項目 1 と同じ。
OBR-20	実施者項目 1	60	ST	O			O	N	実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。検査状況や結果を報告。
OBR-21	実施者項目 2	60	ST	O			O	N	実施者項目 1 と同じ。
OBR-22	結果報告/状態変更-日時	26	TS	C			O	O	結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。 OBR-25 に値が設定された場合に使用する。 [SS-MIX2] 「YYYYMMDDHHMMSS」形式。

表 3-97 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SMIX2	説明
OBR-23	課金	40	MOC	O			N	N	検査項目より発生する課金情報を示す。
OBR-24	診断部門 ID	10	ID	O		0074	O	O	診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。
OBR-25	結果状態	1	ID	C		0123	O	C	オーダの状況を示す。 取りうる値は、HL7 表「0123-結果状態」を参照。 ex) I(到着確認(受付))、R(未承認結果報告)、F(最終結果報告) [条件] 結果メッセージでのみ使用される。
OBR-26	親結果	400	PRL	O			O	O	先んじて行われた検査の結果。親番号(OBR-29)と組み合わせて使用。
OBR-27	数量/タイミング	200	TQ	B	Y		B	N	検体の採取量・検査の継続期間・間隔を示す。
OBR-28	結果配布先	250	XCN	O	Y		O	O	検査報告書を受け取る人や部門を示す。
OBR-29	親番号	200	EIP	O			C	C	親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。 子オーダ制御(CH)のとき、親オーダ制御(PA)の依頼者オーダ番号(ORC-2)を設定する。 [条件] オーダ制御(ORC-1)が「CH」の場合に必須。
OBR-30	患者搬送モード	20	ID	O		0124	O	N	患者が検査を受ける時の移動モード。検査装置を患者のもとへ移動・カートまたは担架・歩行など。
OBR-31	検査理由	250	CWE	O	Y		O	N	適切な検査所見を得る為に使用しなければならない検査がある。
OBR-32	結果判定責任者	200	NDL	O			O	N	検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医の ID。
OBR-33	結果判定アシスタント	200	NDL	O	Y		O	N	この検査の診断に立ち会った臨床医。
OBR-34	医療技術者	200	NDL	O	Y		O	N	実施担当臨床技師。
OBR-35	口述記録者	200	NDL	O	Y		N	N	報告書の口述筆記を担当する人、通常は、本フィールドは使用しない。
OBR-36	予定日時	26	TS	O			O	O	実施者がスケジュールした撮影予定日。依頼メッセージでは使用しない。
OBR-37	検体容器数	4	NM	O			N	N	受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用。同一検体・同一採取管での採取量オーバーフロー時の採取管本数を記述する。 記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。
OBR-38	採取検体搬送	250	CWE	O	Y		N	N	診断サービス実施者への採取検体の配送方法を示す。 ex)トラック便、郵便など
OBR-39	採取者コメント	250	CWE	O	Y		N	N	検体に関する付加的コメント、検体採取時のコメントを記述する。 ex)「変性により凝固困難」、「-15℃にて凍結」。
OBR-40	搬送調整者	250	CWE	O			O	N	予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。 ex) 依頼者、実施者、患者
OBR-41	搬送調整結果	30	ID	O		0224	O	N	検体搬送手配の状態。手配済み・未手配・不明など。
OBR-42	随行者要否	1	ID	O		0225	O	N	患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。計画患者搬送コメント(OBR-43)の併用が一般的。
OBR-43	患者搬送コメント	250	CWE	O	Y		O	N	患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。
OBR-44	処置コード	250	CWE	O	N	0088	O	N	課金と関連付けられた処置がもしあれば、処置に割り当てられた識別子を指定する。

表 3-97 検査要求セグメント(OBR)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBR-45	処置コード修飾子	250	CWE	O	Y	0340	O	N	処置コード (OBR-44) で報告された処置コードの修飾子を示す。
OBR-46	依頼者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたがオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-47	実施者発行の追加サービス情報	250	CWE	O	Y	0411	O	N	検査が右部にされたか左部にされたか、例えば検査部位が腕のどこかになされたがオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。
OBR-48	医学的に必要な重複処置の理由	250	CWE	C	N	0476	O	N	同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金された処置と重複した処置が、医学的に必要と判断され実施された場合に、その理由を文書化する目的で使用される。
OBR-49	結果の取り扱い	2	IS	O	N	0507	O	N	結果のハンドリングに関する情報伝達。あるオーダでは、結果(例えば X 線フィルム)は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.19.8. 検査結果セグメント(OBX)

表 3-98 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SS-MIX2	説明
OBX-0	セグメント ID	3	ST	R			R	R	セグメント ID「OBX」を設定する。
OBX-1	セット ID-OBX	4	SI	O			O	O	セグメントの反復が許されるメッセージにおいて、反復を識別する為のメッセージ内でのシーケンス番号。初期値 1、増分 1。上位(同一)OBR に対する通番。
OBX-2	値型	3	ID	C		0125	C	R	検査値 (OBX-5) のデータタイプ。 [SS-MIX2] HL7 表「0125-値型」より、呼吸機能検査など結果が数値として表現される場合には「NM」を使用する。心電図検査や心臓カテーテル検査など、主としてテキストによる結果は、所見を「TX」で表現する。
OBX-3	検査項目	250	CWE	R			R	R	検査項目を表す一意な識別子。 取りうる値は、JAHIS 生理検査交換規約「付録 生理検査コード」を推奨する。その場合、コーディングシステム名は「JC10」 ¹⁾ を格納する。施設内で使用するローカルコードを同時に格納する場合は、第 4 成分以降を使用可能。 ex) 9A100&IMP^心電図所見^JC10^112233^心電図所見^99XYZ
OBX-4	検査副 ID	20	ST	C			C	C	1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。
OBX-5	結果値	99999	*	C	Y		C	C	検査結果を示す。データタイプ(DT)については、値型(OBX-2)で示されたタイプを使用する。

表 3-98 検査結果セグメント(OBX)定義

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

	フィールド名	LEN	DT	OPT	RP	#	JAHIS	SOI MIX2	説明
OBX-6	単位	250	CWE	O			O	O	単位のデータ型は CWE データ型である。単位をローカルコードで表記する場合、次のような成分で記載するものとする。 <単位のコード><コードテキスト>^99zzz ex) g/dl^g/dl^99XYZ <単位のコード>(第 1 成分)または<コードテキスト>(第 2 成分)のいずれかは省略可能とする。 ただし、HL7 では、単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムとして「ISO+」を使用しており、必要に応じてそれらの標準的なコードを使用することも可能である。その場合、取りうる値は ISO 単位を参照し、コーディングシステム名には「ISO+」を格納する。
OBX-7	基準値範囲	60	ST	O			N	N	検査結果に対する基準値の範囲。検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。検査で薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生し得ることを表す。 ex) 6.5-8.2 ※基準値の範囲は“-”(半角ハイフン)を用いること
OBX-8	異常フラグ	5	IS	O	Y	0078	O	N	結果の正常・異常を示す。適用できる場合は、使用者定義表「0078-異常フラグ」を使用する。
OBX-9	確率	5	NM	O			N	N	定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0 と 1 を含む)の ASCII 文字列で表した 10 進数である。
OBX-10	異常検査の特質	2	ID	O	Y	0080	N	N	判定の元になった集団の性質を表す。
OBX-11	検査結果状態	1	ID	R		0085	R	R	1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。取りうる値は、HL7 表「0085-検査結果状態」を参照。 身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、「F」を使用する。
OBX-12	基準値範囲有効日付	26	TS	O			N	N	測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。
OBX-13	使用者定義アクセス点検	20	ST	O			N	N	受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できる。
OBX-14	検査日時	26	TS	O			RE	O	実際に検査された日時を示す。
OBX-15	実施者 ID	250	CWE	O			O	N	検査実施責任者の一意な識別子。
OBX-16	検査責任者	250	XCN	O	Y		O	N	検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。
OBX-17	検査方法	250	CWE	O	Y		N	N	検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。
OBX-18	装置 ID	22	EI	O	Y		O	N	臨床検査に用いられる分析機の装置識別IDである。
OBX-19	分析日時	26	TS	O			N	N	実装置IDで指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

*1:「日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系(JLAC11)」を採用してもよい。

なお、その場合のコーディングシステム名は「JC11」とすること。

3.20. 生理検査結果通知メッセージ(ORU)の定義

生理検査結果通知メッセージ(ORU^R01)の内容は下記の通りである。メッセージ構造は、「ORU_R01」を使用する。

[参照元]JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver.3.0C

表 3-99 生理検査結果通知メッセージ(ORU^R01)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5章
MSH	メッセージヘッダ	メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。	◎	2
[[SFT]]	ソフトウェア	送信アプリケーションとして使われるソフトウェア製品についての情報を提供する。	-	2
{				
[
PID	患者識別	患者の識別情報(基本情報)についての情報を提供する。	◎	3
[PD1]	患者追加基本情報		-	3
[{ NTE }]	注釈・コメント	患者識別情報に対するコメント。	-	2
[{ NK1 }]	近親者情報		-	3
[
PV1	来院情報	会計や来院に基づく情報を提供する。基本は会計レベルのデータを送るのが目的である。 [SS-MIX2] SS-MIX2 では、会計の情報は扱わない。当セグメントは、病院内での患者の状態(入外・所在場所・担当医など)を提供する。	◎	3
[PV2]	来院補足情報	PV1(来院情報)の補足情報を提供する。	-	3
]				
]				
{				
[ORC]	共通オーダ	オーダに共通なデータを提供する。オーダ番号・依頼者・依頼日時など。	◎	4
OBR	検査要求	検査要求として検査種別を記述する。	◎	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
[{				
TQ1	タイミング/数量	要求のタイミングと頻度を表現する。	◎	4
[{ TQ2 }]	タイミング/数量オーダ順序		-	4
]]				
[CTD]	連絡データ		-	11
[{				
OBX		検査結果を記述する。1つの診断所見に1つのOBXセグメントを使用する。	◎	7
[{ NTE }]	注釈・コメント		◎	2
]]				
[{ FT1 }]	会計処理		-	6
[{ CT1 }]	治験識別		-	7
[{				
SPM	検体		-	
[{ OBX }]	検査結果		-	7
]]				

表 3-99 生理検査結果通知メッセージ(ORU^R01)のセグメント構成

セグメント	セグメント名	説明	JAHIS	HL7v2.5 章
}				
}				
[DSC]	継続ポインタ		-	2

3.20.1. メッセージヘッダセグメント(MSH)

「3.5.1 メッセージヘッダセグメント(MSH)」の項を参照。

3.20.2. 患者識別セグメント(PID)

「3.5.3 患者識別セグメント(PID)」の項を参照。

3.20.3. 来院情報セグメント(PV1)

「3.5.5 来院情報セグメント(PV1)」の項を参照。

3.20.4. 共通オーダセグメント(ORC)

「3.19.5 共通オーダセグメント(ORC)」の項を参照。

3.20.5. 検査要求セグメント(OBR)

「3.19.7 検査要求セグメント(OBR)」の項を参照。

3.20.6. タイミング／数量セグメント(TQ1)

「3.19.6 タイミング／数量セグメント(TQ1)」の項を参照。

3.20.7. 検査依頼項目セグメント(OBX)

「3.19.8 検査結果セグメント(OBX)」の項を参照。

付録1 SS-MIX2サンプル

幾つか編集例をここに示す。CWE型については、コードの出現順で標準コードかローカルコードかを判別しないように注意すること。

患者基本情報更新 (ADT^A08)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111220224447.3399 ADT^A08^ADT_A01 20111220000001 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO EVN 201112202100 SEND001 PID 0001 9999013 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19480405 M ^422-8033^JPN^H^静岡県静岡市登呂 1-3-5 ^PRN^PH^^^^^^^^054-000-0000~EMR^PH^^^^^^^^03-5999-9999 ^WPN^PH^^^^^^^^03-3599-9993 20111219121551 NK1 1 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P SEL^本人^HL70063 ^422-8033^JPN^H^静岡県静岡市登呂 1-3-5~^1050003^B^東京都港区鹿ノ門 6丁目 3番 3号 ^PRN^PH^^^^^^^^054-000-0000 ^WPN^PH^^^^^^^^03-3599-9993 鹿ノ門商事株式会社^D PV1 0001 I 32^302^1^^N 220^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I DB1 1 PT Y OBX 1 NM 9N0010000000000001^身長^JC10 167.8 cm^cm^ISO+ F OBX 2 NM 9N0060000000000001^体重^JC10 63.5 kg^kg^ISO+ F OBX 3 CWE 5H010000001999911^血液型-ABO式^JC10 A^A^JSHR002 F OBX 4 CWE 5H020000001999911^血液型-Rh式^JC10 +^Rh+^JSHR002 F AL1 1 DA^薬剤アレルギー^HL70127 1^ペニシリン^99XYZ IN1 1 67^国民健康保険退職者^JHSD0001 67999991 20091201 SEL^本人^HL70063

入院実施 (ADT^A01)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111220224447.3399 ADT^A01^ADT_A01 20111220000001 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO EVN 201112202100 SEND001 PID 0001 9999013 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19480405 M PV1 0001 I 32^302^1^^N ishi01^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 01 ishi01^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 20111201600

退院実施 (ADT^A03)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111220224447.3399 ADT^A03^ADT_A03 20111220000001 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO EVN 201112202100 SEND001 PID 0001 9999013 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19700405 M PV1 0001 I 41^460^2^^N 607^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 08 607^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 01 201112201200

転科・転棟 (転室・転床) 実施 (ADT^A02)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111220224447.3399 ADT^A02^ADT_A02 20111220000001 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO EVN 201112202100 201112202000 SEND001 PID 0001 9999013 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19480405 M PV1 0001 I 32^305^1^^N 32^302^1^^N 220^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 10 220^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I

アレルギー情報登録・更新(ADT^A60)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111014232213 ADT^A60^ADT_A60 20111014232213 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO EVN 20111013232213 SEND001 PID 0001 12345678^~~~~PI 山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P 19650415 M IAM 1 LA^花粉アレルギー^HL70127 5A1002216023023^スギ^JC10 MI^軽度^HL70128 目のかゆみ A^追加 ^HL70323 199601 IAM 2 FA^食物アレルギー^HL70127 5A1002411023006^ソバ^JC10 MO^中等度^HL70128 湿疹 A^追加^HL70323 小 学校低学年の頃 IAM 3 EA^環境アレルギー^HL70127 5A1102700023023^ハウスダスト^JC10 MI^軽度^HL70128 くしゃみ A^追加 ^HL70323 200302 IAM 4 DA^薬剤アレルギー^HL70127 106824501^アリナミン^HOT9 MO^中等度^HL70128 のどの渇きが止まらない A^追 加^HL70323 20070710

病名(歴)情報登録・更新(PPR^ZD1)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111209163030 PPR^ZD1^PPR_ZD1 201112091630305 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO PID 0001 1234567890^~~~~PI 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19650415 M PRB AD 20110915 20054174^胃炎^MDCDX2 123456789012345 20110831 20110915 K297^^I10^0^外来時 ^JHSD0004 N^回復せず^HL70241 20110915 20110831 胃炎 1^主診断^JHSD0007 V^非常に限定^HL70177 ZPR 20054174^胃炎^MDCDX2 TSQF^胃炎^MDCDX2 Z11 1 01^全国健康保険協会管掌健康保険^JHSD0001 1130012 全国健康保険協会東京支部 123456 11010203 20110901 20120831 13 SEL^本人^HL70063 ORC NW 123456789012345 110^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I~イシイ^チロウ^^^^^^L^^^^^P 01^内科 ^HL70069 0^外来患者オーダ^HL70482

給食(OMD^O03)
MSH ^~& HIS123 SEND GW RCV 20111014232213 OMD^O03^OMD_O03 20111014232213 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994 SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO PID 0001 1234567890^~~~~PI 患者^太郎^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^L^P 19650415 M PV1 0001 I 32^302^^^N 110^医師^一郎^^^^^^L^^^^^I 01 ORC NW 123456789012345 20111013232213 058^入力者^花子^^^^^^L^^^^^I 110^医師^一郎 ^^^^^^L^^^^^I 01^内科^99XY1 PC32^^99XY2 TQ1 1 TID&1日3回&HL70335 2011101608 R^ルーチン^HL70485 ODS T A00105^一般食2000kcal^99SKS ODS D 1^朝食^99STM 105HI^パン^99SSK ODS D 3^昼食^99STM 105IA^めん^99SSK ODS D 5^夕食^99STM 105AG^米飯180g^99SSK

構造化処方オーダ (RDE^O11)

MSH|^~*&|HIS123|SEND|GW|RCV|201107011224603.984||RDE^O11^RDE_011|20110701000001|P|2.5|~~~~~|ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||9999013^~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19480405|M||~~~~422-8033^JPN^H^静
 岡県静岡市登呂 1-3-5||^PRN^PH^~~~~054-000-0000|^WPN^PH^~~~~054-999-2455
 |||||||||||||||20110601121551
 PV1|0001|O|01^~~~~C|||110^医師^一郎^~~~~L^~~~~I|||01
 ORC|NW|000000011000185||1|||||20110701103045|058^入力者^花子^~~~~L^~~~~I||110^医師^一郎
 ^~~~~L^~~~~I|
 10^~~~~C|||01^内科^99XY1|VMD0CX01^99XY2||登呂病院|~~~~422-8033^JPN^静岡県静岡市駿河区登呂3-1-
 1|~~~~054-284-9122|||0^外来患者オーダ^HL70482
 RXE||108665201^ダーゼン錠 (5mg)^HOT9|1|TAB^錠^MR9P|||15|TAB^錠^MR9P|||2011070112345|||3^TAB&錠
 &MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P
 TQ1|1||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝食後&JAMISDP01||5^d|2011070100
 RXR|PO^口^HL70162
 ORC|NW|000000011000185||1|||||20110701103045|058^入力者^花子^~~~~L^~~~~I||110^医師^一郎^~~~~L^~~~~I
 |10^~~~~C|||01^内科^99XY1|VMD0CX01^99XY2||登呂病院|~~~~422-8033^JPN^静岡県静岡市駿河区登呂3-1-
 1|~~~~054-284-9122|||0^外来患者オーダ^HL70482
 RXE||110626901^パンスポリンT錠 (100mg)^HOT9|2|TAB^錠^MR9P|||30|TAB^錠
 ^MR9P|||2011070112345|||6^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P
 TQ1|1||1013044400000000&内服・経口・1日3回朝食後&JAMISDP01||5^d|2011070100
 RXR|PO^口^HL70162
 ORC|NW|000000011000185||2|||||20110701103045|058^入力者^花子^~~~~L^~~~~I||110^医師^一郎
 ^~~~~L^~~~~I|10^~~~~C|||01^内科^99XY1|VMD0CX01^99XY2||登呂病院|~~~~422-8033^JPN^静岡県静岡市駿河
 区登呂3-1-1|~~~~054-284-9122|||0^外来患者オーダ^HL70482
 RXE||100607002^アレピアチン10倍散^HOT9|50|MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|||1400|MG^ミリグラム
 ^MR9P|||2011070112345|||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P^OHI^院内処方^MR9P
 TQ1|1||1012040400000000&内服・経口・1日2回夕食後&JAMISDP01||14^d|2011070100
 RXR|PO^口^HL70162

構造化処方実施情報 (RAS^O17)

MSH|^~*&|HIS123|SEND|GW|RCV|20110701113813.225||RAS^O17^RAS_017|20110701113813225|P|2.5|~~~~~|ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||9999013^~PI||患者^太郎^~~~~L^I^カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19650415|M
 PV1|0001|I|32^302^~N|||110^医師^一郎^~~~~L^~~~~I|||01
 ORC|NW|123456789012345||1|||||20110630141500|058^入力者^花子^~~~~L^~~~~I||110^医師^一郎
 ^~~~~L^~~~~I|||01^内科^99XY1|PC32^99XY2||登呂病院|~~~~422-8033^JPN^静岡県静岡市駿河区登呂3-1-
 1|~~~~054-284-9122|||I^入院患者オーダ^HL70482
 RXA|O|1|201107010830|201107010830|108665201^ダーゼン錠 (5mg)^HOT9|1|TAB^錠^MR9P|||200^看護^花子
 ^~~~~L^~~~~I|09A^021^4^~N|||CP|20110701100613
 RXA|O|1|201107010830|201107010830|110626901^パンスポリンT錠 (100mg)^HOT9|2|TAB^錠^MR9P|||200^看護^
 花子^~~~~L^~~~~I|09A^021^4^~N|||CP|20110701100613
 RXR|PO^口^HL70162

構造化注射オーダー (RDE^O11)

MSH|^~&|HIS123|SEND|GW|RCV|20110701224603.984||RDE^O11^RDE_O11|20110701000001|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||9999013^P||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19480405|M||^422-8033^JPN^H^静
 岡県静岡市登呂 1-3-5|^PRN^PH^^^^^^^^054-000-0000|^WPN^PH^^^^^^^^054-999-2455
 PV1|0001|I|32^302^^^^N||||110^医師^一郎^^^^^^L^^^^I|||01
 ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||||20110701012410|058^入力者^花子^^^^^^L^^^^I||110^医
 師^一郎^^^^^^L^^^^I|32^302^^^^N||||01^内科^99XY1|PC01^^99XY2||登呂病院|^422-8033^JPN^^静岡県静岡
 市駿河区登呂3-1-1|^054-284-9122||||I^入院患者オーダー^HL70482
 RXE||00^一般^99I02|510||ML^ミリリットル^MR9P|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で^99IC6||||||20110701-
 001
 |||||IHP^入院処方^MR9P^FTP^定時処方^99I01|H1|102|ml/hr^ミリリッター／時間^ISO+||||||||||||||
 09A^^^^N
 TQ1|1|||||201107010800|201107011300
 RXR|IV^静脈内^HL70162||IVP^点滴ポンプ^HL70164
 RXC|B|620007329^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT9|1|HON^本^MR9P
 RXC|A|620002559^アドナ注 (静脈用) 50mg^HOT9|1|AMP^アンプル^MR9P
 ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_002|||||20090701012410|058^入力者^花子^^^^^^L^^^^I||110^医
 師^一郎^^^^^^L^^^^I|32^302^^^^N||||01^内科^99XY1|PC01^^99XY2||登呂病院|^422-8033^JPN^^静岡県静岡
 市駿河区登呂3-1-1|^054-284-9122||||I^入院患者オーダー^HL70482
 RXE||00^一般^99I02|510||ML^ミリリットル^MR9P|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で^99IC6||||||20110701-
 001
 |||||IHP^入院処方^MR9P^FTP^定時処方^99I01|H1|102|ml/hr^ミリリッター／時間^ISO+||||||||||||||
 09A^^^^N
 TQ1|1|||||201107011300|201107011800
 RXR|IV^静脈内^HL70162||IVP^点滴ポンプ^HL70164
 RXC|B|620007329^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT9|1|HON^本^MR9P
 RXC|A|620002559^アドナ注 (静脈用) 50mg^HOT9|1|AMP^アンプル^MR9P
 ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_003|||||20090701012410|058^入力者^花子^^^^^^L^^^^I||110^医
 師^一郎^^^^^^L^^^^I|32^302^^^^N||||01^内科^99XY1|PC01^^99XY2||登呂病院|^422-8033^JPN^^静岡県静岡
 市駿河区登呂3-1-1|^054-284-9122||||I^入院患者オーダー^HL70482
 RXE||00^一般^99I02|510||ML^ミリリットル^MR9P|INJ^注射剤^MR9P|^5時間一定速度で^99IC6||||||20090701-
 001
 |||||IHP^入院処方^MR9P^FTP^定時処方^99I01|H1|102|ml/hr^ミリリッター／時間^ISO+||||||||||||||
 09A^^^^N
 TQ1|1|||||201107011800|201107012300
 RXR|IV^静脈内^HL70162||IVP^点滴ポンプ^HL70164
 RXC|B|620007329^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT9|1|HON^本^MR9P
 RXC|A|620002559^アドナ注 (静脈用) 50mg^HOT9|1|AMP^アンプル^MR9P

構造化注射実施情報 (RAS^O17)

MSH|^~&|HIS123|SEND|GW|RCV|20110701113813.225||RAS^O17^RAS_O17|20110701113813|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||9999013^P||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19650415|M
 PV1|0001|I|32^302^^^^N||||110^医師^一郎^^^^^^L^^^^I|||01
 ORC|NW|123456789012345||123456789012345_01_001|||||20110701113613|058^入力者^花子^^^^^^L^^^^I||110^医
 師^一郎^^^^^^L^^^^I||||01^内科^99XY1|PC32^^99XY2||登呂病院|^422-8033^JPN^^静岡県静岡市駿河区登
 呂3-1-1|^054-284-9122||||I^入院患者オーダー^HL70482
 RXA|0|1|20110701080521|20110701130543|620007329^ソリター T 3 号輸液 5 0 0 m L ^HOT9|1|HON^本^MR9P|^左手
 に実施^99IC2|200^看護^花子^^^^^^L^^^^I|09A^021^4^^N|102ml/hr||||||CP||20110701130613

RXA|0|1|20110701080521|20110701130543|620002559^アドナ注（静脈用）50mg^HOT9|1|AMP^アンプル^MR9P||^左手
に実施^99IC2|200^看護^花子^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^^N|102ml/hr||||||CP||20110701130613
RXR|IV^静脈内^HL70162||IVP^点滴ポンプ^HL70164

検体検査オーダー (OML^O33)

MSH|^~%&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220103059.1234||OML^O33^OML_033|20111220000001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
PID|0001||9999013||患者^太郎^^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19700405|M
PV1|0001|I|32^305^^^^N||||607^医師一郎^^^^^^L^^^^^I||||01
SPM|1||||023^血清^JC10^01^血清^99Z01|||||||||201112191500
ORC|NW|000000011000354|||||20111220183301|INPUT001^入力^太郎^^^^^^L^^^^^I||607^医師一郎
^^^^^^L^^^^^I|32^305^^^^N||||15^呼吸器外科^99XY1|VMD0CX01^^99XY2||登呂病院|^^^^422-8033^JPN^^静岡市
駿河区登呂3-1-1|^^^^^^^^^^^^054-284-9122|||||I^入院患者オーダー^HL70482
OBR|1|000000011000354||E002^生化学的検査^99003|||||||||607^医師一郎^^^^^^L^^^^^I
OBX|1||3A010000002327101^総蛋白^JC10^10222^T P^99X03|||||||0
OBX|2||3J010000002327101^総ビリルビン^JC10^10213^T-B i l^99X03|||||||0
OBX|3||3B035000002327201^GOT (AST)^JC10^10207^GOT (AST)^99X03|||||||0
OBX|4||3B050000002327201^LDH^JC10^10206^L D H^99X03|||||||0
SPM|2||||022^血漿^JC10^04^血漿^99Z01|||||||||201112191500
ORC|NW|000000011000354|||||20111220183301|INPUT001^入力^太郎^^^^^^L^^^^^I||607^医師一郎
^^^^^^L^^^^^I|32^305^^^^N||||15^呼吸器外科^99XY1|VMD0CX01^^99XY2||登呂病院|^^^^422-8033^JPN^^静岡市
駿河区登呂3-1-1|^^^^^^^^^^^^054-284-9122|||||I^入院患者オーダー^HL70482
OBR|1|000000011000354||E001^血液学的検査^99003|||||||||607^医師一郎^^^^^^L^^^^^I
OBX|1||2B0300000022311^P T^JC10^30046^P T^99X03|||||||0
OBX|2||2B100000002231101^F i b^JC10^30058^F i b^99X03|||||||0
OBX|3||2B120000002206201^F D P-P^JC10^30066^F D P-P^99X03|||||||0

検体検査結果通知 (OUL^R22)

MSH|^~%&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220103059.0000||OUL^R22^OUL_R22|20111220131032|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
PID|0001||0001000052^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19700405|M||^422-8033^JPN^H^
静岡県静岡市登呂1-3-5
PV1|0001|O|01^^^^^C
SPM|1|000000001219001||023^血清^JC10|||||||||201112191500
OBR|1|000000011000354|000000001219001|E001^血液学的検査^99003|||20111219|20111219||||||607^医師一郎
^^^^^^L^^^^^I|||||20111220103059
ORC|SC|000000011000354|000000001219001||CM|||||20111220103059||607^医師一郎
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^99XY1||登呂病院||||||0^外来患者オーダー^HL70482
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F|||201112191500
OBX|2|NM|3A010000002327101^総蛋白^JC10||7.2|g/dl^g/dl^99XYZ|6.70-8.3|||F|||201112191500
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン^JC10||4.9|g/dl^g/dl^99XYZ|3.7-5.5|||F|||201112191500

放射線検査オーダー(OMG^O19)

MSH|^~*&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220224447.3399||OMG^O19^OMG_O19|20111220000001|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||12345678^~PI||患者^太郎^~~~~L^I~カンジャ^タロウ^~~~~L^P||19501214|M|||~~~~105-0001^~~東京都
 港区虎ノ門1-19-9||^PRN^PH^~~~~~0335068010
 PV1|0001|O|01^~~~~C|||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 ORC|NW|000201101200100|||20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200100||1000000000000000^X線単純撮影^JJ1017
 ORC|PA|000201101200100|||20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200100||1000000000000000^X線単純撮影^JJ1017||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 OBX||NM|01-02^体重^JSHR001||62|kg^kg^ISO+||||F
 ORC|CH|000201101200101|||000201101200100|20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200101||10000002000102000000010000000000^胸部.X線単純撮影.立位正面
 (A→P)^JJ1017||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||||||000201101200100
 ORC|CH|000201101200102|||000201101200100|20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200102||10000002000106000000010000000000^胸部.X線単純撮影.立位側面
 (L→R)^JJ1017||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||||||000201101200100
 ORC|CH|000201101200103|||000201101200100|20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200103||10000002500102000000010000000000^腹部.X線単純撮影.立位正面
 (A→P)^JJ1017||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||||||000201101200100
 ORC|CH|000201101200104|||000201101200100|20111220100059||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||000201101200104||10000002500602000000010000000000^腹部.X線単純撮影.左側臥位正面
 (A→P)^JJ1017||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||||||000201101200100

放射線検査実施通知(OMI^Z23)

MSH|^~*&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220224447.3399||OMI^Z23^OMI_Z23|330001|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-
 1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||3330000333^~PI||患者^花子^~~~~L^I~カンジャ^ハナコ^~~~~L^P||19820911|F|||~~~~105-0001^~~東
 京都港区虎ノ門1-19-9||^PRN^PH^~~~~~03-3506-8010
 PV1|0001|O|||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||24
 ORC|NW|201112200300|||20111220113540|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~I|24^~~~~C|||24^産科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||201112200300||99A0000000000000^経皮的超音波検査^JJ1017||20111220||||||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~I||||20111220113540||F
 IPC|A20111220030001|P1234|1.2.392.1114.20045.43233.5.300001||US^DCM
 ORC|PA|201112200300|||20111220113540|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~I|24^~~~~C|||24^産科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||201112200300||99A0000000000000^経皮的超音波検査^JJ1017||20111220||||||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~I||||20111220113540||F
 IPC|A20111220030001|P1234|1.2.392.1114.20045.43233.5.300001||US^DCM
 ORC|CH|201112200301|||201112200300|20111220113540|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~I||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~I|24^~~~~C|||24^産科^99XY1|||||||0

内視鏡検査実施通知(OMI^Z23)

MSH|^~&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220224447.3399||OMI^Z23^OMI_Z23|20111220000001|P|2.5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1.20^SS-MIX2^1.2.392.200250.2.1.100.1.2.120^ISO
 PID|0001||10345678^~PI||患者^太郎^~~~~~L^~カンジャ^タロウ^~~~~~L^P||19501214|M|||~~~~105-0001^H^東京
 都港区虎ノ門1-19-9|^PRN^PH^~~~~~03-3506-8010
 PV1|0001|O||||112233^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I||||01
 ORC|NW|201112191656100|||||20111220152042|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~~I|01^~~~~~C||||01^内科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||201112191656100||11000000000^検査.上部.-.-.-^LEND0||20111220|||||||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~~I
 IPC|A200801200010000||1.2.392.1114.2008.543233.1||ES^DCM
 ORC|PA|201112201656100|||||20111220152042|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~~I|01^~~~~~C||||01^内科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||201112191656100||11000000000^検査.上部.-.-.-^LEND0||20111220|||||||D12345^医師^太郎
 ^~~~~~L^~~~~~I
 OBX|1|CWE|04-03^視覚障害^JSHR||SV^重度^JSHR|||||F
 OBX|2|TX|MS3-24^外来所見^JSHR||12月19日強い上腹部痛を感じた。翌日になっても軽快しなかったため、来院。
 |||||F
 OBX|3|TX|MS3-34^臨床病名^JSHR||胃潰瘍の疑い|||||F
 OBX|4|TX|MS3-04^内視鏡検査理由^JSHR||臨床病名に対する精査|||||F
 IPC|A201112200010000|P12345|1.2.392.1114.2008.543233.1||ES^DCM
 ORC|CH|201112191656101|||||201112191656100|20111220152042|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I||D12345^医師^
 太郎^~~~~~L^~~~~~I|01^~~~~~C||||01^内科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R^HL70485
 OBR||201112191656101||11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LEND0||20111220|||||||D12345^医師^
 太郎^~~~~~L^~~~~~I|||||||201112191656100
 ZE1|1|RS|11000001000^検査.上部.-.-.上部通常内視鏡.-^LEND0
 OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|5|TS|TM-P1^開始時間^JSHR||2011120144512|||||F
 OBX|6|TS|TM-P2^終了時間^JSHR||2011120151056|||||F
 OBX|7|CWE|PF-01^実施加算項目^JSHR||11000000327^色素内視鏡加算^LEND0|||||F
 OBX|8|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||100555401^セルシン5mg^HOT9^1^AMP&管&MR9P|||||F
 OBX|9|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||101682602^キシロカインスプレー^HOT9^1^KAI&回&JSHR|||||F
 OBX|10|ZRD|DE-02^薬品^JSHR||111963301^インジゴカルミン^HOT9^1^KAI&回&JSHR|||||F
 OBX|11|CWE|DE-06^内視鏡^JSHR||4953170067938^GIF-XQ240^JAN|||||F
 IPC|A201112200010000|P12345|1.2.392.1114.2008.543233.1||ES^DCM
 ORC|CH|201112191656102|||||201112191656100|20111220152042|D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I||D12345^医師^
 太郎^~~~~~L^~~~~~I|01^~~~~~C||||01^内科^99XY1|||||||0
 TQ1|1||||||R
 OBR||201112191656102||11020001401^検査.上部.胃.-.上部通常内視鏡.生検採取
 ^LEND0||20111220|||||||D12345^医師^太郎^~~~~~L^~~~~~I|||||||201112191656100
 ZE1|1|RS|11010001401^検査.上部.食道.-.上部通常内視鏡.生検採取^LEND0
 OBX|1|XCN|DR-02.EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|2|XCN|DR-02.EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|3|XCN|TC-02.EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|4|XCN|NS-01.EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^~~~~~L^~~~~~I|||||F
 OBX|5|TS|TM-B1^生検時間^JSHR||20111220144830|||||F

OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN|||||F
 ZE1|2|RS|11020001401^検査. 上部. 胃. -. 上部通常内視鏡. 生検採取^LEND0
 OBX|1|XCN|DR-02. EM-01^正従業員の実施医師^JSHR||123456^大江戸^信吉^^^^^^L^^^^I|||||F
 OBX|2|XCN|DR-02. EM-02^派遣従業員の実施医師^JSHR||234567^小江戸^義弘^^^^^^L^^^^I|||||F
 OBX|3|XCN|TC-02. EM-01^正従業員の内視鏡技師^JSHR||345678^尾張^玲子^^^^^^L^^^^I|||||F
 OBX|4|XCN|NS-01. EM-01^正従業員の看護師^JSHR||456789^名古屋^良子^^^^^^L^^^^I|||||F
 OBX|5|TS|TM-B1^生検時間^JSHR||20111220145908|||||F
 OBX|6|CWE|DE-03^器材^JSHR||4953170029578^FB-19C-1^JAN|||||F
 IPC|A201112200010000|P12345|1. 2. 392. 1114. 2008. 543233. 1||ES^DCM

生理検査オーダー (OMG^O19)

MSH|^*%&|HIS123|SEND|GW|RCV|20150820224447. 3399||OMG^O19^OMG_O19|20150820000001|P|2. 5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1. 20^SS-MIX2^1. 2. 392. 200250. 2. 1. 100. 1. 2. 120^ISO
 PID|0001||12345678^PI||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||19470515|M||^105-0001^H^東京
 都港区虎ノ門 1 - 1 9 - 9 ||^PRN^PH^^^^^^^^03-5569-3150
 PV1|0001|O|01^^^^C||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I|||01
 ORC|NW|201508210089||SC||||20150821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
 ^^^^^L^^^^I|01^^^^C||||01|||||||||0^外来患者オーダー^HL70482
 TQ1||1||||201508211030||R
 OBR||201508210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I
 ORC|PA|201508210089||SC||||20150821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
 ^^^^^L^^^^I|01^^^^C||||01|||||||||0^外来患者オーダー^HL70482
 TQ1||1||||201508211030||R
 OBR||201508210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I
 OBX|1|TX|9A100&IMP^心電図所見^JC10||心筋梗塞の疑い|||||F
 OBX|2|NM|9M021000000000001^体重^JC10||65. 0|kg|||||F
 ORC|CH|201508210090||SC||||201508210089|20150821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
 ^^^^^L^^^^I|01^^^^C||||01|||||||||0^外来患者オーダー^HL70482
 TQ1||1||||201508211030||R
 OBR||201508210090||9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10|||||||||112233^中田^隆
 ^^^^^L^^^^I|||||||||201508210089

生理検査結果通知 (ORU^R01)

MSH|^*%&|HIS123|SEND|GW|RCV|20111220224447. 3399||ORU^R01^ORU_R01|20111220000001|P|2. 5|||||~ISO
 IR87||ISO 2022-1994|SS-MIX2_1. 20^SS-MIX2^1. 2. 392. 200250. 2. 1. 100. 1. 2. 120^ISO
 PID|0001||12345678||患者^太郎^^^^L^I^カンジャ^タロウ^^^^L^P||M|19470515
 PV1|0001|O|01^^^^C||||D01234^医師^太郎^^^^^^L^^^^I|01
 OBR|1|2011122000089100||9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10||20111220|||||D01234^医師^太郎
 ^^^^^L^^^^I|||||20111220152000||F
 OBX|1|TX|9A100&IMP^心電図所見^JC10|1|心筋虚血疑い|||||F
 OBX|2|NM|8867-4^Heart rate^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||67|bpm|||||F
 OBX|3|NM|8625-6^PR interval^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||180|ms|||||F
 OBX|4|NM|8633-0^QRS duration^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||94|ms|||||F
 OBX|5|NM|8634-8^QT interval^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||398|ms|||||F
 OBX|6|NM|8626-4^P wave axis^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||38|deg|||||F
 OBX|7|NM|8632-2^QRS axis^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||30|deg|||||F
 OBX|8|NM|8638-9^T wave axis^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||20|deg|||||F
 OBX|9|NM|10040-4^S wave amplitude in lead V1^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||1. 500|mV|||||F
 OBX|10|NM|9995-2^R wave amplitude in lead V5^LOINC^2. 16. 840. 1. 113883. 6. 1||1. 605|mV|||||F

付録2 JJ1017 Ver 3.1 の使用方法

「JAHIS放射線データ交換規約(Ver.2.3)」の「付録-2. JJ1017 V3.1 の使用規約」を一部変更して掲載する。

付録-2. JJ1017 V3.1 の使用規約

わが国ではオーダ時に詳細情報を指定することが多い。そこで、検査種別、検査部位、検査詳細、検査材料などの階層構造を実現するために、ORCセグメントで、撮影全体に関する情報を親オーダ、個々の撮影に関する情報を子オーダとして記述し、紐付けすることにした。付録-1 放射線検査オーダ(OMG^O19)に具体的な例を示す。付録-1の例では、X線単純撮影の胸部立位正面(A→P)と胸部立位側面(L→R)及び、腹部立位正面(A→P)と腹部臥位正面(A→P)を依頼している。

ORC-1を‘PA’と記述しているのが親レコードであり、OBR-4で検査種別を、OBX-3,5で患者プロフィール情報(図1の例では体重)を記述している。一方、ORC-1を‘CH’と記述しているのが子レコードであり、OBR-4で検査部位や検査詳細(方向)を記述している。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれを子レコードで記述する。そして、親レコードと子レコードをORC-8やOBR-29で紐付けている。すなわち、患者プロフィール情報と、検査種別(X線撮影、CT撮影など)、検査部位(胸部、腹部など)、検査詳細(撮影方向など)、検査材料(薬剤、フィルムなど)をすべてOBR/OBXセグメントで記述する。新規オーダを表すORC(NW)などは、ORC(PA)の前に記述する。親子メッセージの関係を図1に示す。

ORC(NW) 新規オーダ

OBR 新規オーダの記述(検査種別を指定)

ORC(PA) 親オーダ

OBR 親オーダの記述(検査種別を指定)

ORC(CH) 1番目の子オーダ

OBR 1番目の子オーダの記述(撮影部位、方向等を指定)

ORC(CH) 2番目の子オーダ

OBR 2番目の子オーダの記述(撮影部位、方向等を指定)

図1:親子メッセージの関係

JJ1017マスタ(Ver3.1)のコード構造は図2の通りである。項目は、保険診療上必要な前半16桁部分(JJ1017-16Mという)に、伝票種別に相当するモダリティコードの他、検査を同定するための手技(大分類、小分類)、部位(左右区分含む)、体位方向などが設定されている。そして、後半16桁部分(JJ1017-16Sという)には、その他の詳細情報が設定されている。これらのコードの組み合わせにより、指示内容を32桁(JJ1017-32という)で表現する。詳細については、JJ1017委員会から発信される情報を参照されたい。

親レコードのOBR-4にはオーダを括るためのJJ1017-16Pを設定する。JJ1017-16Mのうち、先頭の3桁分(モダリティ+手技大分類)をセットし、他のコードを0で埋めた形式を標準形とするが、施設の事情により設定する内容を変更(例えば、モダリティコードの1桁のみ、あるいは手技全体コードの7桁に)してもよい。子レコードのOBR-4にはJJ1017-16M+JJ1017-16Sの32桁(JJ1017-32)を設定する。なお、JJ1017の現時点での最新版はVer 3.2であるが、使用方法は同様である。

JJ1017-16M																
モダリティ	手技大分類			手技小分類		手技拡張		部位			左右	体位	撮影方向		拡張	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
					0	0								0	0	
JJ1017-16S																
詳細体位		特殊指示		核種		拡張										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
						0	0	0	0	0	0	C	0	0	0	
JJ1017-16P																
モダリティ	手技大分類			手技小分類		拡張		部位			左右	体位	撮影方向		拡張	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0	0	

図2：JJ1017マスタ(Ver3.1)のコード構造